町田市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

2015 年 10 月

町田市子ども・子育て会議

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査の目的 1
2　調査対象 1
3　調査期間 1
4　調査方法 1
5　回収状況 1
6　調査結果の表示方法 1
7　調査結果概要 2
Ⅱ　調査結果 3
1　就学前児童・小学生の保護者 3
（1）回答者属性 3
（2）家庭や地域生活について 7
（3）お子さんの遊び場等について 11
（4）子育てに関する悩みや不安について 13
（5）子育て全般について 15
（6）子育て施策について 21
2　中学生・高校生調査 33
（1）回答者属性 33
（2）町田市について 37
（3）地域との交流について 38
（4）悩み事や相談先について 41
（5）学校生活について 44
（6）放課後や休日の過ごし方について 49
（7）インターネット等について 52
（8）あなた自身の考えや将来像について 53
Ⅲ　巻末資料 55
1　自由記述 55
2　調査票 63

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

新たな「町田市子どもマスタープラン」の策定の基礎資料として、子どもの普段の状況や、保護者の子育てに関する考え方等を把握するため、調査を実施しました。

２　調査対象

①町田市に在住の就学前児童保護者、小学生保護者各 1,500 名を無作為抽出
②町田市に在住の 12 歳～18 歳の方 1,000 名を無作為抽出

３　調査期間

2015 年９月１日から 2015 年９月 15 日

４　調査方法

郵送による配布・回収

５　回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,500 通	988 通	65.9%
小学生保護者	1,500 通	922 通	61.5%
中高生	1,000 通	444 通	44.4%

６　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　　で網かけをしています。（無回答を除く）

7　調査結果概要

○全国的な傾向として晩産化が見られますが、町田市においても晩産化がうかがえます。

○男女共同参画が推進され、男性の育児参加の機運は高まっていますが、家事・育児については依然として母親に負担がかかっている状況です。

○自治会や町内会の加入状況は、小学校に上がる頃に家を持つなどし、地域に定着する家庭が増え、加入率が上がっています。また、それにともない、地域活動への参加も増えています。

○子どもの放課後の居場所について、就学前児童保護者は「学童保育クラブ」の希望が高いが、小学生保護者の希望は「自宅・その周辺」とギャップが見られます。

○子育てに関する悩みや不安については、経済的負担の大きさや子どもへのしつけに関することに対して不安に感じる保護者が多く見られました。

○子育ての悩みについては、家族に相談、友だちに相談が多くみられ、相談せずに解決している保護者も多く見られました。しかし、相談できない保護者も一定数見られました。

○子どもにとって必要な環境については、未就学児童・小学生保護者ともに、「安全・安心な環境」、「大人の規範としての役割」への重要度は高いと認識していますが、不足しているとの認識も高い状況です

○子どもの内面的成長については、未就学児童・小学生保護者ともに、「コミュニケーション能力」、「抵抗力」への重要度は高いと認識していますが、不足しているとの認識も高い状況です。

○市のサービスについては、就学前児童・小学生保護者ともに「小児医療」、「子ども（親子）の居場所」「子どもの安全」についてのニーズの高さが見られました。

○中高生が気軽に相談している相手は、友だちと母親等の家族が多く、身近に相談相手がいる中高生が多く見られましたが、誰もいない中高生も一定数見られました。

○学校生活を楽しいと感じる中高生が多く見られますが、苦手な教科がある、友だち関係から楽しさを感じない中高生も一定数見られました。

○中高生の放課後（休日）の居場所については、のんびりできる場所や友だちとおしゃべりできる場所などのニーズがあります。一方、実際には自宅、部活動、塾等の習い事が多く見られました。

○中高生のインターネット等の使用時間については、年齢が上がるにつれ使用時間が増えています。

○中高生の自己肯定感については、４割程度が肯定感を持てていない状況が見られます。

Ⅱ　調査結果

１　就学前児童・小学生の保護者

（１）回答者属性

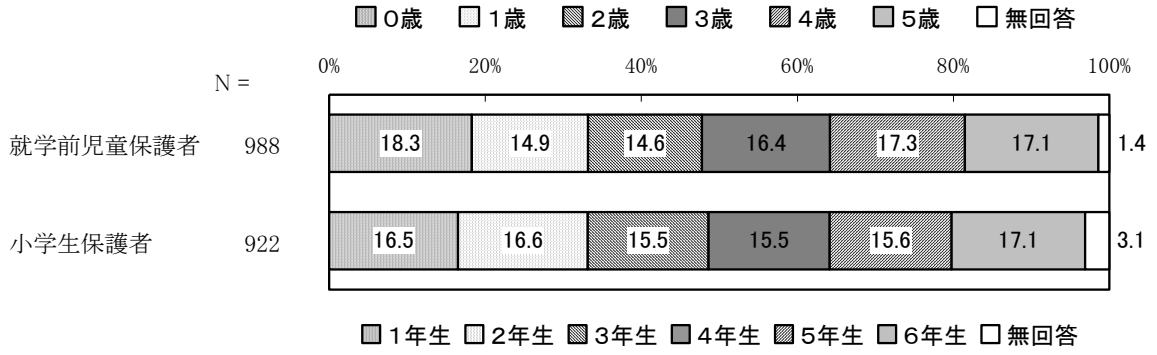
問１　あて名のお子さんの生年月をお伺いします。

就学前児童保護者

「０歳」の割合が 18.3％と最も高く、次いで「４歳」の割合が 17.3％、「５歳」の割合が 17.1％となっています。

小学生保護者

「６年生（11 歳)」の割合が 17.1％と最も高く、次いで「２年生（７歳)」の割合が 16.6％、「１年生（６歳)」の割合が 16.5％となっています。



※年齢：2015 年４月１日時点で算定、2015 年生まれは全員０歳

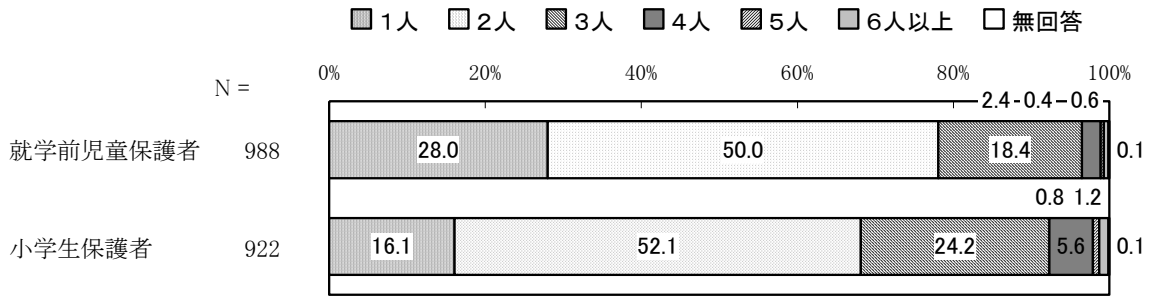
問２　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

就学前児童保護者

「２人」の割合が 50.0％と最も高く、次いで「１人」の割合が 28.0％、「３人」の割合が 18.4％となっています。

小学生保護者

「２人」の割合が 52.1％と最も高く、次いで「３人」の割合が 24.2％、「１人」の割合が 16.1％となっています。



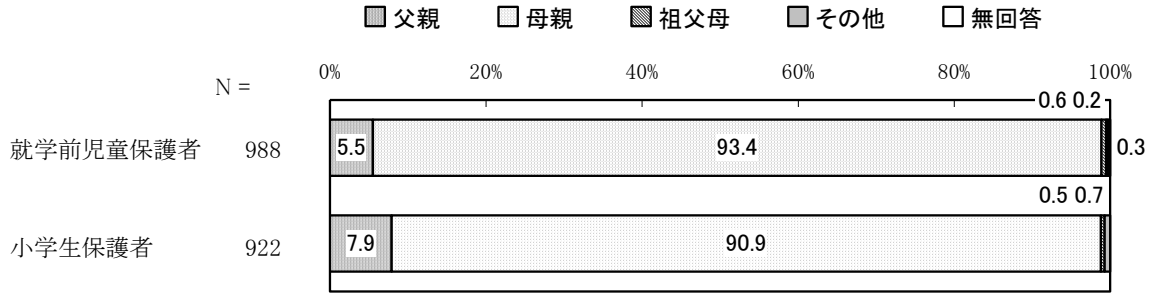
問３　アンケートを記入している方はだれですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

就学前児童保護者

「母親」の割合が 93.4%と最も高くなっています。

小学生保護者

「母親」の割合が 90.9%と最も高くなっています。



問４　第一子を出産されたときの年齢を選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

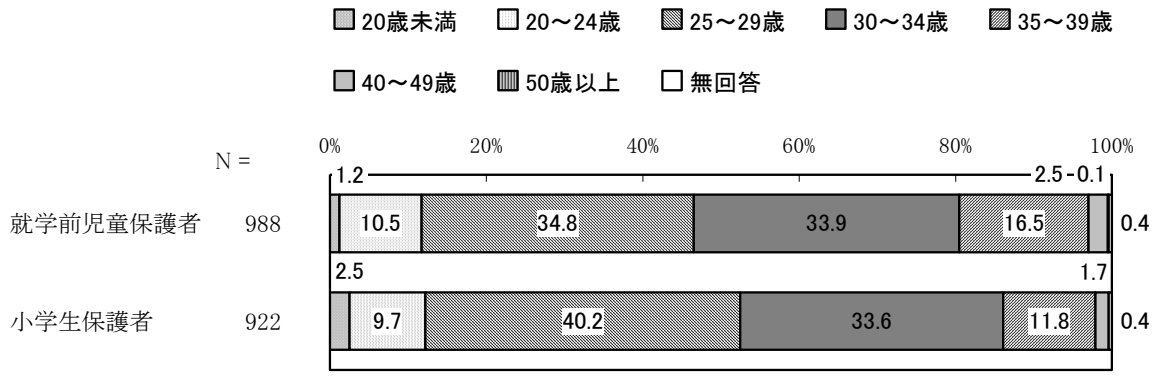
就学前児童保護者

「25～29 歳」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「30～34 歳」の割合が 33.9%、「35～39 歳」の割合が 16.5%となっています。

小学生保護者

「25～29 歳」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「30～34 歳」の割合が 33.6%、「35～39 歳」の割合が 11.8%となっています。

全国的な傾向として、晩婚化・晩産化が見られますが、小学生保護者に比べ、就学前児童保護者では「25～29 歳」の割合が低く、また、「35～39 歳」の割合が高くなっており、町田市においても、晩産化が進んでいることがうかがえます。



問５　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

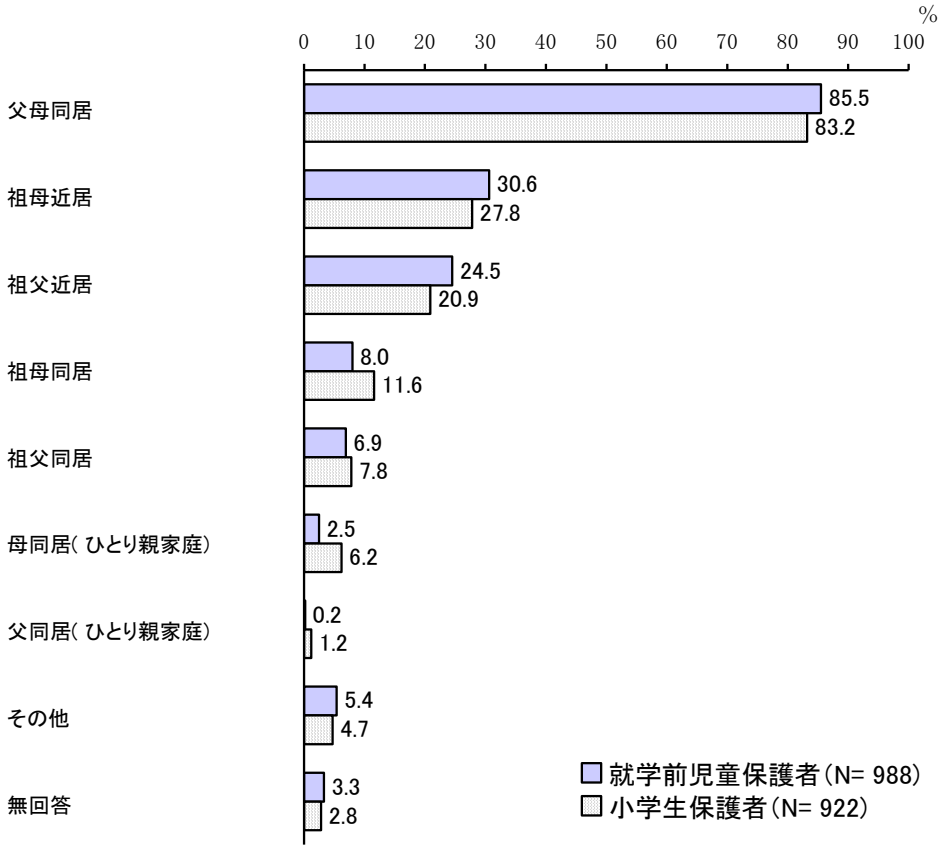
就学前児童保護者

「父母同居」の割合が 85.5％と最も高く、次いで「祖母近居」の割合が 30.6％、「祖父近居」の割合が 24.5％となっています。

小学生保護者

「父母同居」の割合が 83.2％と最も高く、次いで「祖母近居」の割合が 27.8％、「祖父近居」の割合が 20.9％となっています。

祖父母と同居している家庭は１割程度ですが、祖父母と近居している家庭は３割程度見られ、同居家庭と合わせて、４割程度の家庭は日常的に祖父母の支援を受けられる状況にあることがうかがえます。



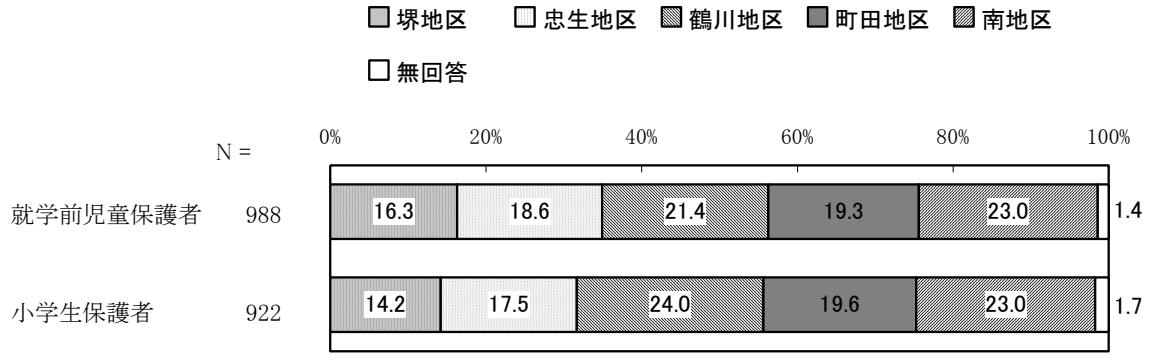
問６　お住まいの地区をお伺いします。

就学前児童保護者

「南地区」の割合が 23.0％と最も高く、次いで「鶴川地区」の割合が 21.4％、「町田地区」の割合が 19.3％となっています。

小学生保護者

「鶴川地区」の割合が 24.0％と最も高く、次いで「南地区」の割合が 23.0％、「町田地区」の割合が 19.6％となっています。



（２）家庭や地域生活について

問７　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えに１つだけ○をつけてください。

問８　家事や子育てを、主に行っている人やそれを補助する人は誰ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

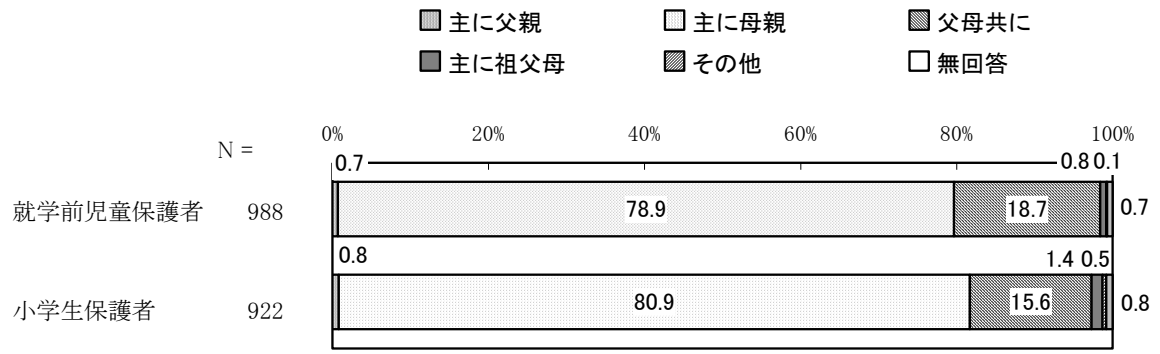
就学前児童保護者

「主に母親」の割合が 78.9％と最も高く、次いで「父母共に」の割合が 18.7％となっています。

小学生保護者

「主に母親」の割合が 80.9％と最も高く、次いで「父母共に」の割合が 15.6％となっています。

男女共同参画が推進される中、男性も子育てに積極的に関わる機運は高まっていますが、子どもの身の回りの世話などを主にしている人は「主に母親」の割合が８割となっており、家庭内における男女の役割分担については、依然として主に女性が家事・育児を担う現状にあることがうかがえます。



就学前児童保護者

N = 988　　単位：%

区分	子の母・女性保護者	子の父・男性保護者	父母共に	子のきょうだい	おじ・おば	その他	無回答
①食事を作る	90.8	1.6	7.6	0.3	0.1	3.4	0.3
②食事の後かたづけ	80.6	5.9	15.5	1.8	0.2	3.1	－
③掃除をする	82.5	5.1	14.8	0.6	0.1	2.1	－
④洗濯をする	84.1	5.0	12.2	0.5	0.2	2.4	0.4
⑤買い物をする（日用品や食材など）	74.9	6.2	24.0	0.3	0.3	2.4	－
⑥子どもの身の回りの世話	78.3	4.7	21.7	0.7	0.3	2.1	0.2
⑦子どもと遊ぶ	42.3	16.0	51.9	13.1	1.2	3.3	0.3
⑧子どもをお風呂に入れる	54.6	15.6	37.8	5.0	0.2	2.1	0.4
⑨保育園・幼稚園等の送迎	69.3	4.1	12.8	0.1	0.3	5.8	13.0
⑩保育園・幼稚園・学校の保護者会等の参加	71.4	3.6	12.7	0.1	0.1	3.3	12.8

小学生保護者

N = 922　　単位：%

区分	子の母・女性保護者	子の父・男性保護者	父母共に	子のきょうだい	おじ・おば	その他	無回答
①食事を作る	89.6	2.5	6.9	0.9	0.5	4.4	0.1
②食事の後かたづけ	82.1	4.1	12.9	2.4	0.5	4.4	0.1
③掃除をする	85.1	3.9	11.7	2.1	0.7	2.9	0.1
④洗濯をする	88.3	3.5	6.9	0.7	0.4	3.3	0.2
⑤買い物をする（日用品や食材など）	79.4	4.7	18.0	1.1	0.4	2.9	－
⑥子どもの身の回りの世話	83.6	3.1	14.3	1.1	0.4	2.7	0.2
⑦子どもと遊ぶ	38.1	17.9	43.7	18.1	1.4	4.4	0.4
⑧子どもをお風呂に入れる	50.2	13.6	24.6	7.5	0.5	10.5	3.7
⑨保育園・幼稚園等の送迎	61.4	2.8	6.9	0.5	0.1	6.7	23.9
⑩保育園・幼稚園・学校の保護者会等の参加	87.6	3.4	7.6	－	－	1.3	2.7

問９　自治会や町内会に加入していますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

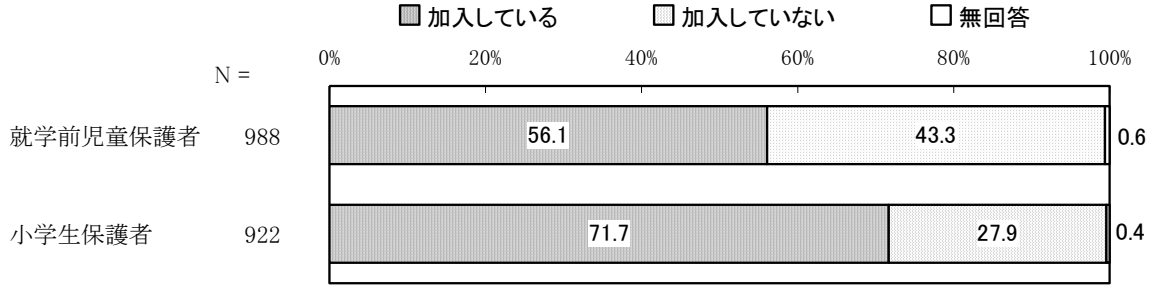
就学前児童保護者

「加入している」の割合が 56.1%、「加入していない」の割合が 43.3%となっています。

小学生保護者

「加入している」の割合が 71.7%、「加入していない」の割合が 27.9%となっています。

就学前児童保護者に比べ、小学生保護者では「加入している」の割合が高くなっており、子どもが小学校に上がるころには、家を持つなどし、地域に定着する家庭が多くなることがうかがえます。



問 10　あなたの近所とのおつきあいはどうですか。（○は主なもの１つ）

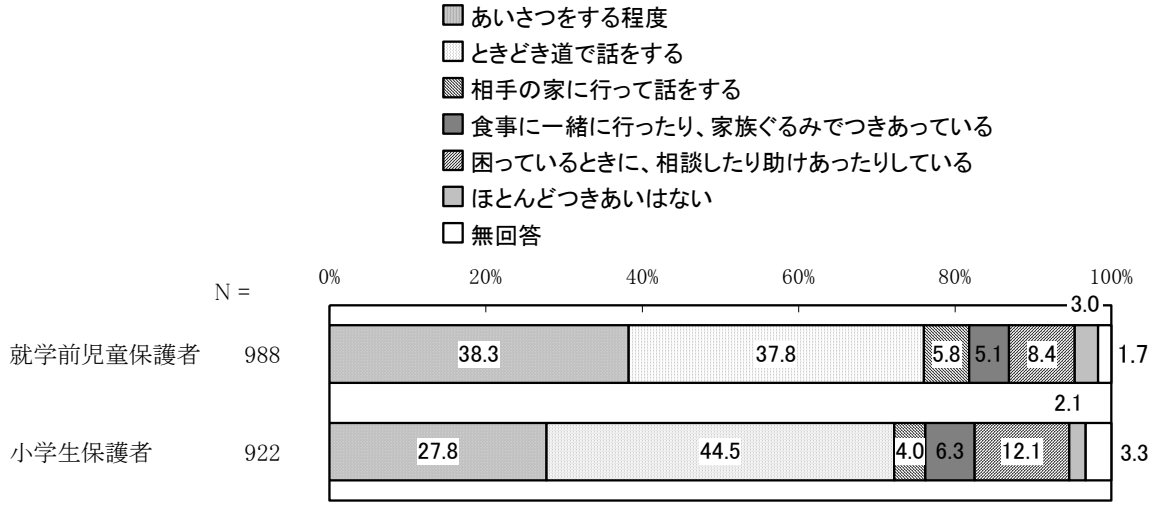
就学前児童保護者

「あいさつをする程度」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」の割合が 37.8%となっています。

小学生保護者

「ときどき道で話をする」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「あいさつをする程度」の割合が 27.8%、「困っているときに、相談したり助けあったりしている」の割合が 12.1%となっています。

同様に、就学前児童保護者に比べ、小学生保護者では「ときどき道で話をする」の割合が高く、子どもが小学校に上がることを契機に、近所づきあいが深まる傾向にあることがうかがえます。



問 11　あなたは、この１年間で次のような地域活動をしたことがありますか。（○はいくつでも）

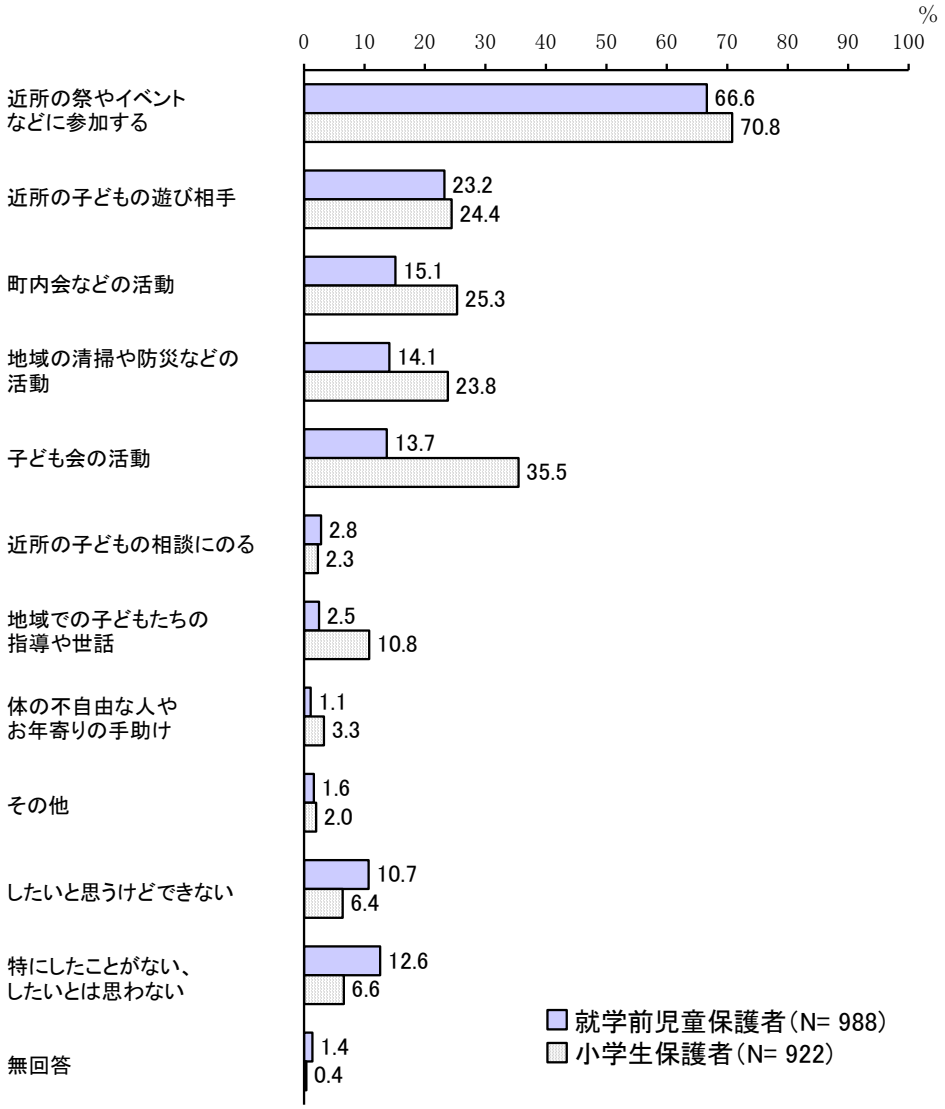
就学前児童保護者

「近所の祭やイベントなどに参加する」の割合が 66.6％と最も高く、次いで「近所の子どもの遊び相手」の割合が 23.2％、「町内会などの活動」の割合が 15.1％となっています。

小学生保護者

「近所の祭やイベントなどに参加する」の割合が 70.8％と最も高く、次いで「子ども会の活動」の割合が 35.5％、「町内会などの活動」の割合が 25.3％となっています。

就学前児童保護者に比べ、小学生保護者では「町内会などの活動」「子ども会の活動」の割合が高く、小学校への就学が地域との繋がりをつくる契機となっていることがうかがえます。



（３）お子さんの遊び場等について

問 12　あて名のお子さんが、小学校に上がったら、放課後、どこで遊ばせたいですか。
次の中からもっとも多いと思われる番号に１つだけ○をつけてください。

就学前児童保護者では、「学童保育クラブ」、「学校の校庭（「まちとも」など)」、「子どもセンター、子どもクラブ（児童館)」の割合が高くなっている一方で、小学生保護者では低くなっており、保護者の利用希望と利用の実態との間にギャップがあることがうかがえます。

就学前児童保護者

単位：％

有効回答数（件）	自宅、自宅周辺	友だちの家、友だちの家周辺	学童保育クラブ	公園	学校の校庭（「まちとも」など）	子どもセンター、子どもクラブ（児童館）	地域子ども教室	冒険あそび場	放課後等デイサービス	ひなた村、大地沢青少年センター	市立体育館（総合体育館、サン町田旭体育館）	その他	無回答
988	25.0	1.5	26.6	14.5	12.1	3.8	0.2	0.7	0.9	0.2	0.3	0.7	13.4

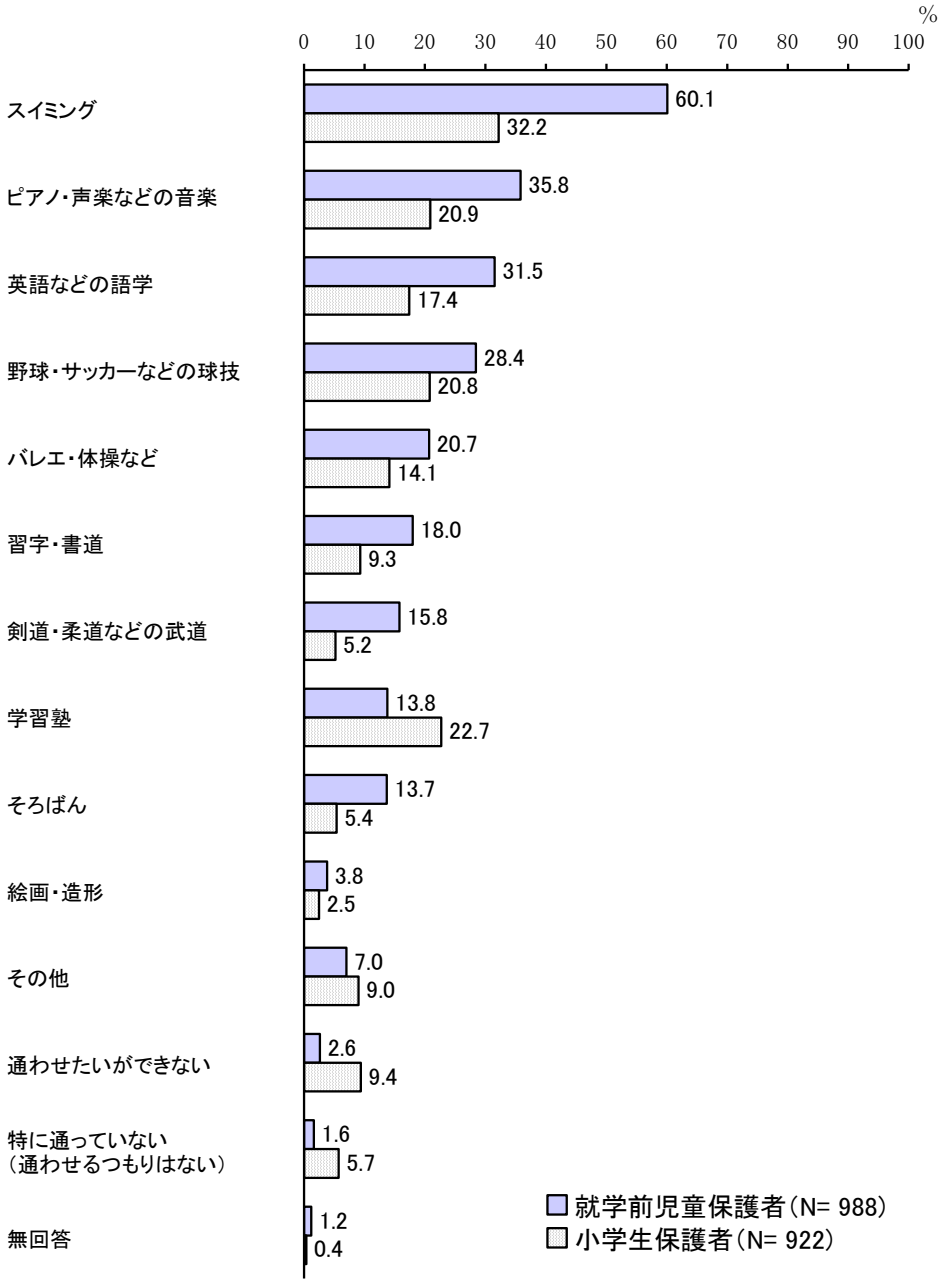
小学生保護者

単位：％

有効回答数（件）	自宅、自宅周辺	友だちの家、友だちの家周辺	学童保育クラブ	公園	学校の校庭（「まちとも」など）	子どもセンター、子どもクラブ（児童館）	地域子ども教室	冒険あそび場	放課後等デイサービス	ひなた村、大地沢青少年センター	市立体育館（総合体育館、サン町田旭体育館）	その他	無回答
922	48.5	7.2	10.1	13.6	2.1	1.6	－	－	0.1	－	0.4	1.1	15.4

問 13　あて名のお子さんが、小学校に上がったら、放課後、習い事、学習塾、スポーツクラブなどに通わせたいですか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

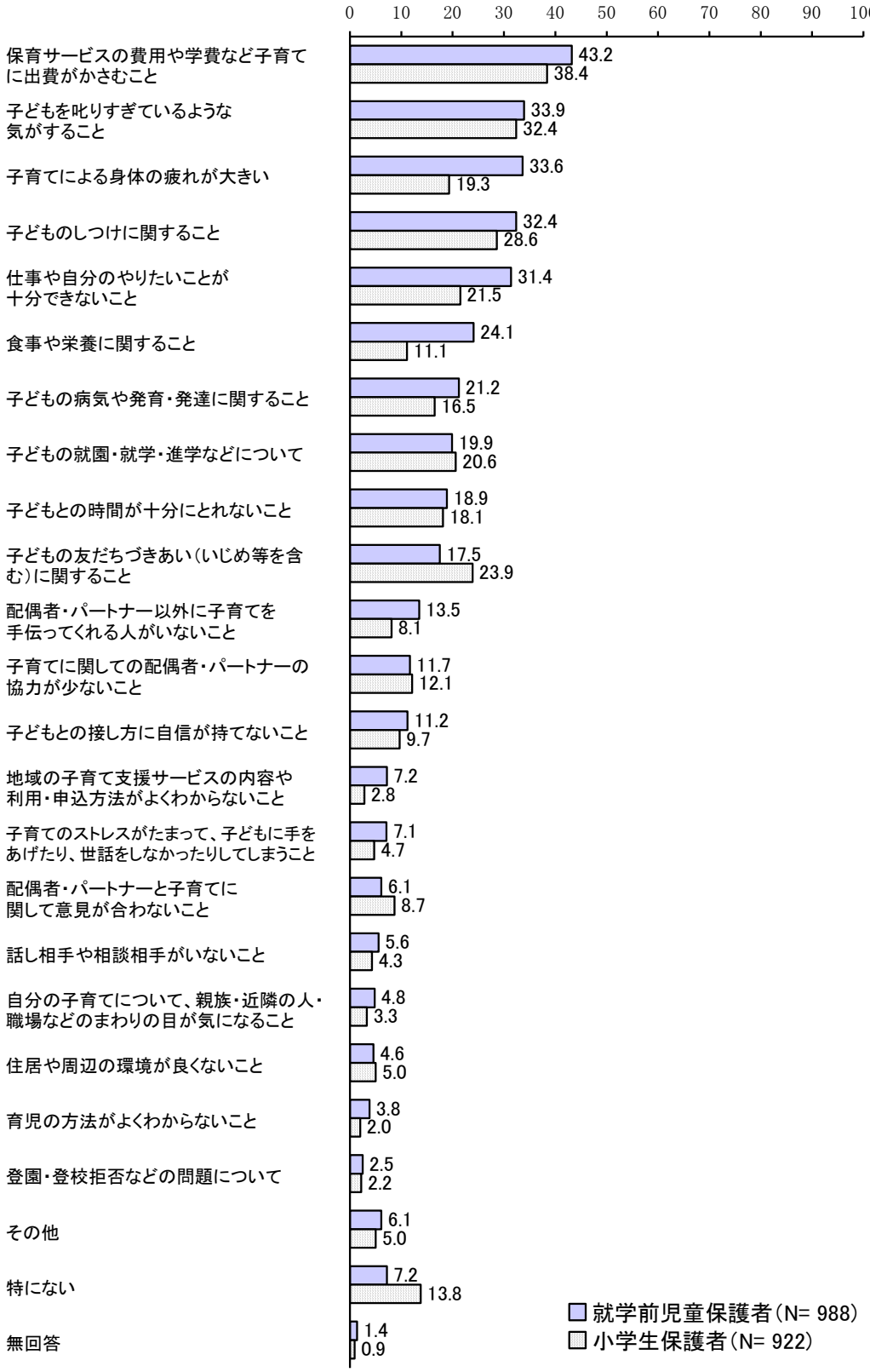
就学前児童保護者では、スイミング、ピアノ・声楽などの音楽、英語などの語学などの習い事に通わせたいと考えている保護者が多い一方で、実際の小学生保護者では、習い事に通わせている割合は低くなっていますが、学習塾に通わせている割合が高くなっています。



（４）子育てに関する悩みや不安について

問 14　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前児童保護者、小学生保護者ともに「保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと」の割合が最も高く、経済的な負担感の大きさがうかがえます。それに次いで、「子どもを叱りすぎているような気がすること」などしつけに関する項目が上位となっています。



問 15　子育ての不安や悩みを感じたときに、それを解決するためにどのようにしていますか。もっとも多いと思われる番号１つに〇をつけてください。

就学前児童保護者、小学生保護者ともに家族や友人に相談する人が多くを占めていますが、「相談していない・できない」人も一定数みられ、こうした相談ができない人への対応は今後も課題となります。また、無回答者には、特に不安や悩みを感じていない人や相談以外の解決策を取っている人が含まれていると推察されます。

就学前児童保護者

単位：％

有効回答数（件）	配偶者、祖父母などの家族に相談する	友だちに相談する	保育園や幼稚園、学校、学童保育クラブなどに相談する	教育センターに相談する	保健所・保健センターに相談する	子ども家庭支援センターに相談する	地域子育て相談センターに相談する	すみれ教室に相談する	病院・診療所に相談する	その他	相談していない・できない	無回答
988	53.8	15.6	1.7	－	0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	1.1	3.3	23.1

小学生保護者

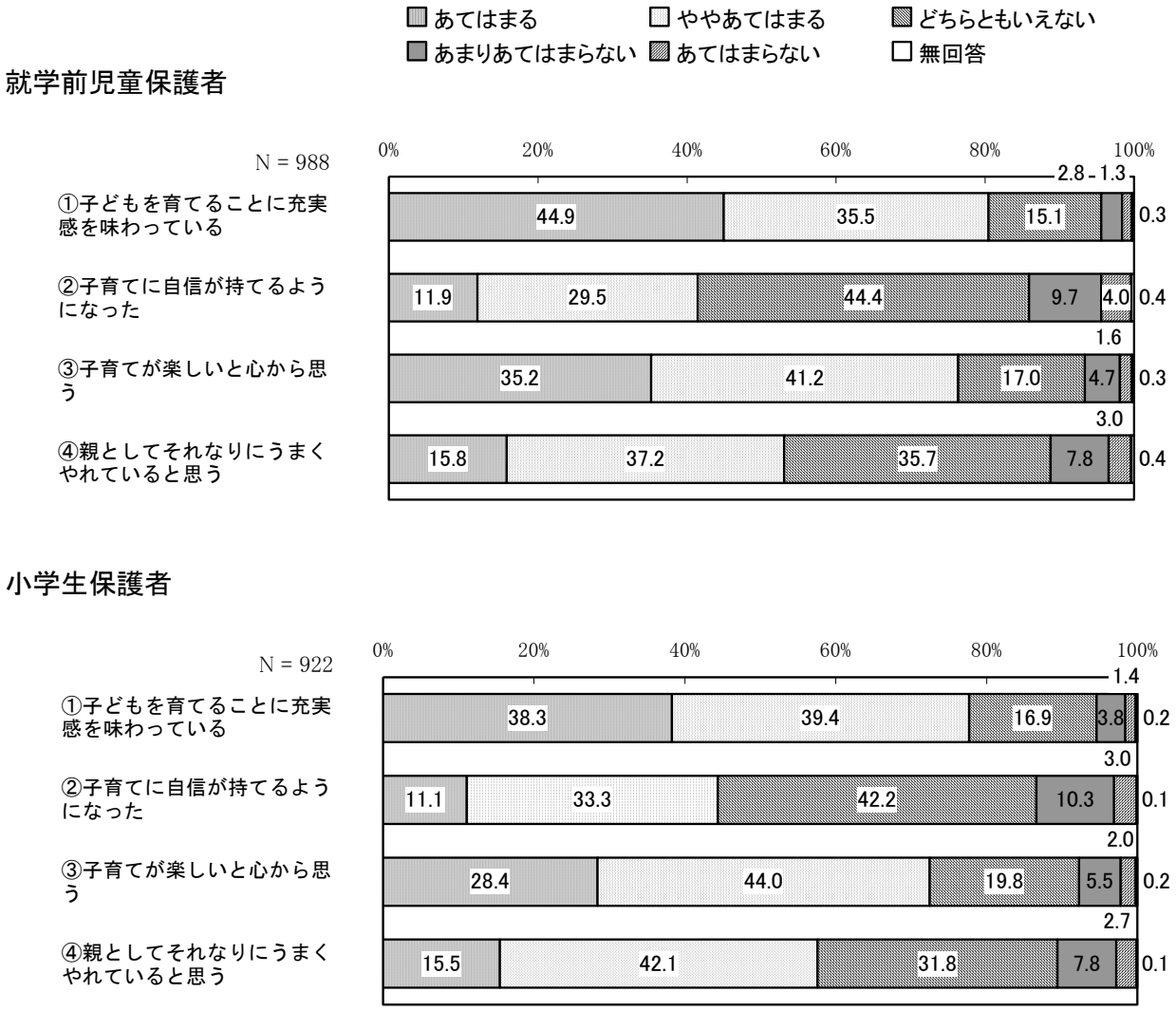
単位：％

有効回答数（件）	配偶者、祖父母などの家族に相談する	友だちに相談する	保育園や幼稚園、学校、学童保育クラブなどに相談する	教育センターに相談する	保健所・保健センターに相談する	子ども家庭支援センターに相談する	地域子育て相談センターに相談する	すみれ教室に相談する	病院・診療所に相談する	その他	相談していない・できない	無回答
922	51.8	19.8	1.1	0.4	－	0.1	－	－	0.4	2.1	6.5	17.7

（５）子育て全般について

問 16　現在の子育てにおいて、それぞれの項目について、あなたの考えに合う番号に○をつけてください。

①子どもを育てることに充実感を味わっている、③子育てが楽しいと心から思うで「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高く、一方で②子育てに自信が持てるようになった、④親としてそれなりにうまくやれていると思う、では比較的低いことから、子育て自体は楽しんでいたり肯定的に受け止めているものの、子育てにあまり自信が持てていない姿がうかがえます。



問 17　子育てを振り返ってみて、子どもが家庭・地域・学校（園）などのまわりの世界から受け取る好ましい経験の「重要度」と「不足度」

問 18　子育てを振り返ってみて、子どもの好ましい心理的（内面的）成長・発達を反映する特性や行動の「重要度」と「不足度」

質問項目について、「重要度」と「不足度」を 6 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■重要度・不足度の得点化の手順■

重要度		得点
とても重要だと思う	→	3 点
重要だと思う	→	2 点
重要だと思わない	→	1 点
無回答	→	計算対象外

不足度		得点
不足している	→	3 点
やや不足している	→	2 点
十分足りている	→	1 点
無回答	→	計算対象外

■重要度の得点の算出式■

（3 点×「とても重要だと思う」の回答者数＋2 点×「重要だと思う」の回答者数
＋1 点×「重要だと思わない」の回答者数）／有効回答者数

■不足度の得点の算出式■

（3 点×「不足している」の回答者数＋2 点×「やや不足している」の回答者数
＋1 点×「十分足りている）／有効回答者数

【問 17　項目内容】

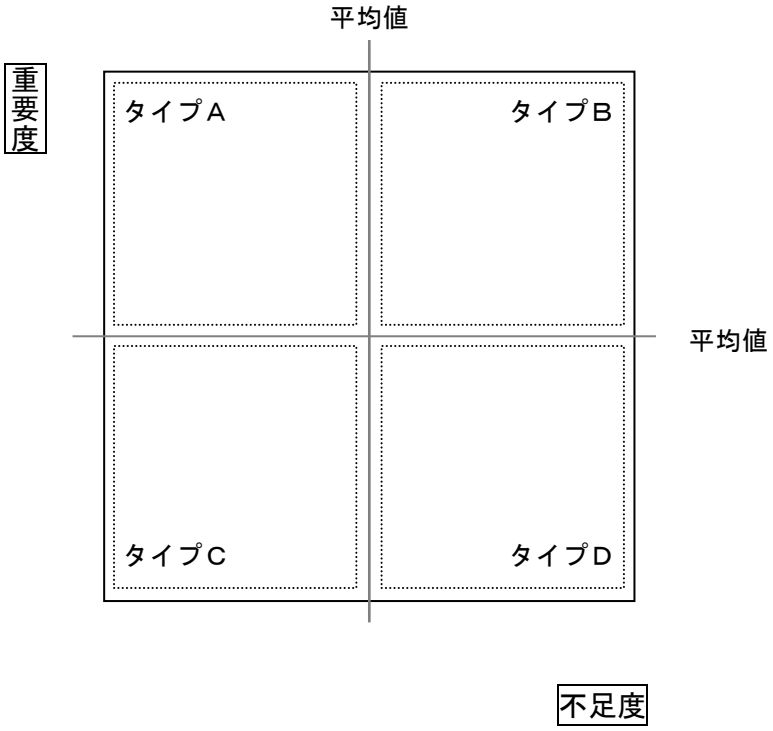
項目	内容
① 家族の支援	家族が、子どもに深い愛情を注ぎ、支援する。また、家族と子どもは、互いの気持ちを伝えあう。
② 他の大人の援助	周囲の人たちが、子どもや保護者が困ったときに助けたり、相談に乗ったりして、あたたかく見守っている。
③ 子どものことを気にかけてくれる地域社会	地域が、子どもたちを気にかけてくれる環境である。
④ 親身に気遣う学校（園）	学校（園）は、子どもを親身に気遣い、学校（園）や地域などの活動がうまくいくよう励まし勇気づける。
⑤ 保護者の地域活動への協力	保護者が、子どもが地域活動の中でうまくいくように積極的に協力する。
⑥ 地域社会の承認	家庭や地域が、子どもたちを大事な存在として扱う。
⑦ 子どもの社会的役割	家庭や地域が、子どもたちに有用な役割を与える。
⑧ 奉仕活動	家族が子どもとともに、奉仕活動（ボランティア活動）を行う。
⑨ 安全・安心な環境	家庭・地域・学校（園）が、子どもが家庭・地域・社会で安全かつ安心して暮らせるように環境を整える。
⑩ 家庭の規範	家庭が、はっきりした規範、特に善悪に関する規範を持ち、子どもの行動を見守る。
⑪ 家庭外の規範（学校・園が規範を示し、見守る）	学校（園）や地域が、明確な規範を示し、近所の人は子どもの行動を見守る。
⑫ 大人の規範としての役割	保護者や他の大人たちが、好ましい、責任ある行動の見本となる。
⑬ 仲間との交流	子どもが、他の子どもと交流し、遊び、行動を共にする機会を家庭や地域が提供する。

項目	内容
⑭ 年齢にふさわしい発達への期待	保護者や他の大人たちが、子どもが年齢にふさわしい発達や個性を伸ばせるように励ます。
⑮ 創造活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに音楽、美術、演劇などの活動の機会を提供する。
⑯ 家庭外活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに課外活動や地域のスポーツ活動の機会を提供する。
⑰ 自然や生命とのふれあい	家庭・地域・学校（園）が、子どもに動植物や自然とふれあう体験活動の機会を提供する。
⑱ 職業との出会い	家庭・地域・学校（園）が、子どもに、地域の産業に直接ふれるなどの体験の機会を提供する。
⑲ 消費活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに金銭や物を大切に扱うことの意識をもつための取り組みの機会を提供する。
⑳ 健康活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに食生活と健康に関する意識を高める取り組みの機会を提供する。

【問 18　項目内容】

項目	内容
① 思いやり	子どもが、他の人々への思いやる気持ちを持っている。
② 社会的正義感	子どもが、社会的に望まれる正しい行いを尊ぶ気持ちを持っている。
③ 誠実さ	子どもが、家庭で決めた約束事を守るなどの誠実さを持っている。
④ 責任感	子どもが、家の手伝いや約束事をやり遂げている。
⑤ 健全な日常生活	子どもが、食事や睡眠の重要性や異性に対してふさわしい姿勢や考え方を持っている。
⑥ 所属感	子どもが、家庭や地域に愛着を感じている。
⑦ 自己統制力	子どもが、我慢することの大切さを知っている。
⑧ 自己肯定	子どもが、自分のよいところを認識している。
⑨ 人生の目的	子どもが、自分の成長を実感し、毎日を楽しく過ごしている。
⑩ 将来への希望	子どもが、将来の希望をもち、前向きである。
⑪ 計画性と決断力	子どもが、計画性をもった行動をしている。
⑫ コミュニケーション能力	子どもが、相手の意見を聞き入れ、自分の意見を表現できる。
⑬ 抵抗力	子どもが、様々なストレスに対する力を身につけている。
⑭ 争いの平和的解決	子どもが、平和的に争いを解決するための力を身につけている。
⑮ 人権の理解	子どもが、他者の人権を尊重し、差別や偏見のない社会の実現を願っている。
⑯ 自己情報を管理する力	子どもが、自分に関する情報をきちんと身につけている。
⑰ 達成への動機づけ	子どもが、いろいろな活動において最後まで取り組もうとしている。
⑱ 学びへの意欲	子どもが、いろいろなことに関心を持って、積極的に学んでいる。
⑲ 宿題や課題への挑戦	子どもが、自分に与えられたテーマに自ら積極的に挑戦している。
⑳ 読書の喜び	子どもが、1 日少なくとも 30 分、読書をしている。

各項目の重要度・不足度の得点の関係について、重要度・不足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4 つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプＡ　　重要度は高いが、不足度は低い

◆タイプＢ　　重要度は高く、不足度も高い

◆タイプＣ　　重要度は低く、不足度も低い

◆タイプＤ　　重要度は低いが、不足度は高い

就学前児童保護者、小学生保護者ともに全体の傾向として、重要度の高い項目ほど不足度が低くなっています。

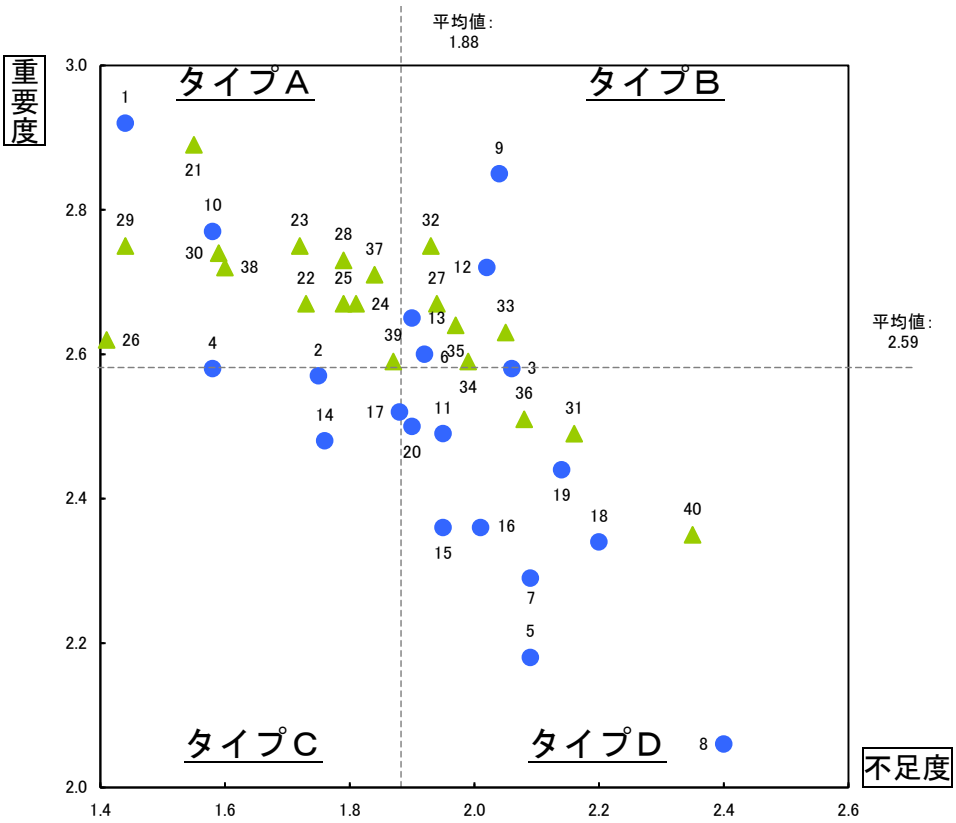
そのなかで、子どもがまわりから受ける好ましい経験（外的資産）については、重要度が高く、不足度が低い項目として「1　家族の支援」「10　家族の規範」などが挙がっており、子どもの成長過程において、家族との会話や家庭におけるしつけ、基本的な生活習慣などの形成の重要性を肯定的に捉え、保護者自身もそれに対して取り組んでいる状況がうかがえます。

一方で、「8　奉仕活動（ボランティア活動）」などの地域社会との関わりは、家庭の支援ほど重要視されていない傾向がうかがえます。

子どもの好ましい心理的成長・発達を反映する特性や行動（内的資産）については、重要度が高く、不足度の低い項目として「21　思いやり」が挙がっており、子どもの好ましい価値観の形成が重要視されている傾向がうかがえます。

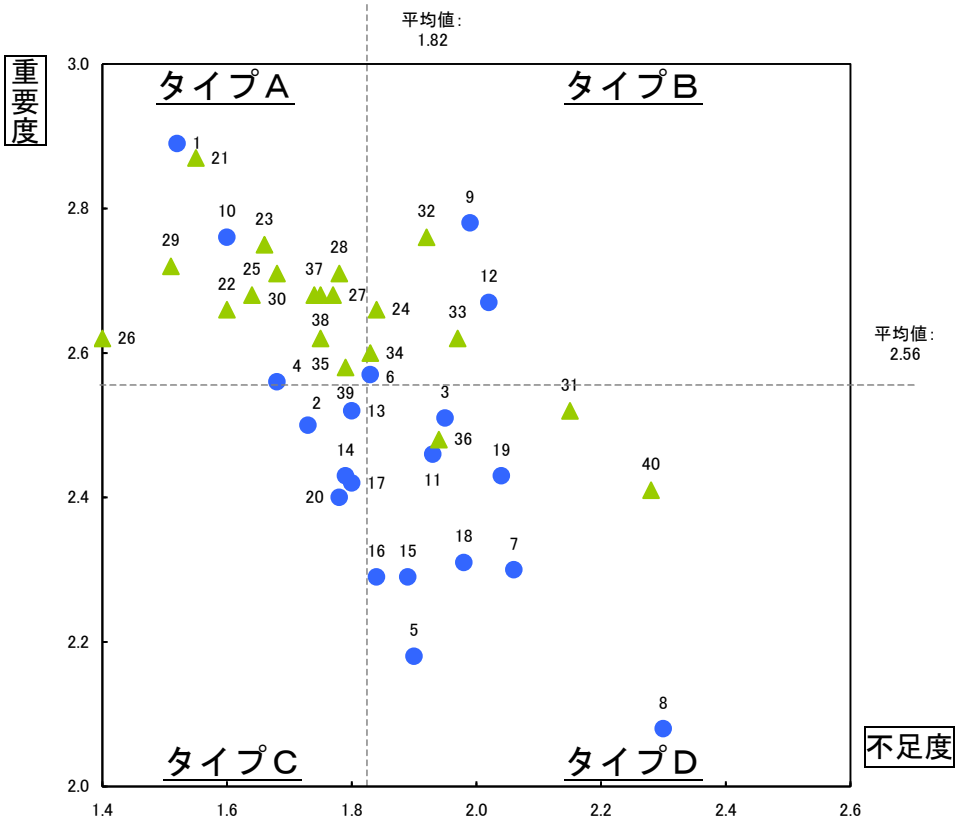
一方で、「40 読書の喜び」の重要度は低く、子どもの成長における読書の習慣の必要性が重要視されていない傾向がうかがえます。

就学前児童保護者



No	● 外的資産	不足度	重要度	No	▲ 内的資産	不足度	重要度
1	家族の支援	1.44	2.92	21	思いやり	1.55	2.89
2	他の大人の援助	1.75	2.57	22	社会的正義感	1.73	2.67
3	子どものことを気にかけてくれる地域社会	2.06	2.58	23	誠実さ	1.72	2.75
4	親身を気遣う学校	1.58	2.58	24	責任感	1.81	2.67
5	保護者の地域活動への協力	2.09	2.18	25	健全な日常生活	1.79	2.67
6	地域社会への承認	1.92	2.60	26	所属感	1.41	2.62
7	子どもの社会的役割	2.09	2.29	27	自己統制力	1.94	2.67
8	奉仕活動	2.40	2.06	28	自己肯定	1.79	2.73
9	安全・安心な環境	2.04	2.85	29	人生の目的	1.44	2.75
10	家庭の規範	1.58	2.77	30	将来への希望	1.59	2.74
11	家庭外の規範	1.95	2.49	31	計画性と決断力	2.16	2.49
12	大人の規範としての役割	2.02	2.72	32	コミュニュケーション能力	1.93	2.75
13	仲間との交流	1.90	2.65	33	抵抗力	2.05	2.63
14	年齢にふさわしい発達への期待	1.76	2.48	34	争いの平和的解決	1.99	2.59
15	創造活動	1.95	2.36	35	人権の理解	1.97	2.64
16	家庭外活動	2.01	2.36	36	自己情報を管理する力	2.08	2.51
17	自然や生命とのふれあい	1.88	2.52	37	達成へ動機付け	1.84	2.71
18	職業との出会い	2.20	2.34	38	学びへの意欲	1.60	2.72
19	消費活動	2.14	2.44	39	宿題や課題への挑戦	1.87	2.59
20	健康活動	1.90	2.50	40	読書の喜び	2.35	2.35

小学生保護者



No	● 外的資産	不足度	重要度	No	▲ 内的資産	不足度	重要度
1	家族の支援	1.52	2.89	21	思いやり	1.55	2.87
2	他の大人の援助	1.73	2.50	22	社会的正義感	1.60	2.66
3	子どものことを気にかけてくれる地域社会	1.95	2.51	23	誠実さ	1.66	2.75
4	親身を気遣う学校	1.68	2.56	24	責任感	1.84	2.66
5	保護者の地域活動への協力	1.90	2.18	25	健全な日常生活	1.64	2.68
6	地域社会への承認	1.83	2.57	26	所属感	1.40	2.62
7	子どもの社会的役割	2.06	2.30	27	自己統制力	1.77	2.68
8	奉仕活動	2.30	2.08	28	自己肯定	1.78	2.71
9	安全・安心な環境	1.99	2.78	29	人生の目的	1.51	2.72
10	家庭の規範	1.60	2.76	30	将来への希望	1.68	2.71
11	家庭外の規範	1.93	2.46	31	計画性と決断力	2.15	2.52
12	大人の規範としての役割	2.02	2.67	32	コミュニュケーション能力	1.92	2.76
13	仲間との交流	1.80	2.52	33	抵抗力	1.97	2.62
14	年齢にふさわしい発達への期待	1.79	2.43	34	争いの平和的解決	1.83	2.60
15	創造活動	1.89	2.29	35	人権の理解	1.75	2.62
16	家庭外活動	1.84	2.29	36	自己情報を管理する力	1.94	2.48
17	自然や生命とのふれあい	1.80	2.42	37	達成へ動機付け	1.74	2.68
18	職業との出会い	1.98	2.31	38	学びへの意欲	1.75	2.68
19	消費活動	2.04	2.43	39	宿題や課題への挑戦	1.79	2.58
20	健康活動	1.78	2.40	40	読書の喜び	2.28	2.41

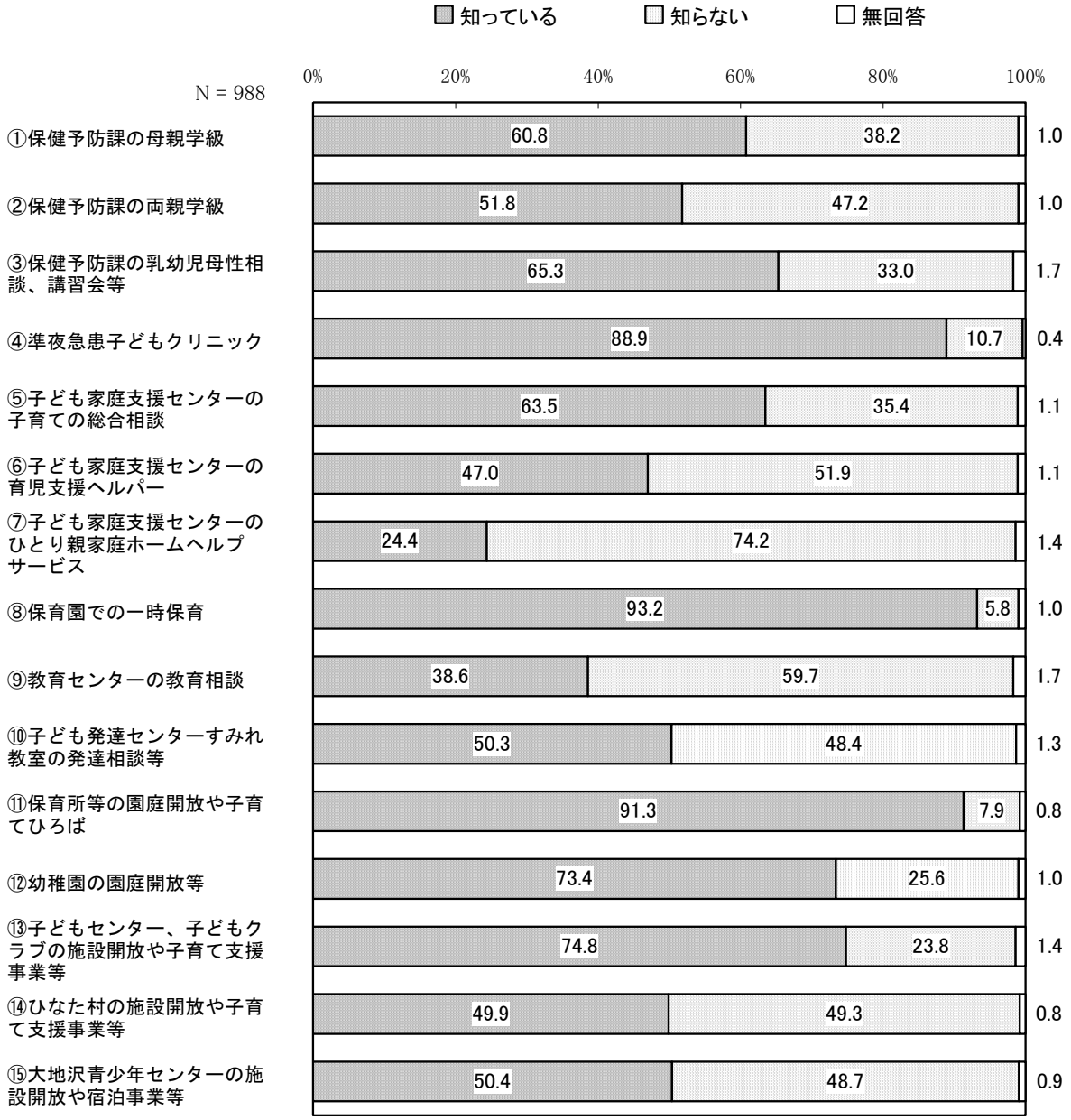
（６）子育て施策について

問 19　下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。あなたの考えに合う番号にそれぞれ〇をつけてください。

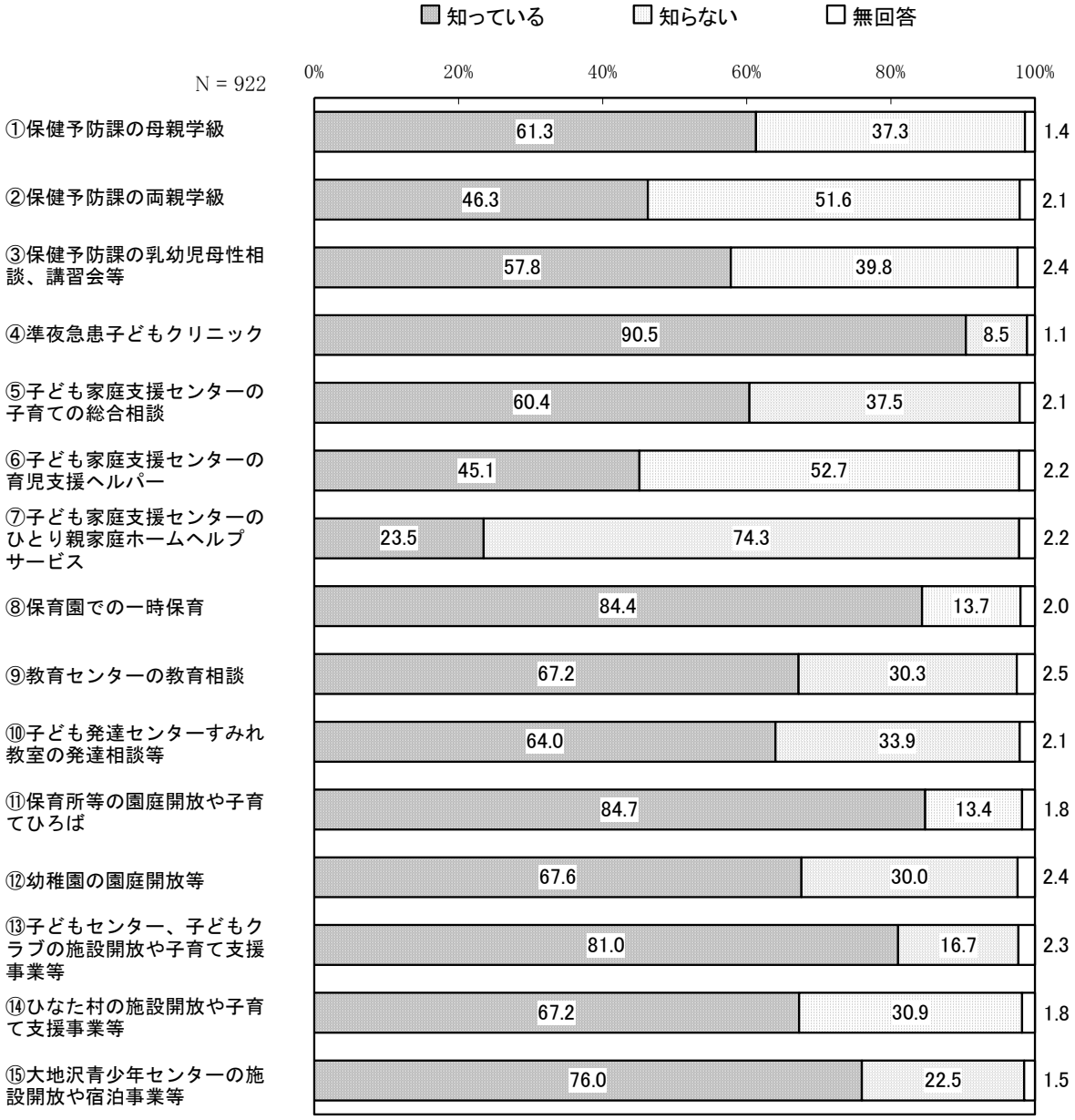
【認知状況】

就学前児童保護者、小学生保護者ともに⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービスで「知らない」の割合が高くなっています。⑨教育センターの教育相談については、就学前児童保護者では「知らない」の割合が高くなっていますが、小学生保護者では認知度が向上しています。

就学前児童保護者



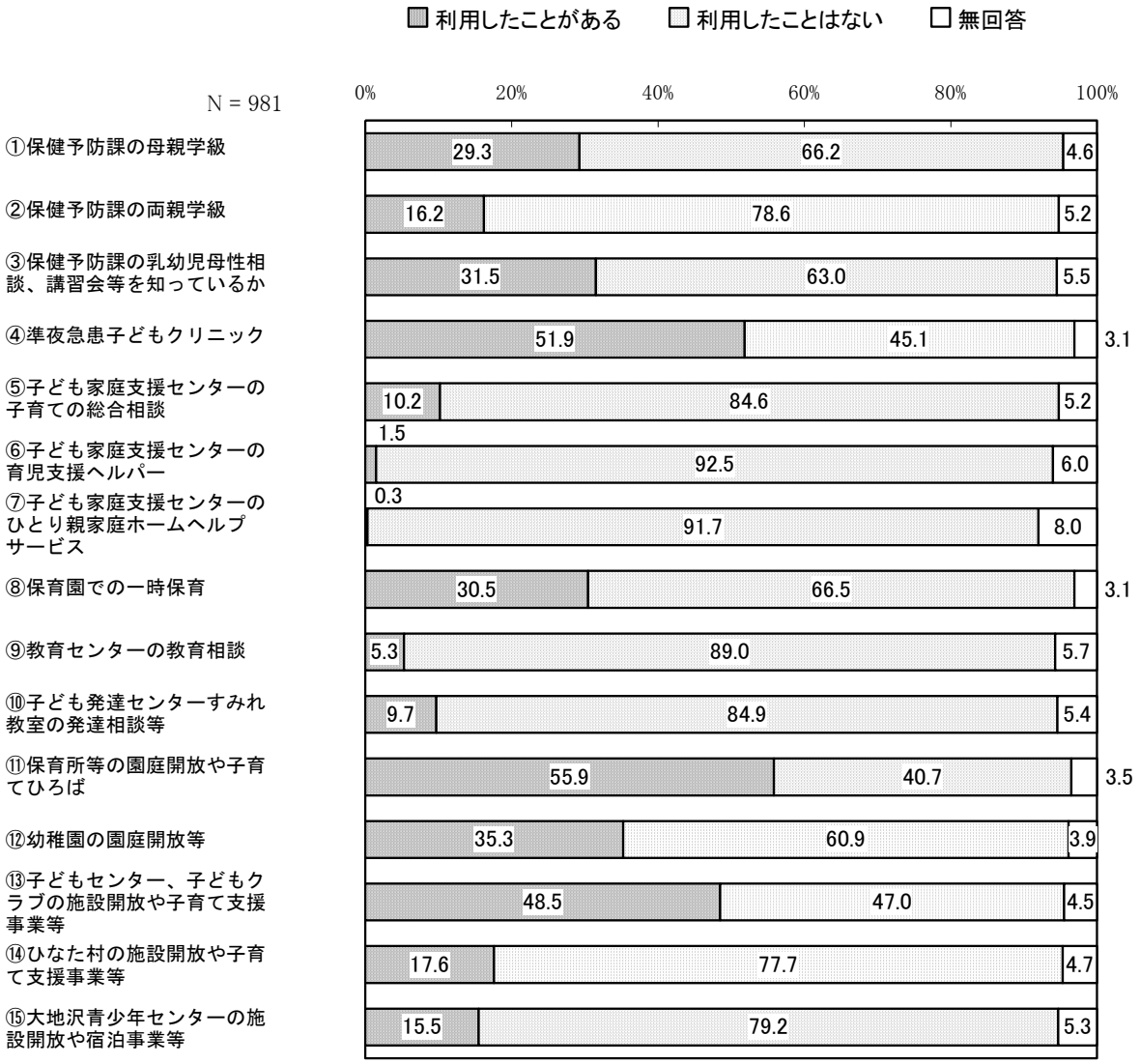
小学生保護者


知っている
知らない
無回答
N = 922
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①保健予防課の母親学級 61.3 37.3 1.4
②保健予防課の両親学級 46.3 51.6 2.1
③保健予防課の乳幼児母性相談、講習会等 57.8 39.8 2.4
④準夜急患子どもクリニック 90.5 8.5 1.1
⑤子ども家庭支援センターの子育ての総合相談 60.4 37.5 2.1
⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー 45.1 52.7 2.2
⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス 23.5 74.3 2.2
⑧保育園での一時保育 84.4 13.7 2.0
⑨教育センターの教育相談 67.2 30.3 2.5
⑩子ども発達センターすみれ教室の発達相談等 64.0 33.9 2.1
⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば 84.7 13.4 1.8
⑫幼稚園の園庭開放等 67.6 30.0 2.4
⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等 81.0 16.7 2.3
⑭ひなた村の施設開放や子育て支援事業等 67.2 30.9 1.8
⑮大地沢青少年センターの施設開放や宿泊事業等 76.0 22.5 1.5

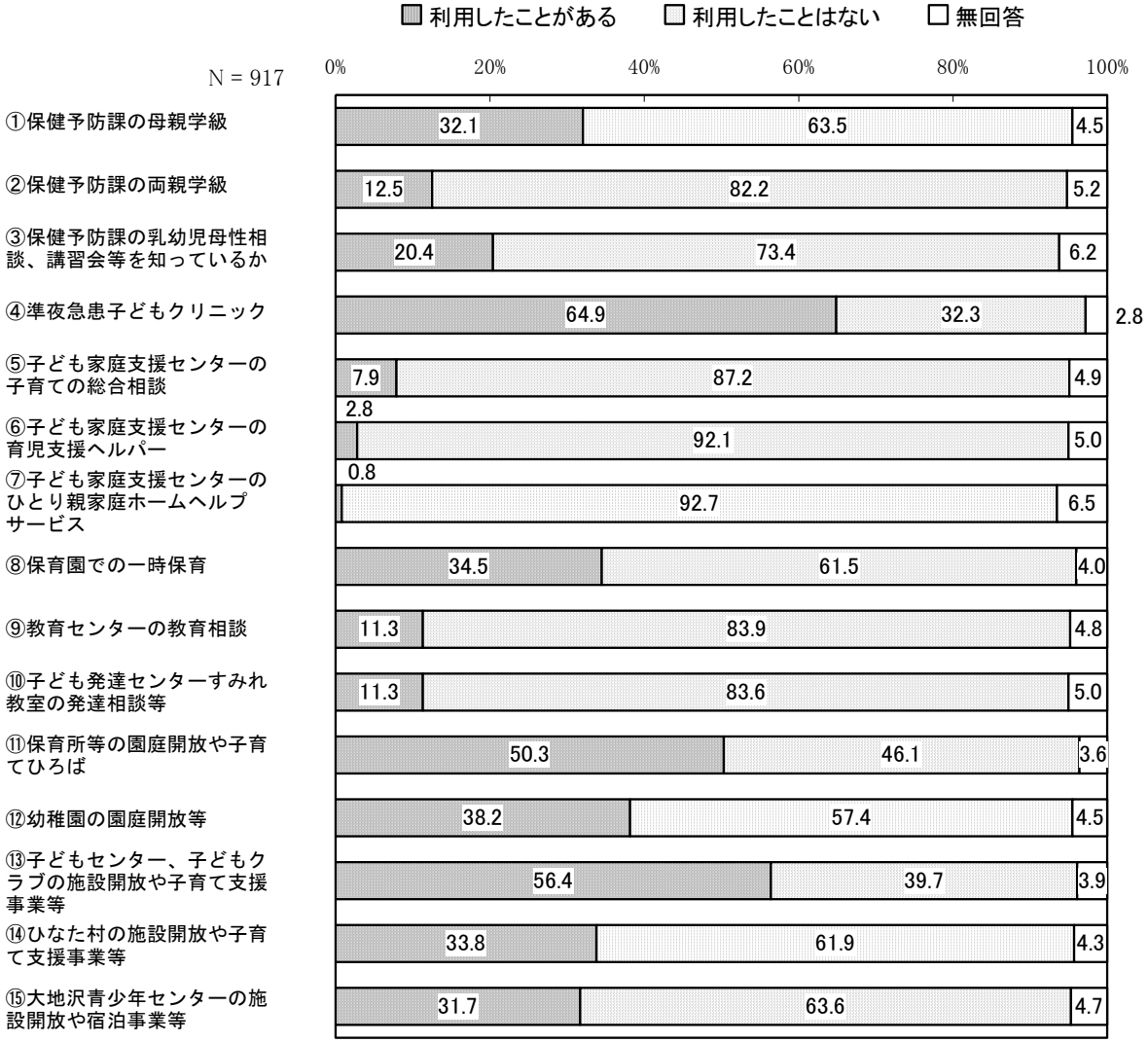
【利用状況】

就学前児童保護者、小学生保護者ともに④準夜急患子どもクリニック、⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば、⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー、⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス、⑨教育センターの教育相談で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

就学前児童保護者



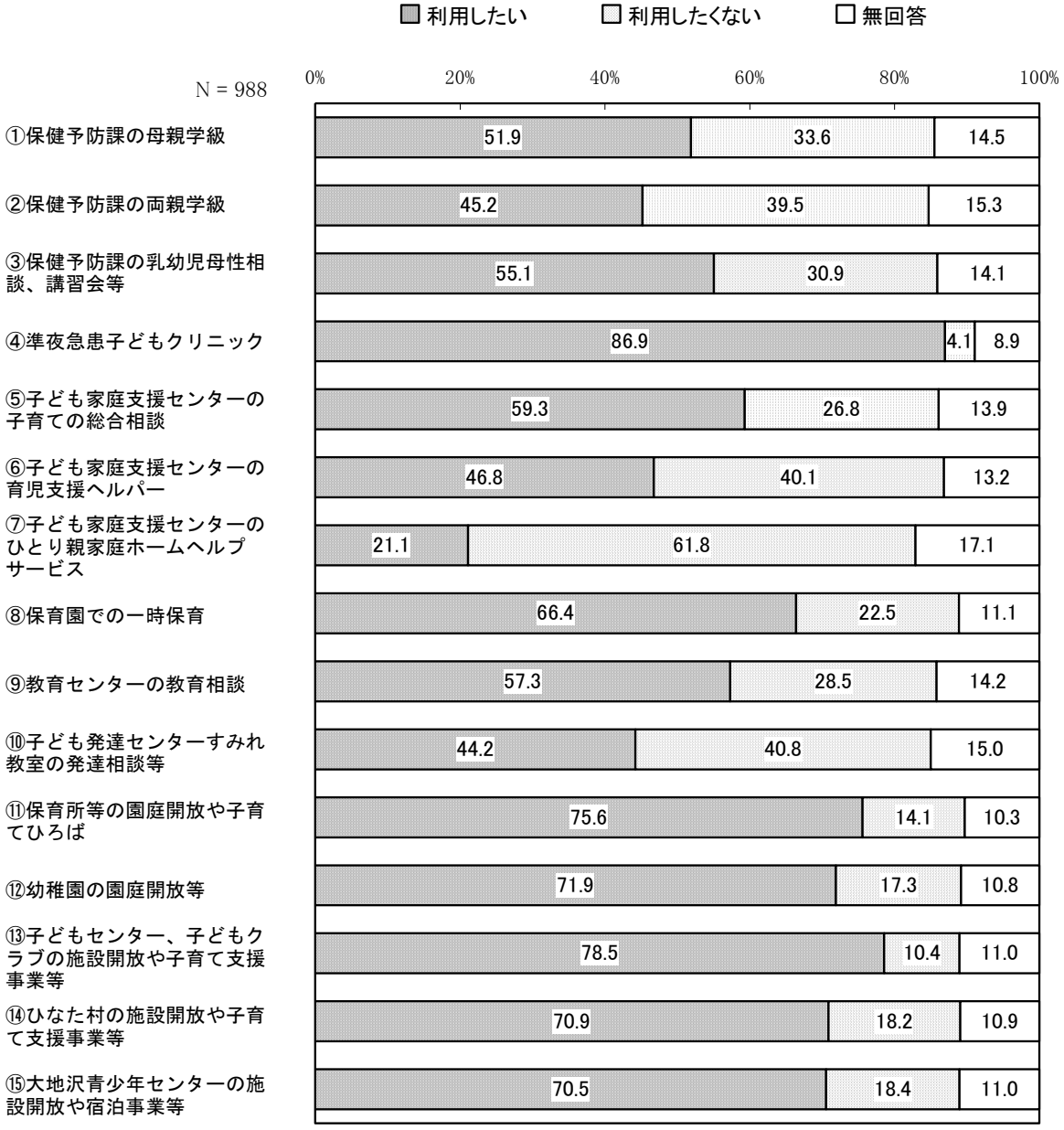
小学生保護者


利用したことがある
利用したことはない
無回答
N = 917
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①保健予防課の母親学級 32.1 63.5 4.5
②保健予防課の両親学級 12.5 82.2 5.2
③保健予防課の乳幼児母性相談、講習会等を知っているか 20.4 73.4 6.2
④準夜急患子どもクリニック 64.9 32.3 2.8
⑤子ども家庭支援センターの子育ての総合相談 7.9 87.2 4.9
⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー 2.8 92.1 5.0
⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス 0.8 92.7 6.5
⑧保育園での一時保育 34.5 61.5 4.0
⑨教育センターの教育相談 11.3 83.9 4.8
⑩子ども発達センターすみれ教室の発達相談等 11.3 83.6 5.0
⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば 50.3 46.1 3.6
⑫幼稚園の園庭開放等 38.2 57.4 4.5
⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等 56.4 39.7 3.9
⑭ひなた村の施設開放や子育て支援事業等 33.8 61.9 4.3
⑮大地沢青少年センターの施設開放や宿泊事業等 31.7 63.6 4.7

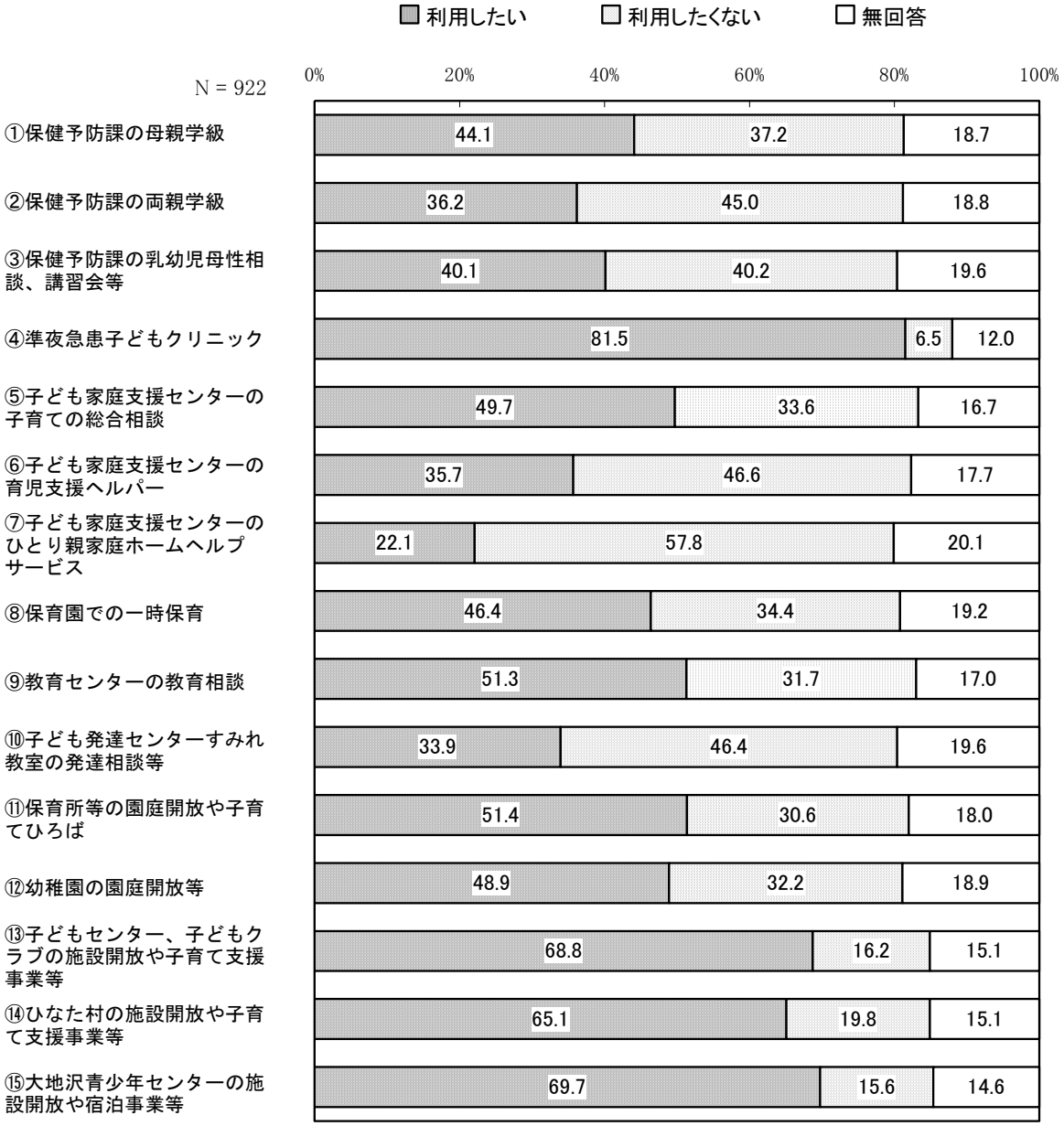
【利用意向】

就学前児童保護者、小学生保護者ともに④準夜急患子どもクリニックで「利用したい」の割合が高くなっています。その他に、就学前児童保護者は⑪保育所等の園庭開放や子育てひろばなどの園庭開放・施設開放に対する利用意向が高く、子どもの遊び場へのニーズの高さがうかがえます。

就学前児童保護者



小学生保護者


利用したい
利用したくない
無回答
N = 922
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①保健予防課の母親学級 44.1 37.2 18.7
②保健予防課の両親学級 36.2 45.0 18.8
③保健予防課の乳幼児母性相談、講習会等 40.1 40.2 19.6
④準夜急患子どもクリニック 81.5 6.5 12.0
⑤子ども家庭支援センターの子育ての総合相談 49.7 33.6 16.7
⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー 35.7 46.6 17.7
⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス 22.1 57.8 20.1
⑧保育園での一時保育 46.4 34.4 19.2
⑨教育センターの教育相談 51.3 31.7 17.0
⑩子ども発達センターすみれ教室の発達相談等 33.9 46.4 19.6
⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば 51.4 30.6 18.0
⑫幼稚園の園庭開放等 48.9 32.2 18.9
⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等 68.8 16.2 15.1
⑭ひなた村の施設開放や子育て支援事業等 65.1 19.8 15.1
⑮大地沢青少年センターの施設開放や宿泊事業等 69.7 15.6 14.6

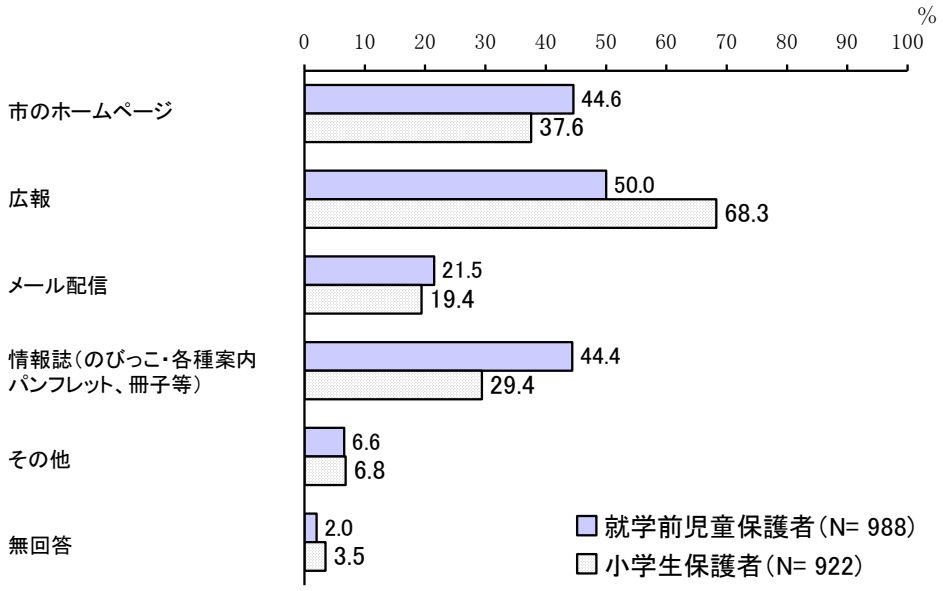
問 20　市からの子ども・子育てに関する情報を何から得ていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

就学前児童保護者

「広報」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「市のホームページ」の割合が 44.6%、「情報誌（のびっこ・各種案内パンフレット、冊子等）」の割合が 44.4%となっています。

小学生保護者

「広報」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「市のホームページ」の割合が 37.6%、「情報誌（のびっこ・各種案内パンフレット、冊子等）」の割合が 29.4%となっています。



問 20 で「１．市のホームページ」、「３．メール配信」に○をつけた方に伺います。

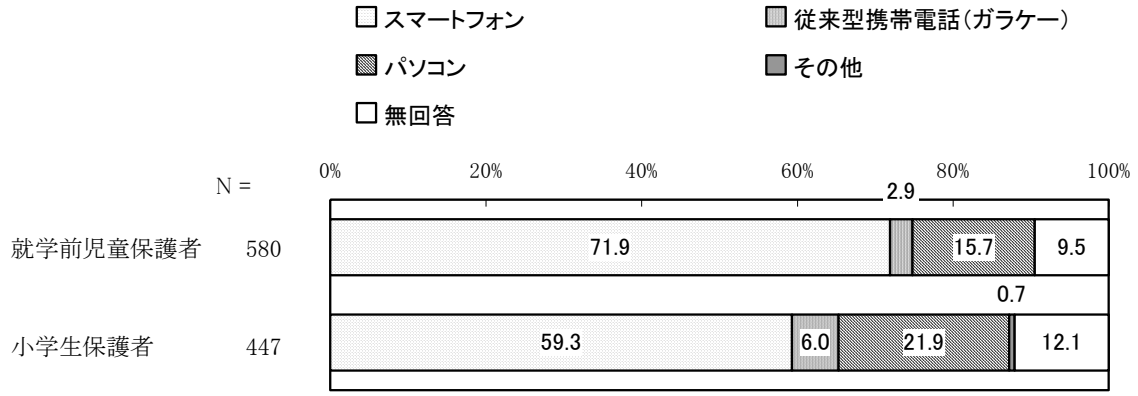
問 20―１　主にどの媒体を利用していますか。

就学前児童保護者

「スマートフォン」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 15.7%となっています。

小学生保護者

「スマートフォン」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 21.9%となっています。



問 21　安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

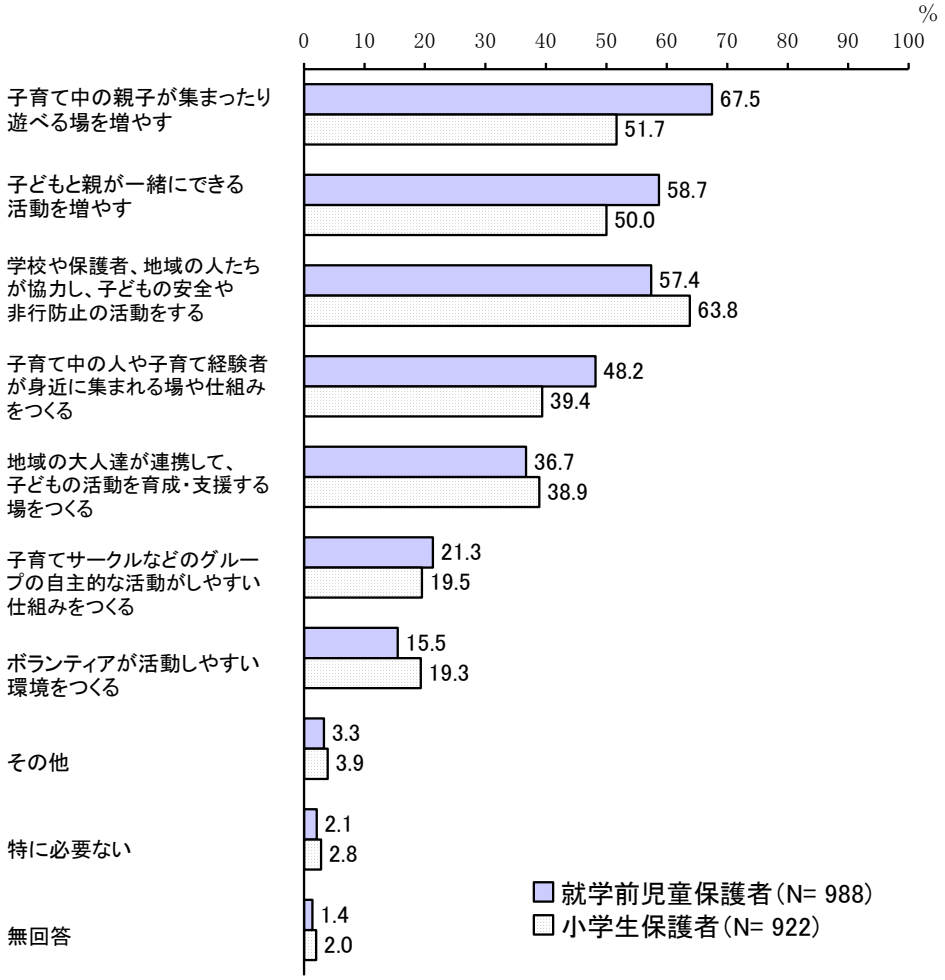
就学前児童保護者

「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が 58.7%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が 57.4%となっています。

小学生保護者

「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」の割合が 51.7%、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」の割合が 50.0%となっています。

就学前児童保護者では、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」の割合が最も高くなっているのに対し、小学生保護者では「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」の割合が最も高くなっており、子どもが小学校に上がるにつれ、子どもの安全や非行防止に対する意識が高まってくる傾向がうかがえます。



問 22　市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号５つまでに〇をつけてください。

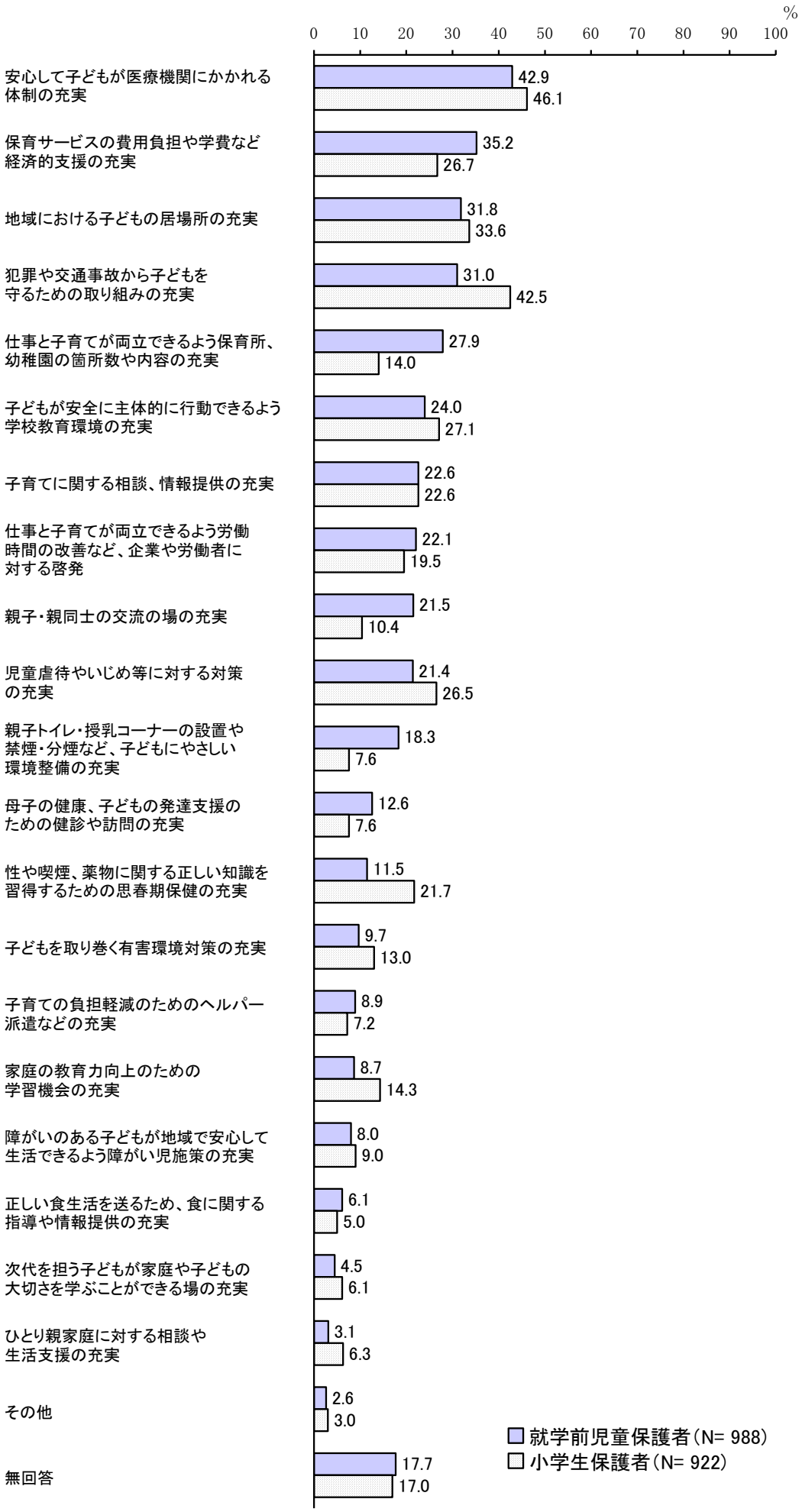
就学前児童保護者

「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 35.2%、「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 31.8%となっています。

小学生保護者

「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」の割合が 42.5%、「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 33.6%となっています。

就学前児童保護者、小学生保護者ともに「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」の割合が最も高く、前述のサービスの利用意向において、「準夜急患子どもクリニック」の利用意向が高かったことを鑑みると、小児医療に対する保護者のニーズの高さや重要視されていることがうかがえます。


%
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実 42.9 46.1
保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実 35.2 26.7
地域における子どもの居場所の充実 31.8 33.6
犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実 31.0 42.5
仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実 27.9 14.0
子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実 24.0 27.1
子育てに関する相談、情報提供の充実 22.6 22.6
仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発 22.1 19.5
親子・親同士の交流の場の充実 21.5 10.4
児童虐待やいじめ等に対する対策の充実 21.4 26.5
親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実 18.3 7.6
母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問の充実 12.6 7.6
性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実 11.5 21.7
子どもを取り巻く有害環境対策の充実 9.7 13.0
子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣などの充実 8.9 7.2
家庭の教育力向上のための学習機会の充実 8.7 14.3
障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実 8.0 9.0
正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実 6.1 5.0
次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実 4.5 6.1
ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実 3.1 6.3
その他 2.6 3.0
無回答 17.7 17.0
就学前児童保護者（N= 988）
小学生保護者（N= 922）

２　中学生・高校生調査

（１）回答者属性

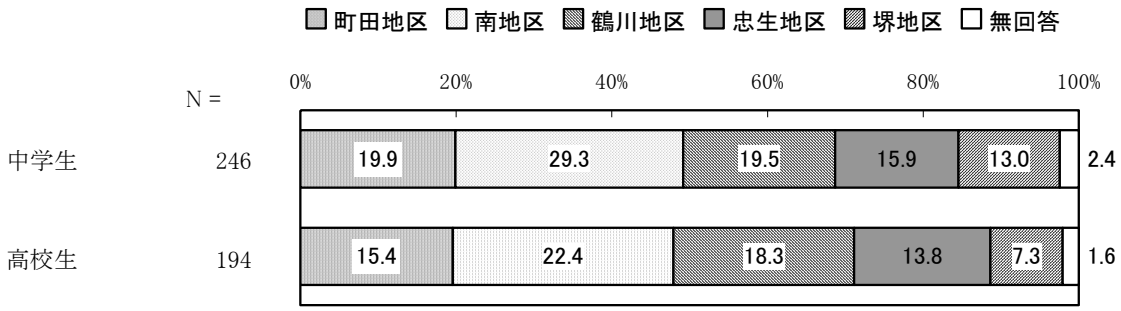
問１　お住まいの地区をお伺いします。

中学生

「南地区」の割合が 29.3％と最も高く、次いで「町田地区」の割合が 19.9％、「鶴川地区」の割合が 19.5％となっています。

高校生

「南地区」の割合が 22.4％と最も高く、次いで「鶴川地区」の割合が 18.3％、「町田地区」の割合が 15.4％となっています。



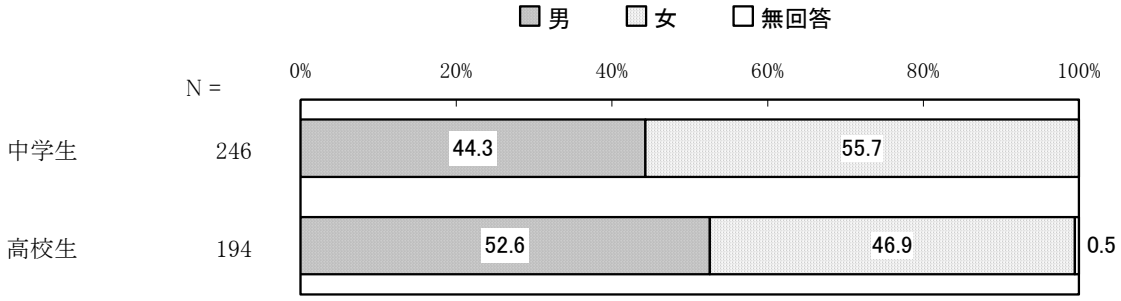
問２　性別を教えてください。（１つに○）

中学生

「男」の割合が 44.3％、「女」の割合が 55.7％となっています。

高校生

「男」の割合が 52.6％、「女」の割合が 46.9％となっています。



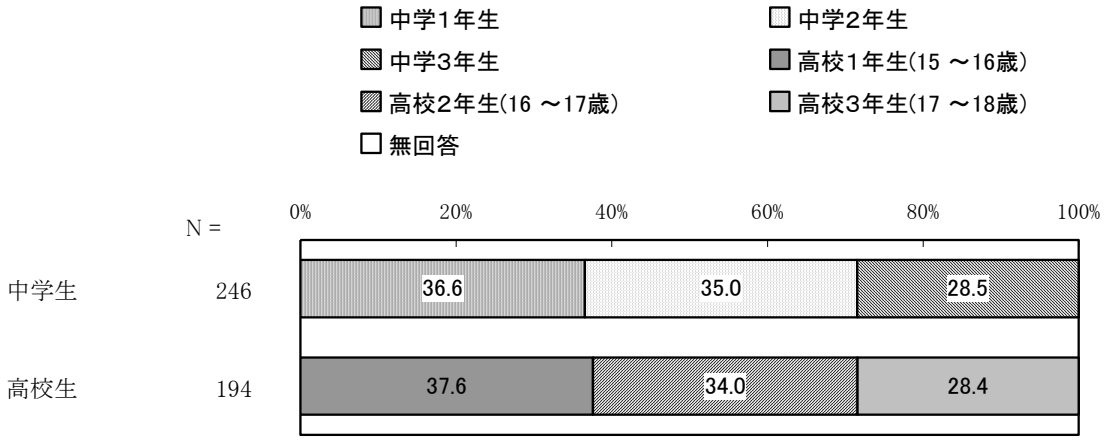
問３　学年(年齢)を教えてください。(１つに○)

中学生

「中学１年生」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「中学２年生」の割合が 35.0%、「中学３年生」の割合が 28.5%となっています。

高校生

「高校１年生(15～16 歳)」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「高校２年生(16～17 歳)」の割合が 34.0%、「高校３年生(17～18 歳)」の割合が 28.4%となっています。



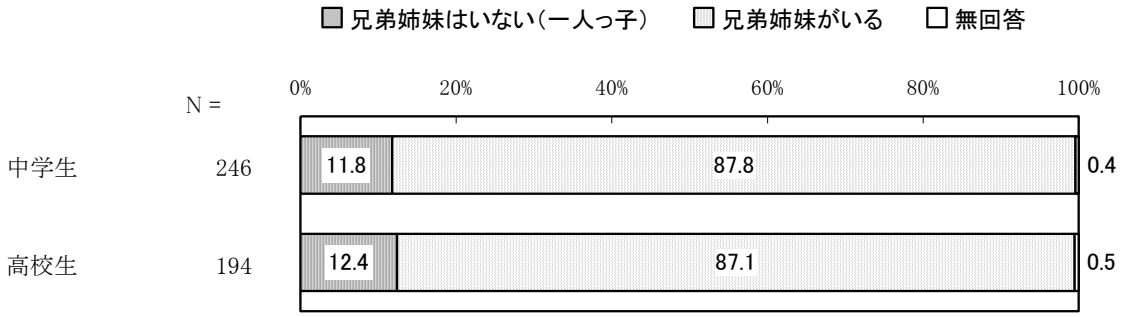
問４　あなたには兄弟姉妹がいますか。また、兄弟姉妹がいる場合、あなたは上から何番目ですか。(１つに○、２では数字を二カ所にいれてください)

中学生

「兄弟姉妹がいる」の割合が 87.8%、「兄弟姉妹はいない（一人っ子)」の割合が 11.8%となっています。

高校生

「兄弟姉妹がいる」の割合が 87.1%、「兄弟姉妹はいない（一人っ子)」の割合が 12.4%となっています。



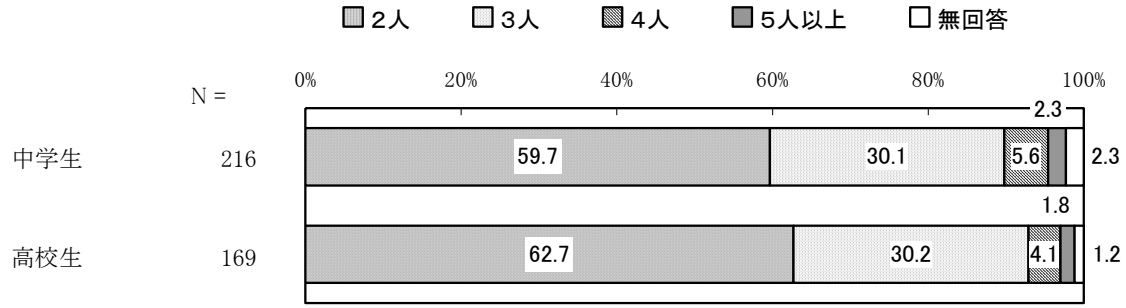
【兄弟姉妹の人数】

中学生

「２人」の割合が 59.7％と最も高く、次いで「３人」の割合が 30.1％となっています。

高校生

「２人」の割合が 62.7％と最も高く、次いで「３人」の割合が 30.2％となっています。



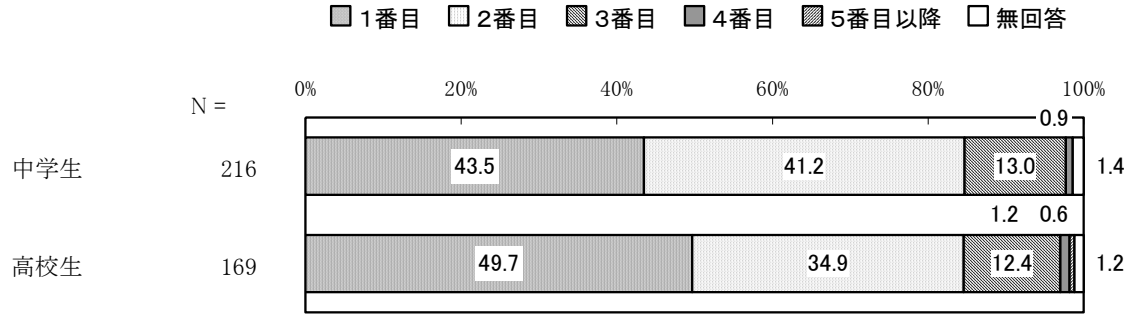
【兄弟姉妹の順番】

中学生

「１番目」の割合が 43.5％と最も高く、次いで「２番目」の割合が 41.2％、「３番目」の割合が 13.0％となっています。

高校生

「１番目」の割合が 49.7％と最も高く、次いで「２番目」の割合が 34.9％、「３番目」の割合が 12.4％となっています。



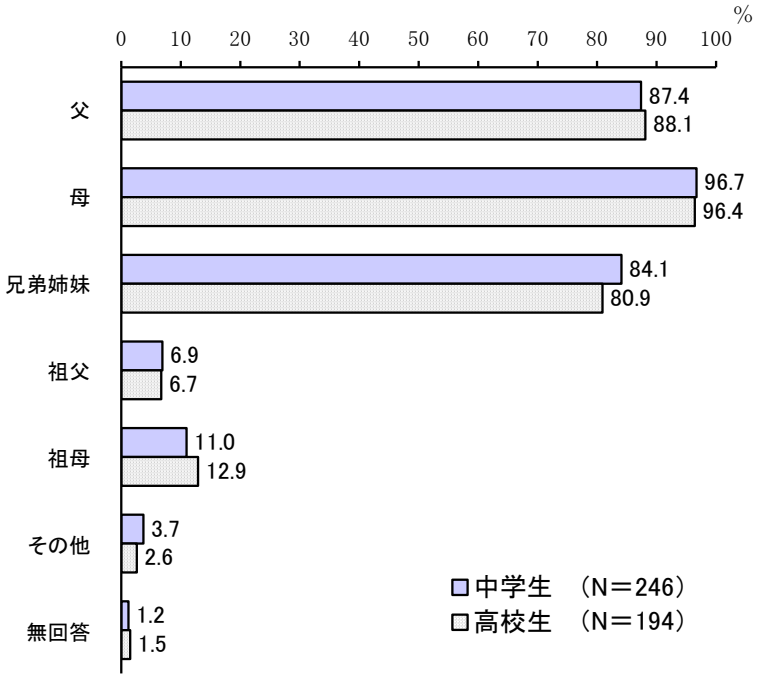
問５　あなたは、誰といっしょに住んでいますか（あてはまるものすべてに○）。また、あなたを含めて、何人で住んでいますか。（数字を記入）

中学生

「母」の割合が 96.7％と最も高く、次いで「父」の割合が 87.4％、「兄弟姉妹」の割合が 84.1％となっています。

高校生

「母」の割合 96.4％と最も高く、次いで「父」の割合が 88.1％、「兄弟姉妹」の割合が 80.9％となっています。



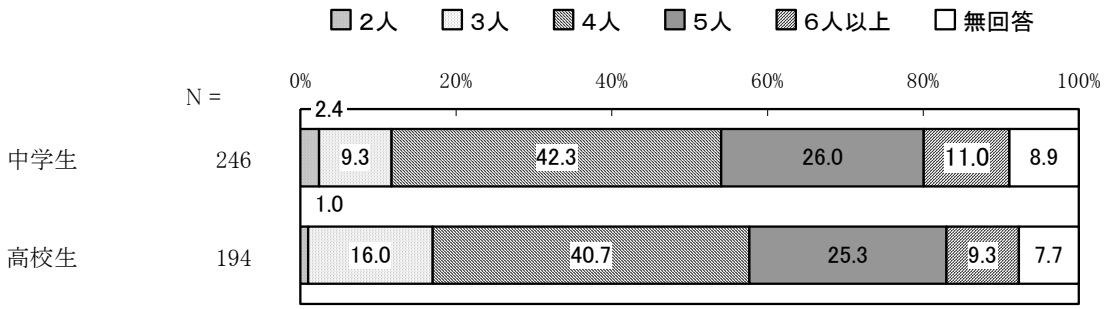
【家族の人数】

中学生

「４人」の割合が 42.3％と最も高く、次いで「５人」の割合が 26.0％、「６人以上」の割合が 11.0％となっています。

高校生

「４人」の割合が 40.7％と最も高く、次いで「５人」の割合が 25.3％、「３人」の割合が 16.0％となっています。



（２）町田市について

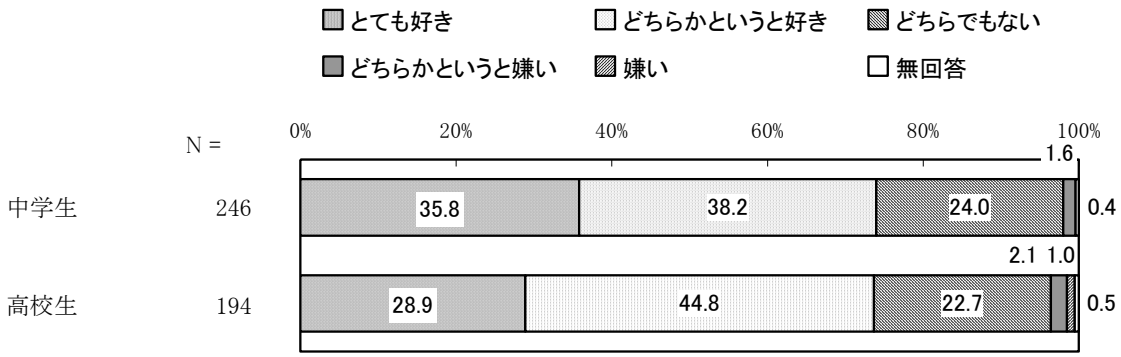
問６　あなたは、町田市が好きですか。（１つに○）

中学生

「とても好き」と「どちらかというと好き」を合わせた割合が 74.0％と、ほとんどの生徒が町田市への愛着を持っています。

高校生

「とても好き」と「どちらかというと好き」を合わせた割合が 73.7％と、ほとんどの生徒が町田市への愛着を持っています。



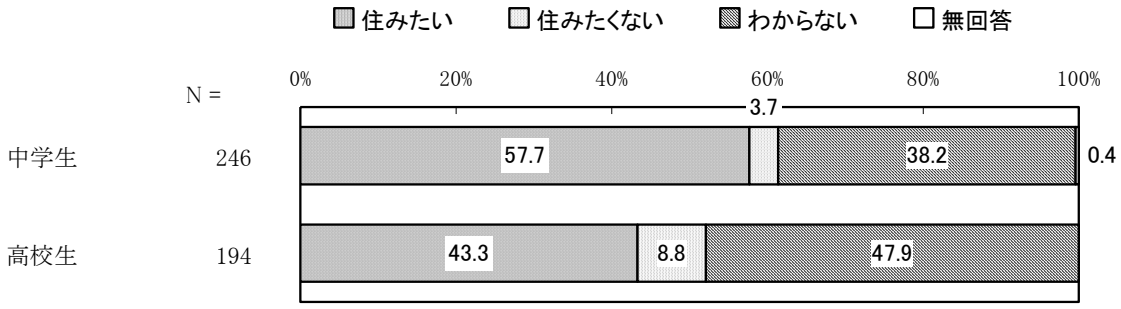
問７　あなたは、これからも町田市に住みたいですか。（１つに○）

中学生

「住みたい」の割合が 57.7％と最も高く、次いで「わからない」の割合が 38.2％となっています。

高校生

「わからない」の割合が 47.9％と最も高く、次いで「住みたい」の割合が 43.3％となっています。



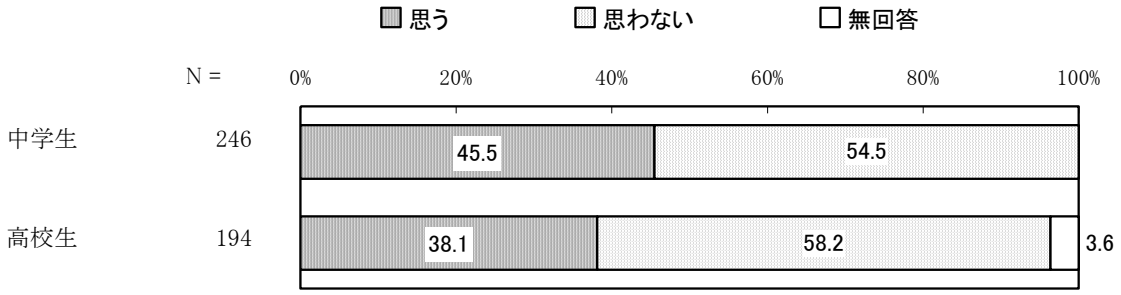
問８　町田市は、子どもの意見や考えを聞いてまちづくりをすすめていると思いますか。（どちらかに〇）

中学生

「思う」の割合が 45.5%、「思わない」の割合が 54.5%となっています。

高校生

「思う」の割合が 38.1%、「思わない」の割合が 58.2%となっています。



（３）地域との交流について

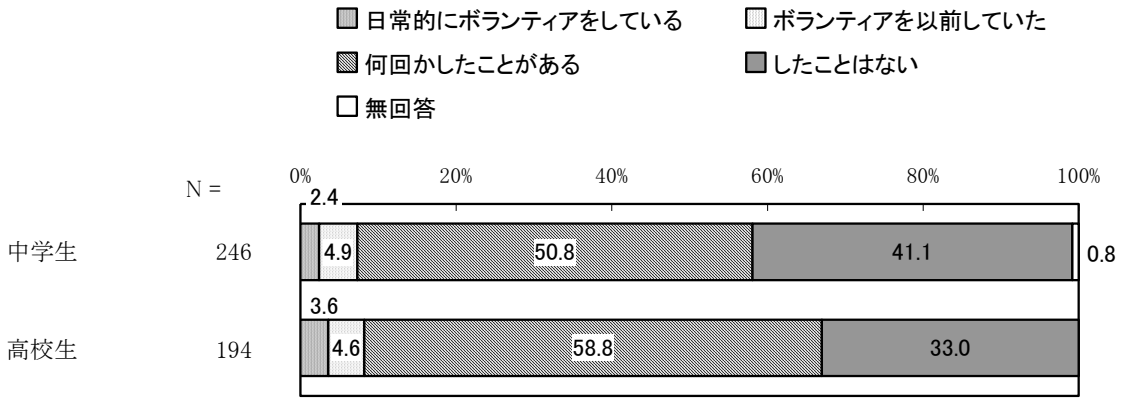
問９　あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。（〇は１つ）

中学生

「何回かしたことがある」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「したことはない」の割合が 41.1%となっています。

高校生

「何回かしたことがある」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「したことはない」の割合が 33.0%となっています。



問 10　あなたの近所とのおつきあいはどうですか。（○は主なもの１つ）

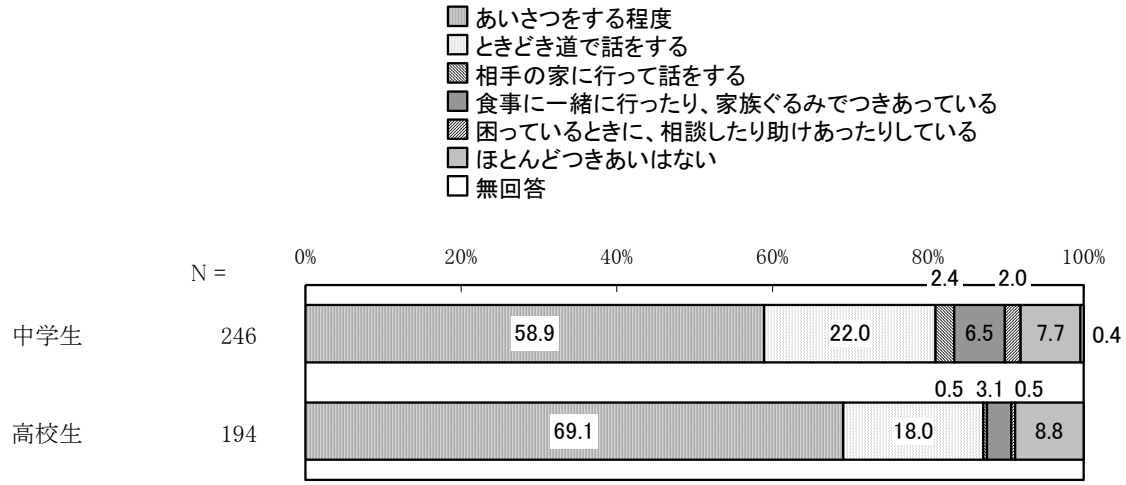
中学生

「あいさつをする程度」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」の割合が 22.0%となっています。

高校生

「あいさつをする程度」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」の割合が 18.0%となっています。

保護者と比較すると近所とのつきあいは薄い傾向が見られます。



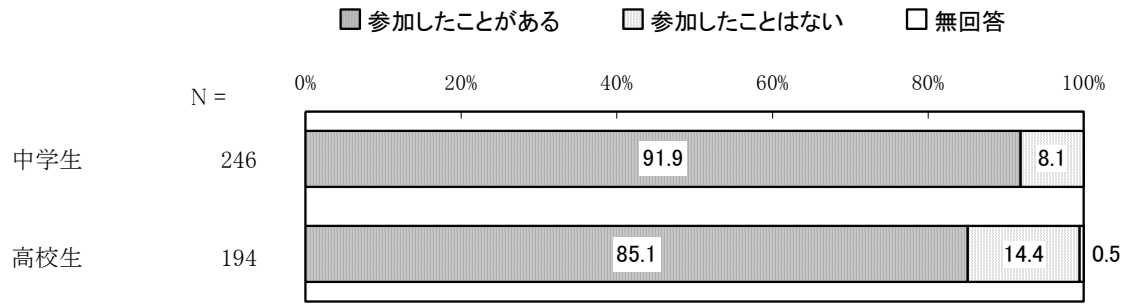
問 11　あなたは、祭りや盆踊り、スポーツ活動のような地域で行っている行事に、参加したことがありますか。

中学生

「参加したことがある」の割合が 91.9%、「参加したことはない」の割合が 8.1%となっています。

高校生

「参加したことがある」の割合が 85.1%、「参加したことはない」の割合が 14.4%となっています。



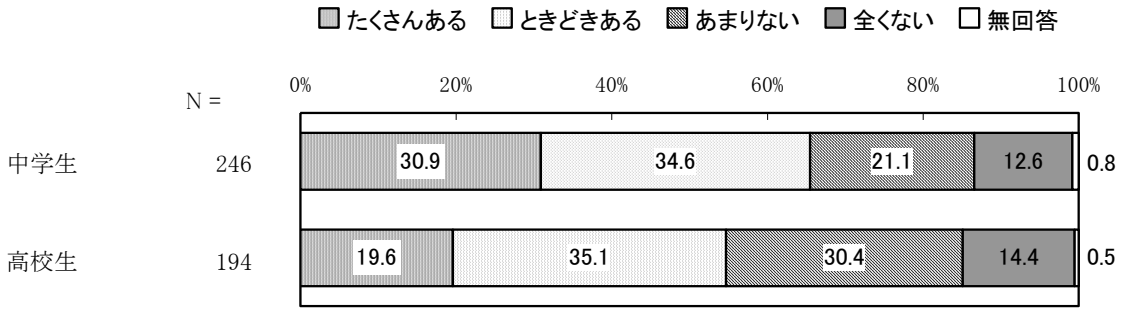
問 12　あなたは、弟や妹以外の赤ちゃん・幼児と遊んだことがありますか。（１つに○）

中学生

「ときどきある」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「たくさんある」の割合が 30.9%、「あまりない」の割合が 21.1%となっています。

高校生

「ときどきある」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 30.4%、「たくさんある」の割合が 19.6%となっています。



（４）悩み事や相談先について

問 13　あなたが悩んでいることは、どんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

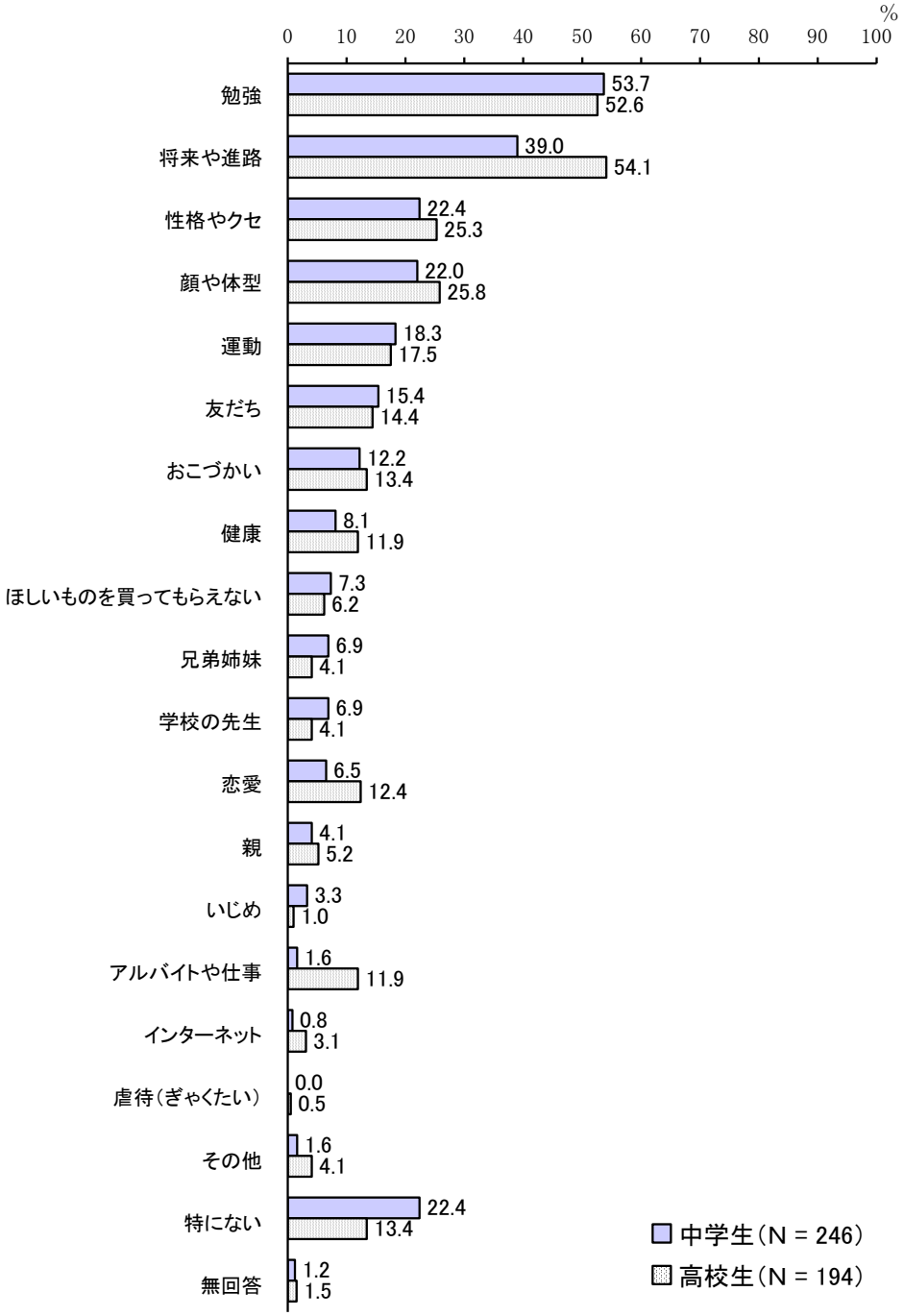
中学生

「勉強」の割合が 53.7％と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が 39.0％、「性格やクセ」の割合が 22.4％となっています。

高校生

「将来や進路」の割合が 54.1％と最も高く、次いで「勉強」の割合が 52.6％、「顔や体型」の割合が 25.8％となっています。

学年別でみると、中学生で「特にない」の割合が高くなっています。また、高校生で「将来や進路」、「アルバイトや仕事」、「恋愛」の割合が高くなっています。



問 14　あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。（あてはまるものすべてに○）

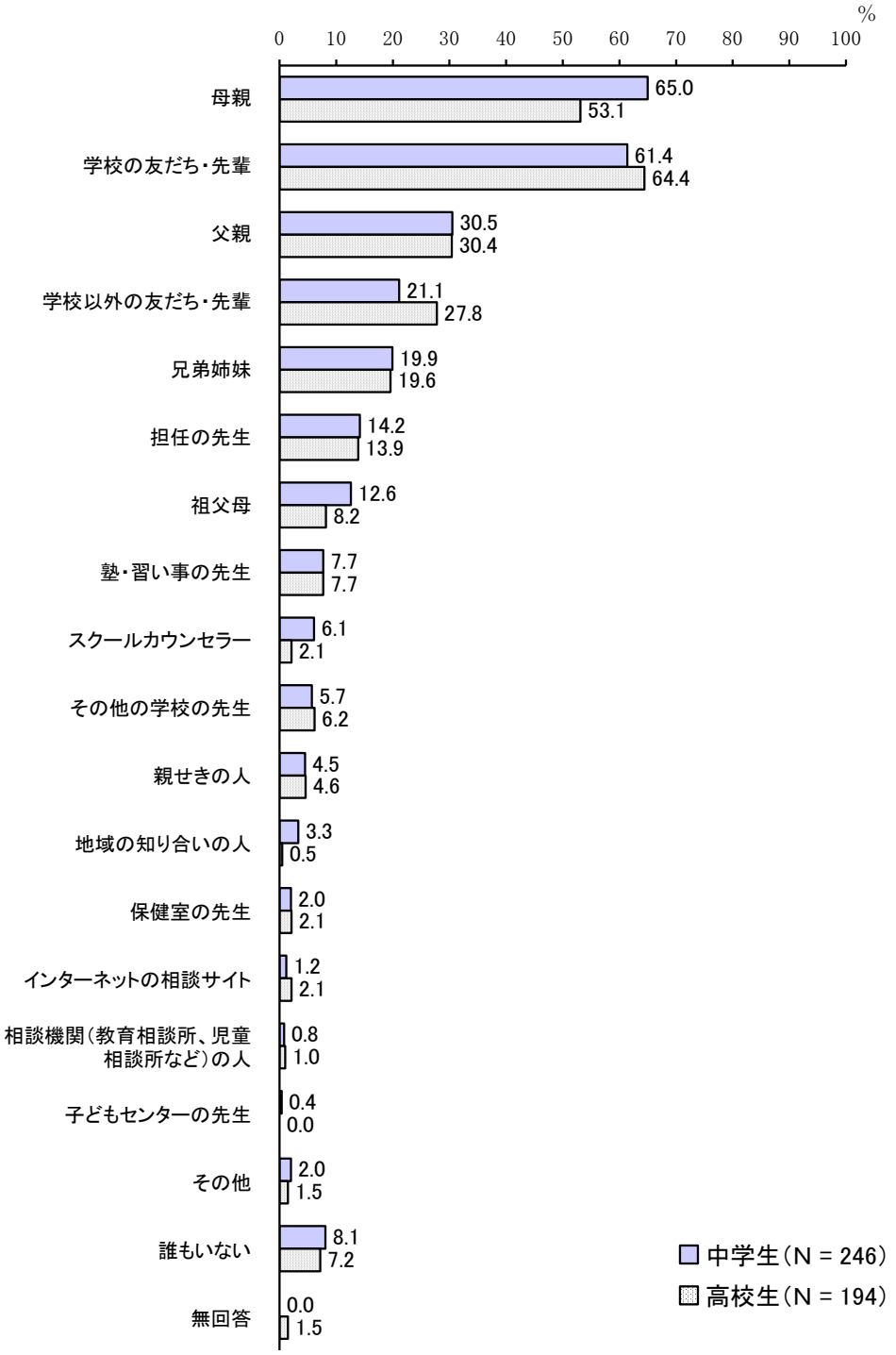
中学生

「母親」の割合が 65.0％と最も高く、次いで「学校の友だち・先輩」の割合が 61.4％、「父親」の割合が 30.5％となっています。

「母親」「学校の友だち・先輩」、の割合が高い一方で、「誰もいない」が 8.1％と、相談できる相手がいない、できない子どももいることがうかがえ、こうした子どもの悩みを拾い上げ、対処していくことが課題となります。

高校生

「学校の友だち・先輩」の割合が 64.4％と最も高く、次いで「母親」の割合が 53.1％、「父親」の割合が 30.4％となっています。



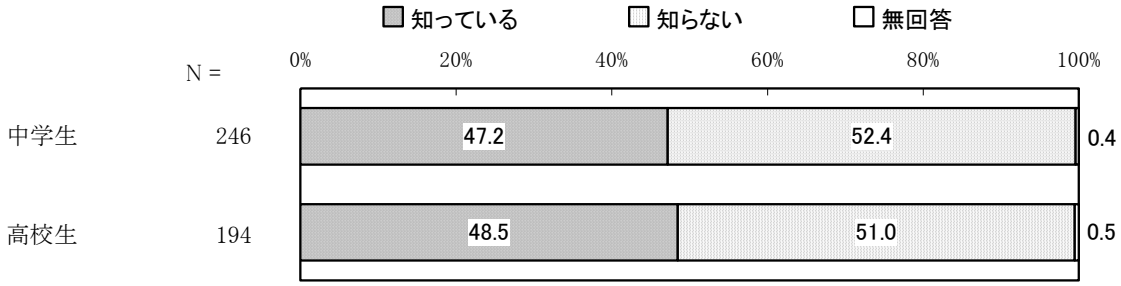
問 15　あなたは、相談できるところをどこか知っていますか。（１つに○）

中学生

「知っている」の割合が 47.2%、「知らない」の割合が 52.4%となっています。

高校生

「知っている」の割合が 48.5%、「知らない」の割合が 51.0%となっています。



「１．知っている」と回答した方にうかがいます。

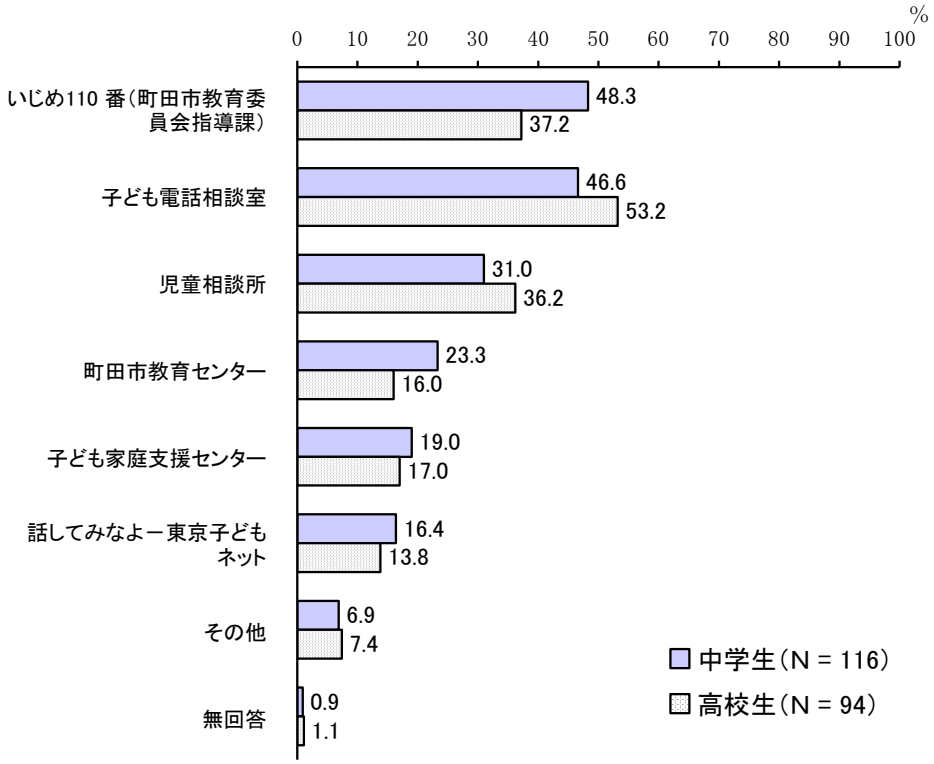
問 15－１　知っているところはどこですか。（あてはまるものすべてに○）

中学生

「いじめ 110 番（町田市教育委員会指導課）」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「子ども電話相談室」の割合が 46.6%、「児童相談所」の割合が 31.0%となっています。

高校生

「子ども電話相談室」」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「いじめ 110 番（町田市教育委員会指導課）」の割合が 37.2%、「児童相談所」の割合が 36.2%となっています。



（５）学校生活について

問 16　あなたは、学校が楽しいと思いますか。（１つに○）

中学生

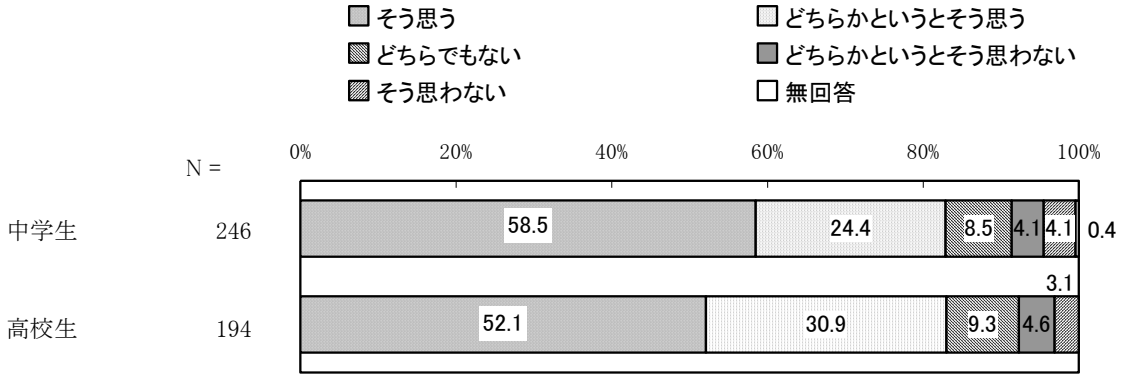
「そう思う」と「どちらかというとそう思う」と感じている子どもが 82.9%となっています。

「どちらかというとそう思わない」、「そう思わない」と感じている子どもが 8.2%となっています。

高校生

「そう思う」と「どちらかというとそう思う」と感じている子どもが 83.0%となっています。

「どちらかというとそう思わない」、「そう思わない」と感じている子どもが 7.7%となっています。



「１．そう思う」または「２．どちらかというとそう思う」と回答した方にうかがいます。

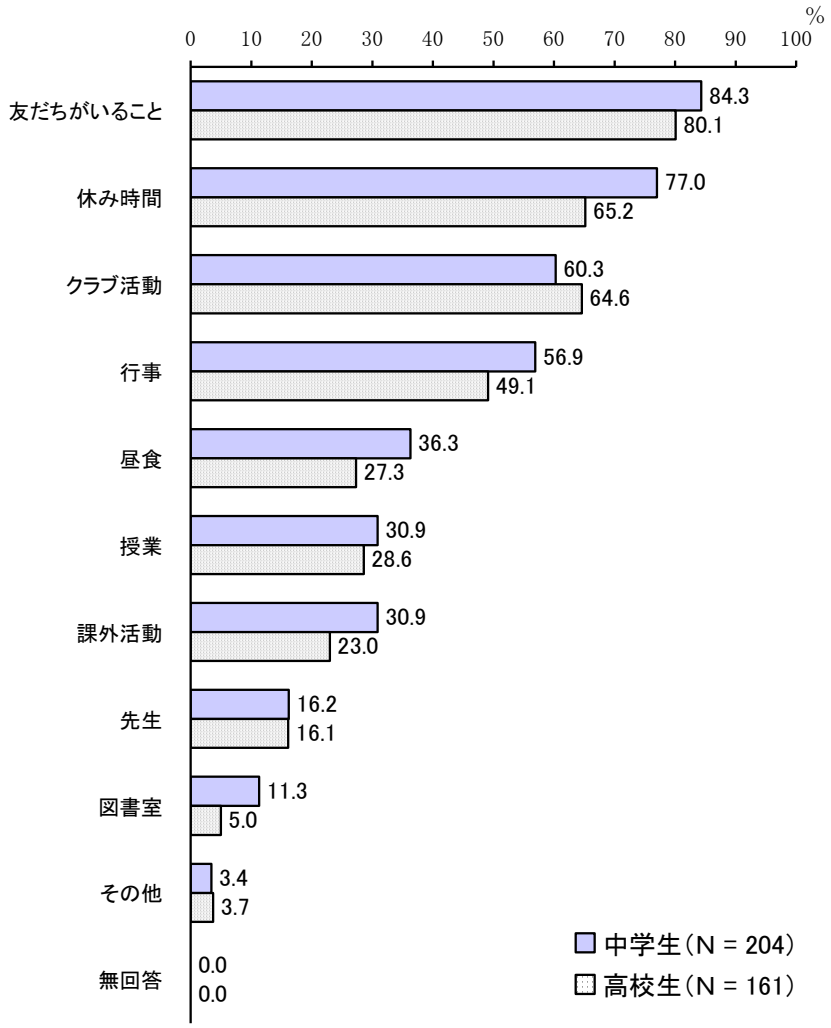
問 16－１　どのようなところが楽しいですか。（あてはまるものすべてに○）

中学生

「友だちがいること」の割合が 84.3％と最も高く、次いで「休み時間」の割合が 77.0％、「クラブ活動」の割合が 60.3％となっています。

高校生

「友だちがいること」の割合が 80.1％と最も高く、次いで「休み時間」の割合が 65.2％、「クラブ活動」の割合が 64.6％となっています。



「３．どちらでもない」、「４．どちらかというとそう思わない」、「５．そう思わない」と回答した方にうかがいます。

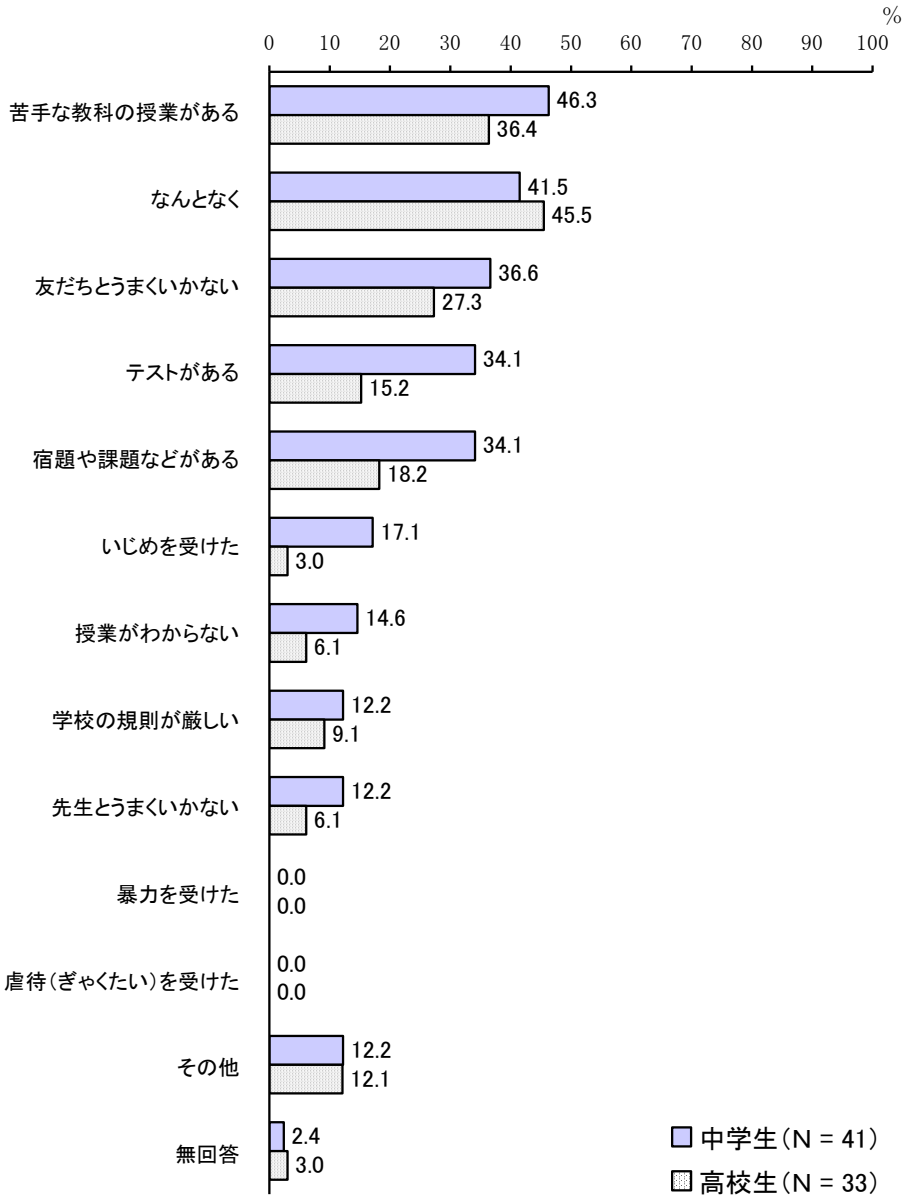
問 16－２　その理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

中学生

「苦手な教科の授業がある」の割合が 46.3％と最も高く、次いで「なんとなく」の割合が 41.5％、「友だちとうまくいかない」の割合が 36.6％となっています。

高校生

「なんとなく」の割合が 45.5％と最も高く、次いで「苦手な教科の授業がある」の割合が 36.4％、「友だちとうまくいかない」の割合が 27.3％となっています。



問 16－３　また、その時にあなたはどうしましたか（あてはまるものすべてに○）

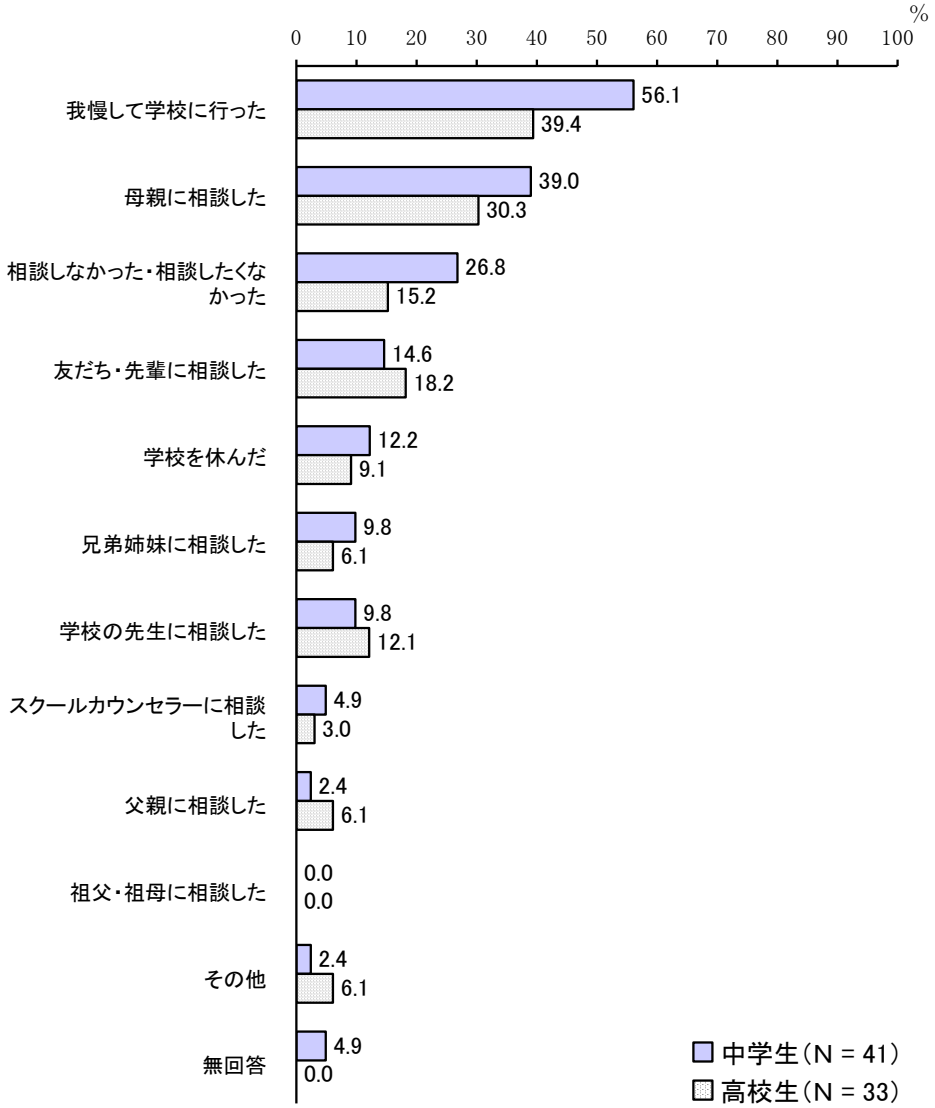
中学生

「我慢して学校に行った」の割合が 56.1％と最も高く、次いで「母親に相談した」の割合が 39.0％、「相談しなかった・相談したくなかった」の割合が 26.8％となっています。

高校生

「我慢して学校に行った」の割合が 39.4％と最も高く、次いで「母親に相談した」の割合が 30.3％、「友だち・先輩に相談した」の割合が 18.2％となっています。

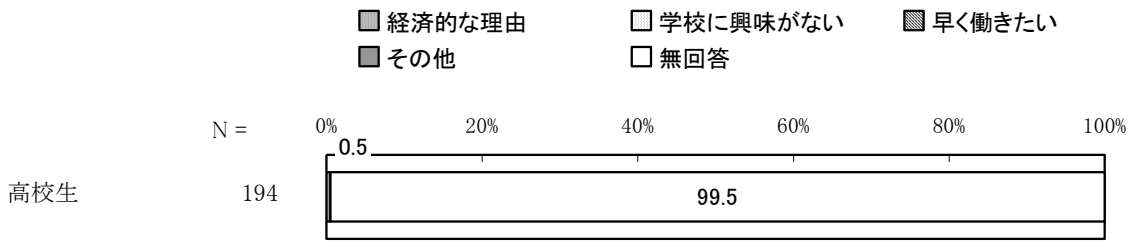
「相談しなかった・相談したくなかった」の割合が中学生では 26.8％、高校生では 15.2％と、学校への行きづらさを感じながらも、相談せず一人で抱え込んでいる子どもが潜在していることがうかがえます。



中学卒業後、進学しなかった、または、進学後に退学された方にお伺いします。

問 17　その理由はなぜですか。（主なもの１つに〇）

その他が１件となっています。



（６）放課後や休日の過ごし方について

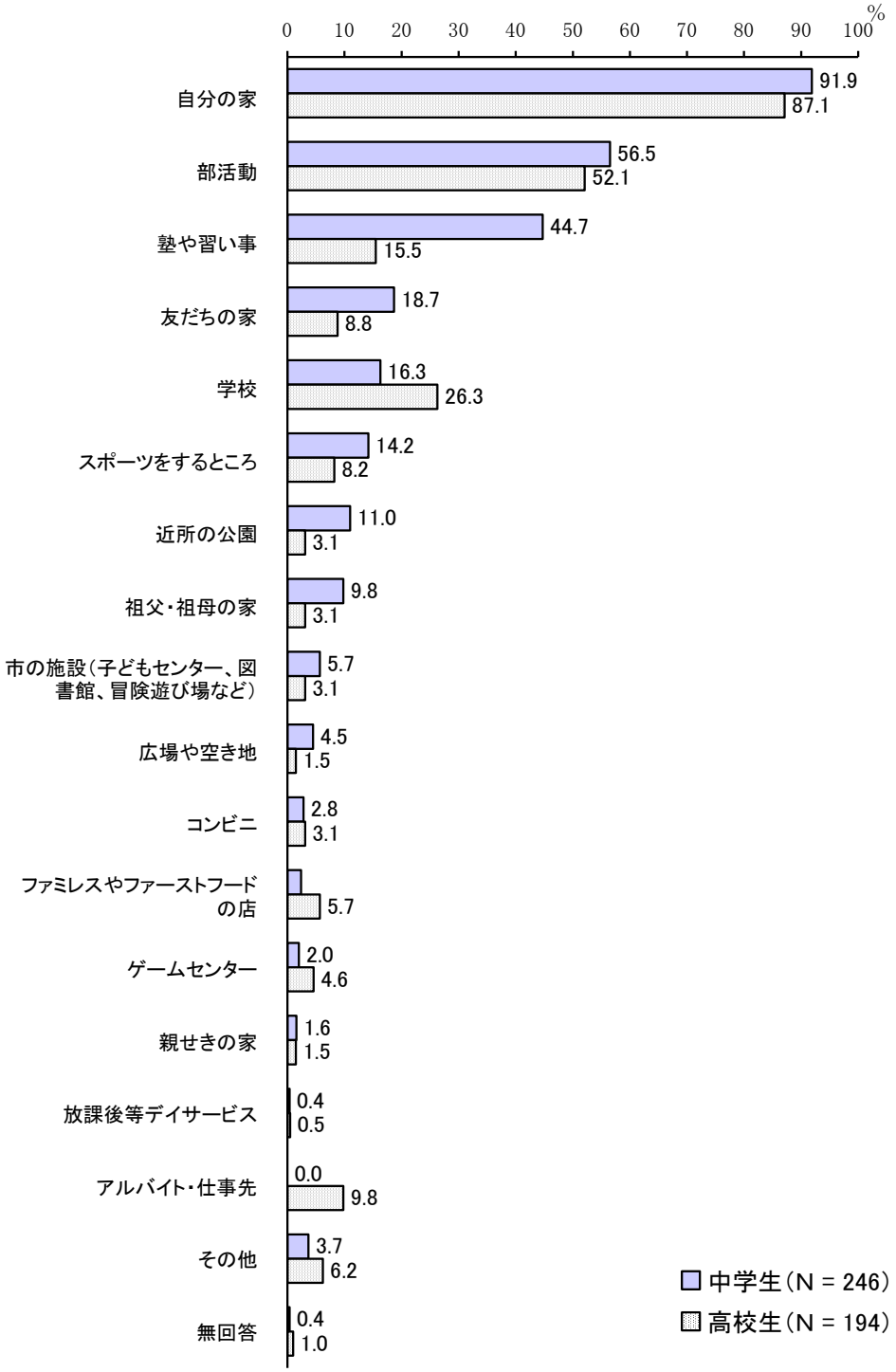
問 18　あなたは、放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（５つまで○）

中学生

「自分の家」の割合が 91.9％と最も高く、次いで「部活動」の割合が 56.5％、「塾や習い事」の割合が 44.7％となっています。

高校生

「自分の家」の割合が 87.1％と最も高く、次いで「部活動」の割合が 52.1％、「学校」の割合が 26.3％となっています。



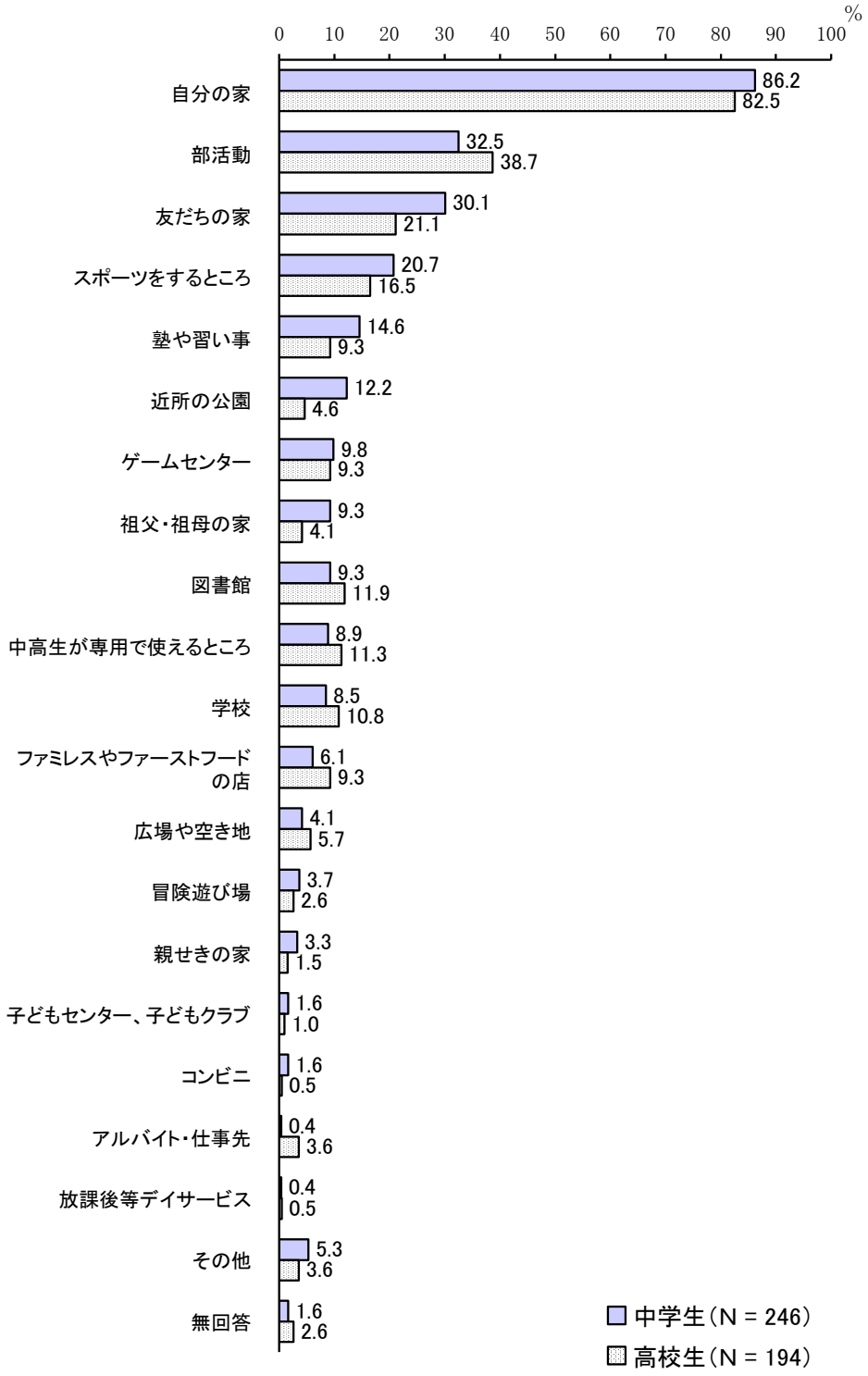
問 19　あなたは、放課後（夕方）や休日はどこで過ごしたいですか。（５つまで○）

中学生

「自分の家」の割合が 86.2％と最も高く、次いで「部活動」の割合が 32.5％、「友だちの家」の割合が 30.1％となっています。

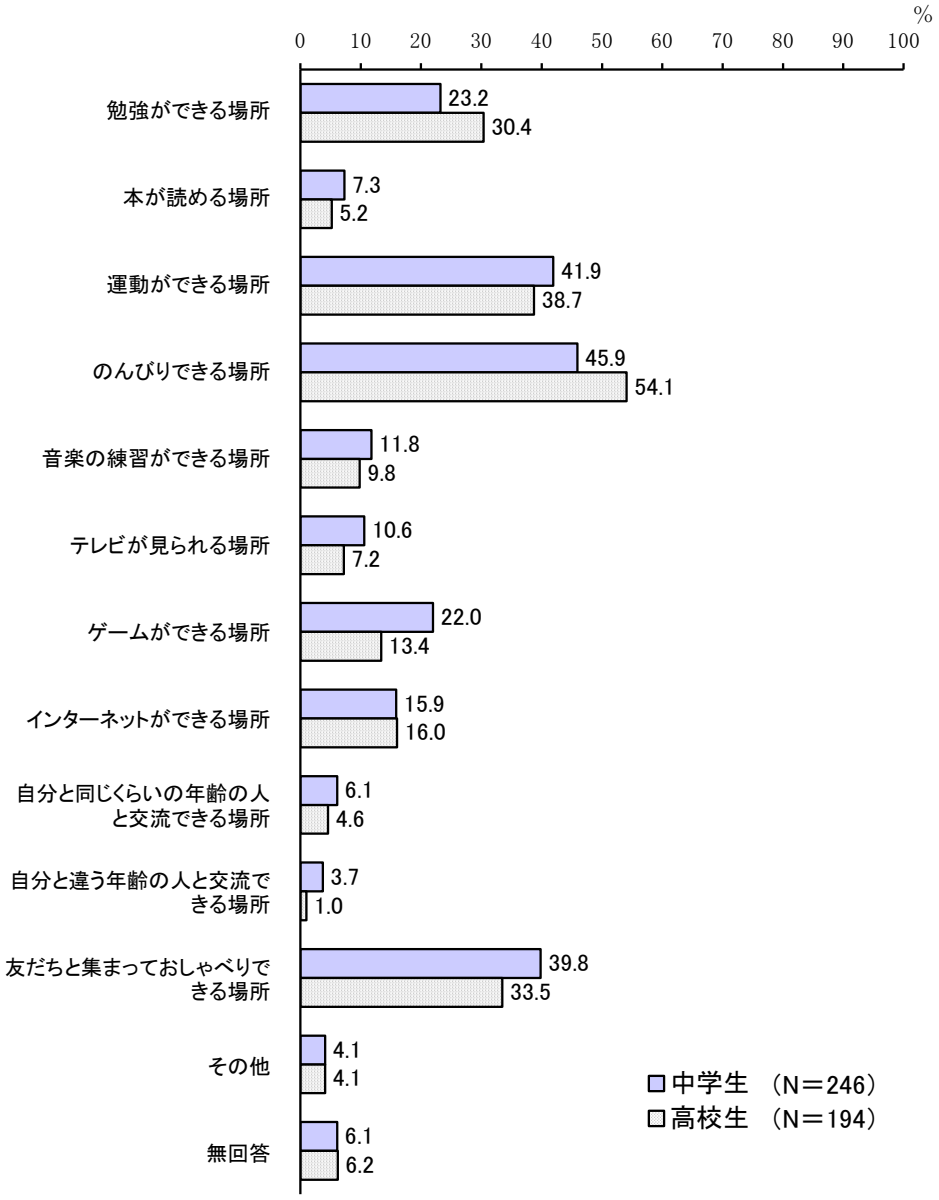
高校生

「自分の家」の割合が 82.5％と最も高く、次いで「部活動」の割合が 38.7％、「友だちの家」の割合が 21.1％となっています。



問 20　あなたは、放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。（３つまで○）

「のんびりできる場所」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「運動ができる場所」の割合が 40.5%、「友だちと集まっておしゃべりできる場所」の割合が 36.7%となっています。



（７）インターネット等について

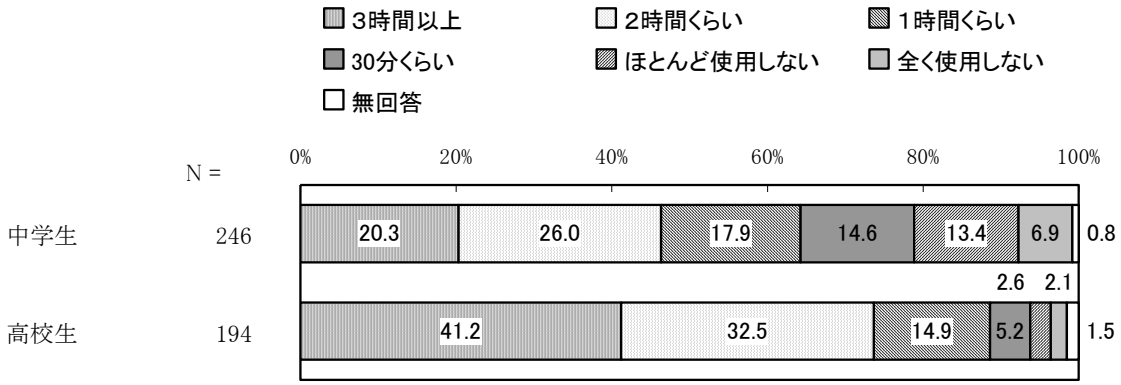
問 21　あなたは、学校以外でインターネット（パソコン、スマートフォン等）を１日に何時間くらい使用していますか。（１つに○）

中学生

「２時間くらい」の割合が 26.0％と最も高く、次いで「３時間以上」の割合が 20.3％、「１時間くらい」の割合が 17.9％となっています。

高校生

「３時間以上」の割合が 41.2％と最も高く、次いで「２時間くらい」の割合が 32.5％、「１時間くらい」の割合が 14.9％となっています。



「１.」から「４.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

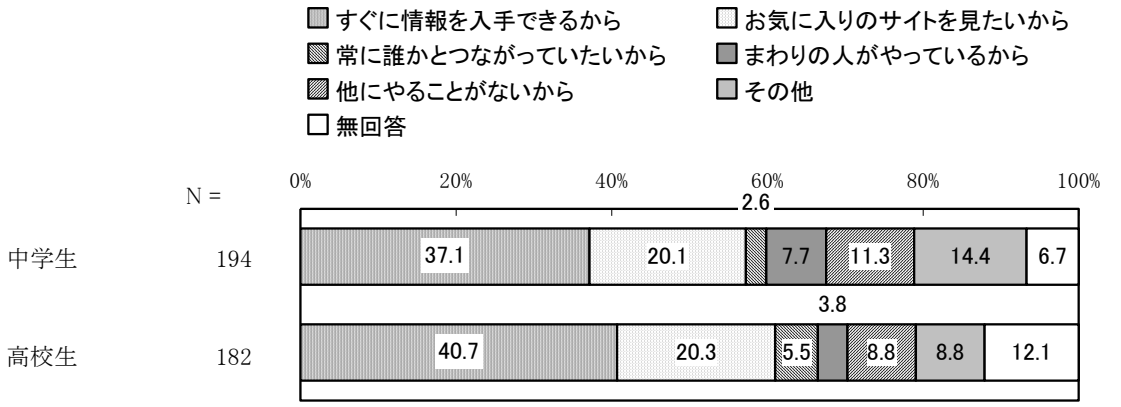
問 21－１　インターネットを使用する理由は何ですか。（最もあてはまるもの１つに○）

中学生

「すぐに情報を入手できるから」の割合が 37.1％と最も高く、次いで「お気に入りのサイトを見たいから」の割合が 20.1％、「他にやることがないから」の割合が 11.3％となっています。

高校生

「すぐに情報を入手できるから」の割合が 40.7％と最も高く、次いで「お気に入りのサイトを見たいから」の割合が 20.3％、「他にやることがないから」の割合が 8.8％となっています。



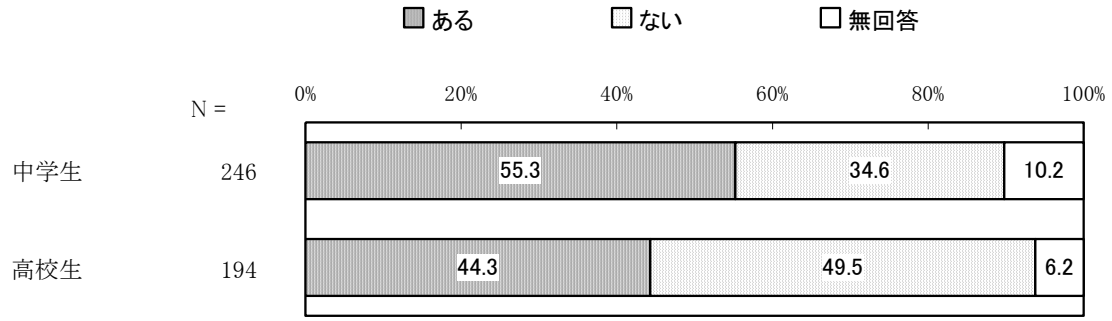
問 22　インターネットを使用するにあたり、親と何か取り決めをしていますか（１つに○）

中学生

「ある」の割合が 55.3%、「ない」の割合が 34.6%となっています。

高校生

「ある」の割合が 44.3%、「ない」の割合が 49.5%となっています。



（８）あなた自身の考えや将来像について

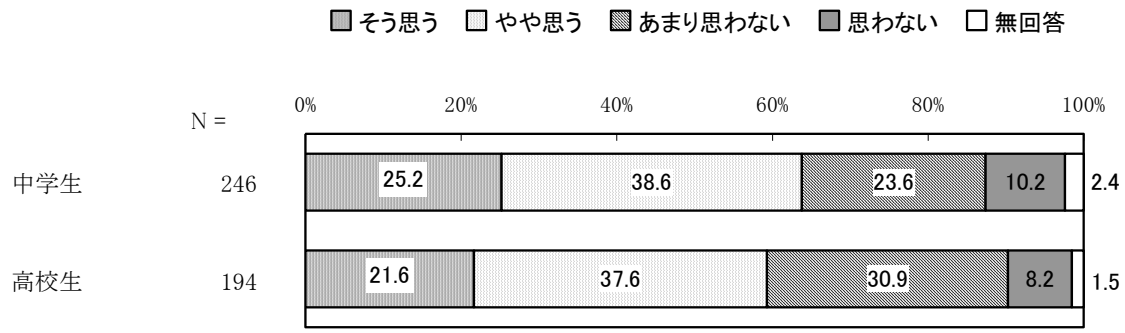
問 23　あなたは自分のことが好きだと思いますか。（１つに○）

中学生

「そう思う」「やや思う」を合わせた自己肯定感を持てている子どもの割合が 63.8%となっていますが、一方で「あまり思わない」「思わない」を合わせた自己肯定感を持てていない子どもも 33.8%と少なくない状況であり、子どもの自己肯定感を高めていくことも今後の課題の一つとなります。

高校生

「そう思う」「やや思う」を合わせた自己肯定感を持てている子どもの割合が 59.2%となっていますが、一方で「あまり思わない」「思わない」を合わせた自己肯定感を持てていない子どもも 39.1%と少なくない状況であり、子どもの自己肯定感を高めていくことも今後の課題の一つとなります。



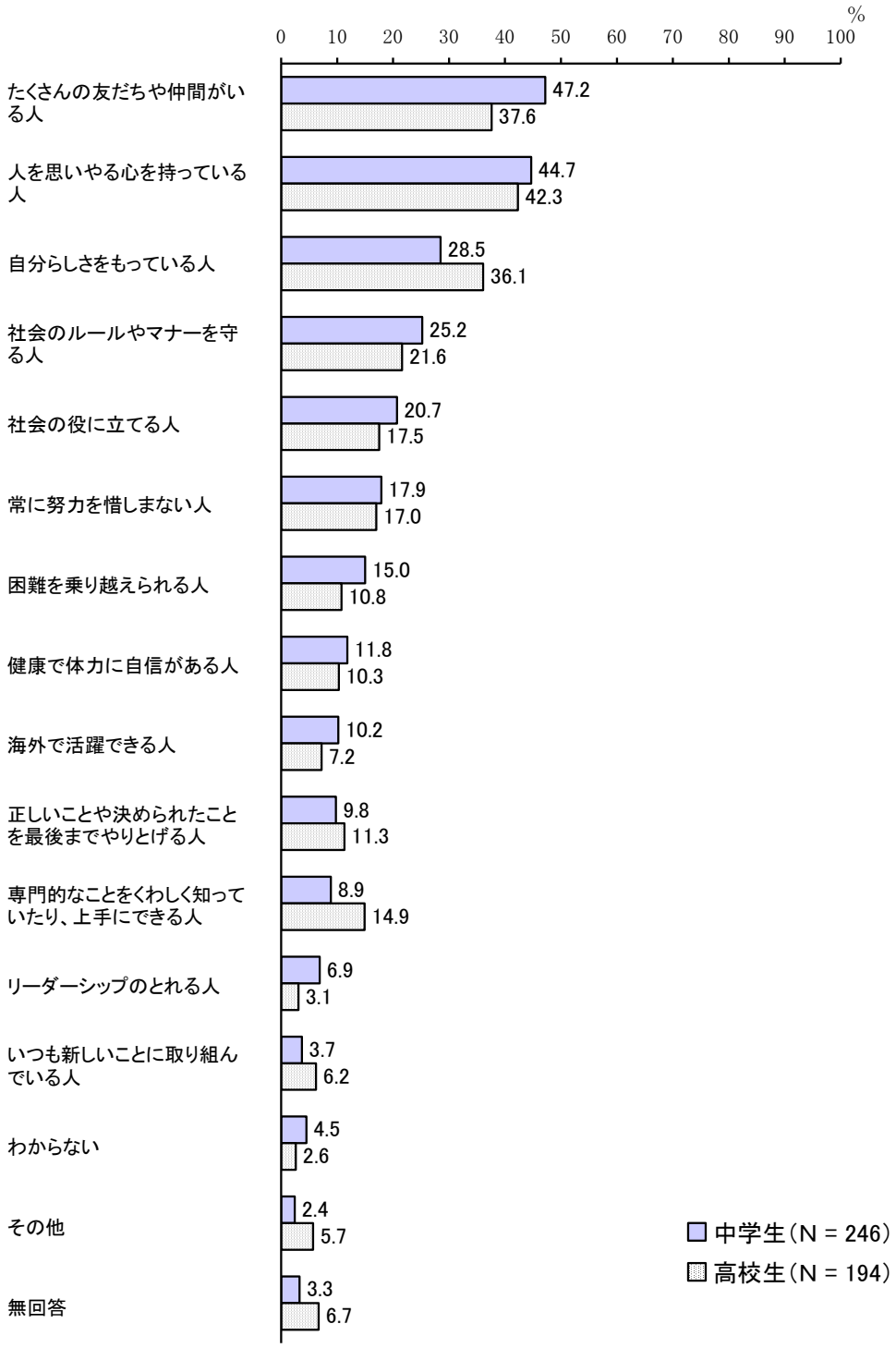
問 24　あなたは、将来どのような大人になりたいですか。（３つまで○）

中学生

「たくさんの友だちや仲間がいる人」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「人を思いやる心を持っている人」の割合が 44.7%、「自分らしさをもっている人」の割合が 28.5%となっています。

高校生

「人を思いやる心を持っている人」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「たくさんの友だちや仲間がいる人」の割合が 37.6%、「自分らしさをもっている人」の割合が 36.1%となっています。



Ⅲ　巻末資料

１　自由記述

①　保育園、幼稚園、認定こども園等

・一時保育（保育園）の料金を低くしてください。安心して働く事ができる環境を期待してます。
・保育園の待機児童削減をお願いします。
・保育園の数を増やし、待機児童の数を減らしてほしい。ファミリーサポートや病児保育などの利用方法の周知や病児保育については対応場所（小児科での実施など）の増加を希望する。
・保育園の増園。生活が厳しく働きたくても入園がむずかしい。入れても無認可のみ。それだと保育料が高く、働く意味がなくなってしまいます。
・保育園に関して、働いている人が優先なのはわかりますが育児休暇を取得している人への対応がよくないと思います。あと、祝日に預けられる保育園や施設をもっと増やしてほしいです。
・医療ケアの必要な子でも通える保育園をつくってほしい。
・幼稚園の保育料の制度が本年度から変わりましたが、保育料が上がり家計にとても影響しています。もう少し補助金が出ればと思います。
・保育園の時間が延長保育で１９時までが、せめて２０時までになれば有難いです。
・公立幼稚園がないため、毎月の幼稚園への出費が大きいです。後から補助金を支給するのではなく、始めから差し引いた金額にしてほしいです。
・求職中の親でも、安心して定期的に子どもを預けられるように保育園を充実して欲しいです。

②　学童保育クラブ

・学童を６年制にしてほしい。
・保育園のママ同士でも今から学童に入れるのか心配をされている方が多数います。
・学童保育に関する情報など、仕事をしていて小学校に進学するにあたって必要な情報をもう少しわかりやすく提供していただきたいと思います。
・学童保育クラブの開所時間が短すぎる。18 時まででではフルタイムで働いている親が利用しづらい。せめて保育園と同じ位（19～20 時）までは利用したい。小１では、明るい時間帯でも一人で下校させるのは非常に不安である。
・学童は基本的に夏休み中だけ預ける事ができません。夏休み中、冬休み中など大きな休み中だけ学童に預けたい人、とても多いと思います。そういう制度を作って頂けると助かる方多いと思います。
・低学年の子どもを１人でお留守させるのが不安なので一時的預けられる場所があると安心です。
・学童の利用方法や料金が優しくないと思います。また、地域の子どもセンターが少ないように思います。学童に入れなくなったあとの子どもたちの居場所が少な過ぎると感じます。

③　子どもセンター

・子どもセンターが保育園でいろいろとイベントを実施してくれることはとってもありがたい。ただ駐車場に停められる車の数が少ないので、参加できないこともある。近隣に停められる場所を増やしてほしい。
・子どもセンターの赤ちゃんスペースをもう少し広く、充実させてほしい。
・子どもセンター、児童館を増やしてほしい。
・子どもセンターの定休日を統一せず、バラバラにしてほしいです。火曜日に統一されると火曜日は遊びに行く場所がなくなってしまう。
・学童がなくなる４年生以上の娘たちの夏休みなどの長期休暇の居場所がない。ずっと家の中に居させるのは大変心配である。子どもセンターの充実や学童での受け入れが可能になるとありがたい。いろいろ予算配分があると思うが、ぜひ、子どもたちのために使えるお金を増やしてほしいと思う。削減なんてもってのほかです。
・町田市は児童館が少ない。また町田駅付近は小さな子どもが遊べる所、食べる場所が少ない。もっと増やしてほしい。
・子どもセンターや児童館でバザーをやってほしい。
・夏休みだけでも学童の延長（小６まで）、子どもセンターの創設、せめて「まちとも」での夏休みの教室開放（冷房のある場所）を強く希望します。
・子どもセンターが広くてきれいなのは素晴らしいが、通いにくい。

④　まちとも、地域子ども教室

・小学校の放課後の校庭・図書室、開放（まちともは学校から離れたところに住んでいるとランドセルを置いて、また学校へ行くのはむずかしい）。「つるっこ」のような場所がもっとあるとうれしい。
・まちともを、授業終了直後からにしていただきたいです。（終了直後からの学校もあるようですが。）一度下校してからですと時間がかかり、遊ぶ時間が少なくなるのと、そのまま、まちともで遊んで帰る方が安全だと思います。

⑤　放課後の居場所

・周囲の友人から、町田は子育て支援が充実している所だねとよく言われておりました。
・まちともが毎日ある学校のおかげでとても助かっております。図書室も利用できる点はとてもよいです。ただ、学校が通学時点で遠いお子さんにも利用しやすいよう、遊び場が（大人の目のある）増えたらよいなと思いました。
・相原小で実施されている“いろは”や真光寺地区の学習支援のように塾に行ってなくても受けられる支援体制が、市内全体にひろがるとよいなと思います。
・小学校の子どもが放課後、安心して遊べる場所が少ない。川崎市の子ども文化センターのような場所があればとてもよいと思う。
・習い事をいろいろ試させたいけれど、経済面で悩む。体育館や児童館でもっと多くの講座があ

るとよいと思う。
・横浜市のように、放課後（小学校）預かってくれるシステムをつくってほしい（一時保育）

⑥　遊び場

・雨の日でも遊べる場所がもう少しあるとうれしいです。特に土、日。子どもセンターも利用していますが、高学年の子たちと一緒になり、遊ぶ内容も異なるので、ゆっくり遊べません。また子どもセンターも近所にないのでもっと近くに欲しいです。
・安心して遊べる遊具のある公園をつくってほしい。
・公園の砂場に犬猫などが糞をしないようにネットや囲いをしてほしい。
・公園を整備してほしい（草が多い、遊具が古い）。
・子ども（特に未就学児）の遊び場が少ない。あっても駅から遠い所が多く、バスか車でないと行くのが大変。バス便は少ないし、駐車場も少ない。一部のバスはベビーカー禁止のため乗れない。
・もっと私たち親世代の子ども時代のように、のびのびと遊べる環境がほしいです。公園の整備もお願いします。のびのび遊べ、体力も運動能力も上げられる環境をお願いします。大好きな町田をさらにより良くしてください。
・森野三丁目保育園の 2 階にあった遊び場がなくなり、新庁舎の遊び場では代わりには全くなっていません。以前あったような、室内の遊び場があると、雨の日や暑さがきびしい時に思い切り遊べるので、そういう場所をまた作って欲しいです。
・子どもの遊び場が少ないことが不満です。小さな公園の遊具は古く、危険なので改善して頂きたいです。
・十分な広さがあるのにもかかわらず、球技を全て禁止にしている公園があるのが、とてもさみしく感じます。
・住宅地などにある小さな公園の整備をこまめに行ってほしい。草が多く蚊も多いので遊べない。砂場もきれいにしてもらえると嬉しいです。
・未就園児（０歳～３歳）が遊べる室内施設がなさすぎると思います。ぜひ、増設を希望します。

⑦　イベント

・保育園の子育て広場。たくさんのイベントがあり、とても魅力的だが予約が必要なものばかりで気軽に参加できない。各園の事情もあるのだろうが、「今日は時間があるから、このイベントに行ってみようかな。」と思えるような参加形式をもっと増やしてもらえると、足を運びやすくなると思う。
・町田駅周辺での、子育てに関するイベントなどは多く見られるが、町田市のはずれ、鶴川などのイベントは少ないように思う。例えば、ポプリホール鶴川などを利用しての子育てイベントをひらいていただきたい。
・親子で参加しやすいイベントをやって欲しい。（特に夏休みなどの長期休暇のとき）
・市民センターで行われている乳幼児、母親向けの集まりに参加したが気分転換になったものの、

物足りなかった。仕事の都合もあるので保育園の行事としては今の状態でよいが、土日に任意で参加できる親子イベントや父親、母親同士の交流会、セミナー等があるとよい。

⑧　障がい児支援

・市内のすべての小学校に、障がい児クラスをつくってほしい。（通級ではなく）
・障がい児を産んだ親には、いろいろな施設（療育施設、リハビリセンターがどこにあるか等）の情報を教えて頂きたいです。
・発達障害の面談などのサポートを行ってくれる事業所での支援の整備を望みます。
・発達障害の子を持つ母親（父親）のケアの場がどこかで欲しかった。ペアレントトレーニングの場があれば、療育機関だけに頼るよりもよりスムーズに子ども達の療育が進むと思います。
・すべての小学校に特別支援学級を作ってほしいです。15 人に 1 人と言われる発達障害ですから各小学校に特別支援学級があってもよいのではないかと思います。小児科が地域に充実していないのも気になります。
・障がいのハンデのある子が育っていける環境を作ってあげたいと強く思います。
・障がい児の保育施設の充実を希望。すみれ教室のレベルアップ、数の増加、スタッフ増員。未就学障がい児の長時間保育が可能な施設の設置、未就学障がい児デイサービスの提供を希望。
・就学前までの発達障害などに対しての相談や支援が充実していて安心できます。ただ、入学後から小学校に任せてしまうのは少し心配です。入学後も支援してもらえるようにしてほしいです。

⑨　学校教育

・塾等に頼らなくてもよいように、まずは学校教育を充実していただきたいと思っています。教員や設備等の充実を期待しています。
・中学校の、図書館の設営。
・小学生の子がバス通学なのですが、犯罪などまきこまれる危険があるのでバスの時間にあわせて下校させてほしい。

⑩　地域における子育て支援

・親同士の交流は結局平日暇のある主婦しか行けない。行けたとしても、すでにグループ化していて入りづらい。地域に交番があるとよいなと思います。
・周囲で助けてあげられる環境をつくってほしい。コミュニケーションをとれる場をまずつくってほしいなと感じています。

⑪　相談支援

・子育てに関してのサービスは、それなりに充実している方だとは思いますが、利用しにくいと感じます。悩んだり困ったりしていても電話しにくいです。もっと利用しやすいように、そしてわかりやすいようにしてもらえればと思います。
・第２子以降でも母親学級などに参加できるようにしてほしい。
・市役所でもう少し相談できる環境を整えてほしい。
・もっと気軽に育児相談できる場がほしい。
・保育士訪問はすごく良かった。初めての出産は不安が沢山あったので希望者でいいから妊婦訪問などあったらいい。

⑫　ひとり親家庭

・保育園の待機児童問題の改善。ひとり親でさえ空き待ちをしている現状は異常。早急に改善してほしい。ひとり親家庭へのサポート。
・ひとり親として労働に対して制限が生じてしまい、充分に勤務もできない。また、学童が３年生で終了してしまう為４年生以降の子どもの居場所に苦慮する。
・乳幼児・母性相談や子どもセンター等、相談できる場へ行っても、ありきたりな回答やそっけない事を言われ、子育てへの“希望”を求めて相談に行って逆に落ち込むことが何度かありました。

⑬　父親の育児参加

・サマータイム（早朝出勤で早く退勤できる制度）があるように、ダディタイム（父親が子育てに参加できるとき）が、様々な職場でとれるようにして頂きたい。

⑭　経済的支援

・計算ドリル代など、諸々と雑費の集金が多いです。補助金とかを出してはいただけないのでしょうか。
・生活保護の方がよい生活をしているように思うため、生活保護をきちんと見直してほしい。
・市の幼稚園がなく、私立幼稚園に通わせるのに、経済的援助が少ない気がする。
・無認可保育園の場合、補助金があまりおりない。もう少し補助を考えてほしいです。
・児童手当をもう少し増やしてほしい。
・子ども手当支給額が少ない。家族を増やしたいけど、出費・税金額が負担になる。

⑮　医療体制

・病児・病後児保育施設をもっと増やしてほしい。医師の指示書を書いてもらうのに、午前中いっぱいかかり、結局、半日くらいしか預かってもらえなく、仕事も半日遅れてしまう。もっと、簡易な方法でできないのでしょうか。
・病児・病後児保育を行ってくれる場がなさすぎます。仕事復帰の希望があっても、住まいから離れている所が多く、預け先を見つけるのにも苦労しています。
・今後共働きを検討している状態で、一番ネックなのが、子どもたちが病気になった時の対応です。より仕事がしやすい環境のために病児保育の充実を希望します。
・医者の日程の都合などあると思いますが、検診時の時間がいつも昼過ぎ～おやつ時間、この時間、未就学児は普段昼寝していることが多いと思います。待ち時間も長くなりがちなので、子どもの機嫌、スケジュールを考えると午前中の開催が望ましいと思います。
・母親が病気の際に、子連れでも病院に行きやすい環境、制度づくり。心理カウンセラーによる育児セミナーの開催。
・23 区内のように医療費補助は親の所得制限なしになってほしい。
・子どもを育てていく上で教育費や医療費については不安があります。せめて、小学校卒業までは医療費を無料にしていただければと思います。
・準夜急患子どもクリニックがあると、とても心強いです。
・近隣の他市で乳児医療証を使えるようにしてほしい。
・子どもの準夜間の診療は時々使っていますが、もし入院等になった時など、市外のこともあると聞きます。市外だといろいろ負担も増えるし、できれば市内で受け入れてくれるような体制をとってもらえたらいいなと思います。
・小児救急に２４時間対応できる施設を作って欲しいです。
・総合病院が少なく、町田市には大学病院がないので、深夜、休日の医療機関（市民病院の小児科など）の充実を希望します。
・義務教育まで医療費を無料にしてほしい。

⑯　情報提供

・役所で引っ越しされた方を中心に支援をする機会を設けてほしいと思います。その人、その家庭に合った情報提供をしてもらえるだけで、気持ちが楽になると思います。
・保育所、幼稚園、小学校の学童などの利用機会を均等にしてもらえるよう配慮してもらいたい。どうもかたよった人のみが利用しているような気もするし、情報はきちんと流してほしい。
・市から送られてくる書類、情報は日本語なので、できれば英語でいただけると理解ができます（英語ボランティア代筆）。
・何か催しがある時は市のホームページで詳細を載せるようにしてほしい。
・今年度から幼保一体型のこども園の新しい制度が始まり、１号児、２号児とても分かりにくいです。施設がカリキュラムなど使いやすいように、もっと住民に発信してほしいと思います。
・もう少し情報が手元に届く方法を考えてほしい。
・子育てに関する情報など、知らないことが多すぎで、他のお母さんから聞いて知ることが多い

ので、もう少しいろんな情報をわかりやすく、できるだけすべての人に伝わるようにしてほしい。（子どもが小さいと、簡単に市役所とかセンターに行って自分で調べたり、聞いたりすることが難しいので。）

・子ども会がなく、回覧板もないため、近所の人たちと交流したくても方法がわかりません。
・「町田市子どもマスタープラン」がどういうものかわからないので、内容を知ることができるように工夫してほしい。
・市の広報紙が家の方に全く届かない。子育て関係や小学生の子ども向けの市が行っている習い事など、情報が知りたいです。
・異文化や障がいのある子どもたちと接する機会を持ちたいと思っているのですが、情報があまり入ってきません。
・あまり子育てに関する情報が入ってこないので、もっと情報が入りやすくなるようにしてほしい。

⑰　子育てしやすい職場環境づくり

・育児しながら働ける環境や職場環境を整えてほしい。
・保育園の入所の条件が厳しすぎる。
・もっと子どもがいる女性が働きやすい環境をつくってください。日曜日も未就園児を預けられる所を増やしてほしいです。
・夏休みや冬休み、春休み、働いている主婦は、子どもをどうしたら安全に自分が帰宅するまで生活させるかとても困っています。学童には、勤務時間の規定があるため、勤務時間など分け隔てなく利用できる事業などあると大変ありがたいと思います。
・子育ての為に退職した主婦の再就職支援があればありがたいと思います。

⑱　子どもの安全確保

・学童に入っていない子、入れない子どもたちが、放課後、夏休み等を安全に過ごせる場の提供をしてほしい。
・公園などの安全管理、設備見直し。園児や小さい子どもを長い時間預かってくれる場所を多くして、母親が働きやすい環境を整えてほしい。
・子どもたちが安全にどこにでも行けるまちづくりをお願いしたい。
・住宅街での不審者多発に懸念しています。防犯をもっと強化した街づくりを期待します。
・日本の小学校や学校全体は教員に任せてばかりで警備がゆるいと思います。日中でも門があいているので保育園の様にもっとインターホンをつけたりはせめてすべきだと思います。
・市全体的に道がせまく、子どもが安全に歩いて良いと思う道が少なすぎる。歩道を作ってほしい。暗くなると危ないので街灯もつけてほしいです。
・住宅地の狭い道路が抜け道になっているため、車が制限速度以上で通過していく。小学生の通学路でもあるので、スクールゾーン設定をするなど、子どもを守る対策を取ってほしい。
・町田は、通学時に登校班もなく、旗ふりも居ないのが残念です。登校班があることで、近隣の

子どもたちも分かるし、旗ふりをすることで、車どおりの多い交差点でも安心ではないかと思います。
・登下校は一番子どもたちが危険にあいやすい時間なので、よい防犯を考えてほしい。

⑲　子育てしやすいまちづくり

・橋本～多摩堺周辺の保育園、子どもが利用できる施設を増やしてほしい。
・オムツ用ゴミ袋を認証保育所にもおいてほしい。
・保育所（またはこども園、学童保育所等）を必要な地域に増やし、働く保護者のニーズに合わせて、必要な子すべてが通えるようにしてほしい。
・町田駅周辺ばかりに施設が集中しすぎていて利用しにくい。
・デパートなどに授乳室、オムツ交換台などがまだ少なく、困ることが多い。
・地域での見守りや見回り、声掛けがあるといいと思います。
・地域でもっと清掃活動など行って欲しい。
・モノレールの建設より、防災の為のグッズを配布する等、現実に迫っている危機の為にお金を使ってくれた方が、未来ある子ども達にとっても良いと思う。
・子どもと一緒に外出して、一緒にご飯を食べたりちょっと遊んだりといった場所が少ない。父親向けの育児や家事シェアなどの講習などがあるとうれしい。
・初めて親となり、乳幼児の子どもとの外出を考えた時、授乳室やおむつ台の設置してあるところがとても少ないと思いました。設置してあれば安心して外出できるので、もっともっとそういう場所を増やしていただきたいと思います。
・時々買い物で駅前へ行きますが、ベビーカーを使っての移動がとても大変で非常に疲れます。エレベーターかエスカレーターを設置してもらいたい
・駅周辺の喫煙場が多く子どもと一緒に通りたくないです。

2　調査票

【就学前児童保護者調査票】

【就学前児童の保護者用】

子ども・子育て支援に関するアンケート調査
～ご記入にあたって～

２０１３年１１月に発足しました「町田市子ども・子育て会議」では、現在、町田市長からの諮問を受けて、新たな「町田市子どもマスタープラン」の策定に向け、審議が行われております。

この度、計画を策定するにあたり、お子様のふだんの状況や、保護者の子育てに関する考え方等を把握するため、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

お答えは、すべて無記名で、個人が特定されたり、他の目的に使用することはございません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

２０１５年9月

町田市子ども・子育て会議　会長　金子和正

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、宛名のお子さんの保護者が、ご記入ください。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
  9月15日（火）までにご返送ください。（切手は不要です。）
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合せ】町田市　子ども生活部　子ども総務課
電話：042-724-2876
FAX：050-3101-8377

あなたとご家族の状況についておうかがいします。

問１　あて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成　　年　　月

問２　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

人

問３　アンケートを記入している方はだれですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1．父親　2．母親　3．祖父母　4．その他（　　）

問４　第一子を出産されたときの年齢を選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

1．20 歳未満　2．20～24 歳
3．25～29 歳　4．30～34 歳
5．35～39 歳　6．40～49 歳
7．50 歳以上

問５　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．父母同居　2．父同居(ひとり親家庭)　3．母同居(ひとり親家庭)
4．祖父同居　5．祖母同居　6．祖父近居
7．祖母近居　8．その他（　　）

問６　お住まいの郵便番号をお伺いします。

〒　　－

家庭や地域生活についておうかがいします。

問７　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えに１つだけ○をつけてください。

1．主に父親　2．主に母親　3．父母共に
4．主に祖父母　5．その他（　　）

問８　家事や子育てを、主に行っている人やそれを補助する人は誰ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	子の母・女性保護者	子の父・男性保護者	父母共に	子のきょうだい	おじ・おば	その他（　　）
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後かたづけ	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする（日用品や食材など）	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑨保育園・幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
⑩保育園・幼稚園・学校の保護者会等の参加	1	2	3	4	5	6

問９　自治会や町内会に加入していますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．加入している　　2．加入していない

問 10　あなたの近所とのおつきあいはどうですか。（○は主なもの１つ）

1．あいさつをする程度
2．ときどき道で話をする
3．相手の家に行って話をする
4．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
5．困っているときに、相談したり助けあったりしている
6．ほとんどつきあいはない

問 11　あなたは、この１年間で次のような地域活動をしたことがありますか。（○はいくつでも）

1．近所の祭やイベントなどに参加する　　2．町内会などの活動
3．子ども会の活動　　4．地域での子どもたちの指導や世話
5．近所の子どもの遊び相手　　6．地域の清掃や防災などの活動
7．体の不自由な人やお年寄りの手助け　　8．近所の子どもの相談にのる
9．その他（　　）
10．したいと思うけどできない　　11．特にしたことがない、したいとは思わない

お子さんの遊び場等についておうかがいします。

問 12　あて名のお子さんが、小学校に上がったら、放課後、どこで遊ばせたいですか。次の中からもっとも多いと思われる番号に１つだけ○をつけてください。

1．自宅、自宅周辺　　2．友だちの家、友だちの家周辺
3．学童保育クラブ　　4．公園
5．学校の校庭（「まちとも」など）　　6．子どもセンター、子どもクラブ（児童館）
7．地域子ども教室　　8．冒険あそび場
9．放課後等デイサービス　　10．ひなた村、大地沢青少年センター
11．市立体育館（総合体育館、サン町田旭体育館）
12．その他（　　）

問 13　あて名のお子さんが、小学校に上がったら、放課後、習い事、学習塾、スポーツクラブなどに通わせたいですか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1．スイミング　　2．野球・サッカーなどの球技
3．剣道・柔道などの武道　　4．バレエ・体操など
5．絵画・造形　　6．習字・書道
7．ピアノ・声楽などの音楽　　8．そろばん
9．英語などの語学　　10．学習塾
11．その他（　　）
12．通わせたいができない
13．特に通っていない（通わせるつもりはない）

子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問 14　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子育てによる身体の疲れが大きい
2．保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと
3．子どもの病気や発育・発達に関すること
4．食事や栄養に関すること
5．育児の方法がよくわからないこと
6．子どもとの接し方に自信が持てないこと
7．子どもとの時間が十分にとれないこと
8．話し相手や相談相手がいないこと
9．仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
10．子どものしつけに関すること
11．子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
12．登園・登校拒否などの問題について
13．子どもの就園・就学・進学などについて
14．子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
15．配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
16．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などのまわりの目が気になること
17．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
18．子どもを叱りすぎているような気がすること
19．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
20．住居や周辺の環境が良くないこと
21．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
22．その他（　　）
23．特にない

問 15　子育ての不安や悩みを感じたときに、それを解決するためにどのようにしていますか。もっとも多いと思われる番号１つに○をつけてください。

1．配偶者、祖父母などの家族に相談する
2．友だちに相談する
3．保育園や幼稚園、学校、学童保育クラブなどに相談する
4．教育センターに相談する
5．保健所・保健センターに相談する
6．子ども家庭支援センターに相談する
7．地域子育て相談センターに相談する
8．すみれ教室に相談する
9．病院・診療所に相談する
10．その他（　　）
11．相談していない・できない

子育て全般についておうかがいします。

問 16　現在の子育てにおいて、それぞれの項目について、あなたの考えに合う番号に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
①子どもを育てることに充実感を味わっている	1	2	3	4	5
②子育てに自信が持てるようになった	1	2	3	4	5
③子育てが楽しいと心から思う	1	2	3	4	5
④親としてそれなりにうまくやれていると思う	1	2	3	4	5

子育て全般についておうかがいします。

問 17　子育てを振り返ってみて、子どもが家庭・地域・学校（園）などのまわりの世界から受け取る好ましい経験（20 項目）の「重要度」と「不足度」について、あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

		重要度			不足度		
		とても重要だと思う	重要だと思う	重要だと思わない	不足している	やや不足している	十分足りている
① 家族の支援	家族が、子どもに深い愛情を注ぎ、支援する。また、家族と子どもは、互いの気持ちを伝えあう。	1	2	3	1	2	3
② 他の大人の援助	周囲の人たちが、子どもや保護者が困ったときに助けたり、相談に乗ったりして、あたたかく見守っている。	1	2	3	1	2	3
③ 子どものことを気にかけてくれる地域社会	地域が、子どもたちを気にかけてくれる環境である。	1	2	3	1	2	3
④ 親身に気遣う学校（園）	学校（園）は、子どもを親身に気遣い、学校（園）や地域などの活動がうまくいくよう励まし勇気づける。	1	2	3	1	2	3
⑤ 保護者の地域活動への協力	保護者が、子どもが地域活動の中でうまくいくように積極的に協力する。	1	2	3	1	2	3
⑥ 地域社会の承認	家庭や地域が、子どもたちを大事な存在として扱う。	1	2	3	1	2	3
⑦ 子どもの社会的役割	家庭や地域が、子どもたちに有用な役割を与える。	1	2	3	1	2	3
⑧ 奉仕活動	家族が子どもとともに、奉仕活動（ボランティア活動）を行う。	1	2	3	1	2	3
⑨ 安全・安心な環境	家庭・地域・学校（園）が、子どもが家庭・地域・社会で安全かつ安心して暮らせるように環境を整える。	1	2	3	1	2	3
⑩ 家庭の規範	家庭が、はっきりした規範、特に善悪に関する規範を持ち、子どもの行動を見守る。	1	2	3	1	2	3
⑪ 家庭外の規範（学校・園が規範を示し、見守る）	学校（園）や地域が、明確な規範を示し、近所の人は子どもの行動を見守る。	1	2	3	1	2	3
⑫ 大人の規範としての役割	保護者や他の大人たちが、好ましい、責任ある行動の見本となる。	1	2	3	1	2	3
⑬ 仲間との交流	子どもが、他の子どもと交流し、遊び、行動を共にする機会を家庭や地域が提供する。	1	2	3	1	2	3
⑭ 年齢にふさわしい発達への期待	保護者や他の大人たちが、子どもが年齢にふさわしい発達や個性を伸ばせるように励ます。	1	2	3	1	2	3
⑮ 創造活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに音楽、美術、演劇などの活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑯ 家庭外活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに課外活動や地域のスポーツ活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑰ 自然や生命とのふれあい	家庭・地域・学校（園）が、子どもに動植物や自然とふれあう体験活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑱ 職業との出会い	家庭・地域・学校（園）が、子どもに、地域の産業に直接ふれるなどの体験の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑲ 消費活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに金銭や物を大切に扱うことの意識をもつための取り組みの機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑳ 健康活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに食生活と健康に関する意識を高める取り組みの機会を提供する。	1	2	3	1	2	3

問 18　子育てを振り返ってみて、子どもの好ましい心理的（内面的）成長・発達を反映する特性や行動（20 項目）の「重要度」と「不足度」について、あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

		重要度			不足度		
		とても重要だと思う	重要だと思う	重要だと思わない	不足している	やや不足している	十分足りている
① 思いやり	子どもが、他の人々への思いやる気持ちを持っている。	1	2	3	1	2	3
② 社会的正義感	子どもが、社会的に望まれる正しい行いを尊ぶ気持ちを持っている。	1	2	3	1	2	3
③ 誠実さ	子どもが、家庭で決めた約束事を守るなどの誠実さを持っている。	1	2	3	1	2	3
④ 責任感	子どもが、家の手伝いや約束事をやり遂げている。	1	2	3	1	2	3
⑤ 健全な日常生活	子どもが、食事や睡眠の重要性や異性に対してふさわしい姿勢や考え方を持っている。	1	2	3	1	2	3
⑥ 所属感	子どもが、家庭や地域に愛着を感じている。	1	2	3	1	2	3
⑦ 自己統制力	子どもが、我慢することの大切さを知っている。	1	2	3	1	2	3
⑧ 自己肯定	子どもが、自分のよいところを認識している。	1	2	3	1	2	3
⑨ 人生の目的	子どもが、自分の成長を実感し、毎日を楽しく過ごしている。	1	2	3	1	2	3
⑩ 将来への希望	子どもが、将来の希望をもち、前向きである。	1	2	3	1	2	3
⑪ 計画性と決断力	子どもが、計画性をもった行動をしている。	1	2	3	1	2	3
⑫ コミュニケーション能力	子どもが、相手の意見を聞き入れ、自分の意見を表現できる。	1	2	3	1	2	3
⑬ 抵抗力	子どもが、様々なストレスに対する力を身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑭ 争いの平和的解決	子どもが、平和的に争いを解決するための力を身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑮ 人権の理解	子どもが、他者の人権を尊重し、差別や偏見のない社会の実現を願っている。	1	2	3	1	2	3
⑯ 自己情報を管理する力	子どもが、自分に関する情報をきちんと身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑰ 達成への動機づけ	子どもが、いろいろな活動において最後まで取り組もうとしている。	1	2	3	1	2	3
⑱ 学びへの意欲	子どもが、いろいろなことに関心を持って、積極的に学んでいる。	1	2	3	1	2	3
⑲ 宿題や課題への挑戦	子どもが、自分に与えられたテーマに自ら積極的に挑戦している。	1	2	3	1	2	3
⑳ 読書の喜び	子どもが、1 日少なくとも 30 分、読書をしている。	1	2	3	1	2	3

子育て施策についておうかがいします。

問 19　下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

	認知状況		利用状況		利用意向	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない	利用したい	利用したくない
①保健予防課の母親学級	1	2	1	2	1	2
②保健予防課の両親学級	1	2	1	2	1	2
③保健予防課の乳幼児母性相談、講習会等を知っているか	1	2	1	2	1	2
④準夜急患子どもクリニック	1	2	1	2	1	2
⑤子ども家庭支援センターの子育ての総合相談	1	2	1	2	1	2
⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー	1	2	1	2	1	2
⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	1	2	1	2
⑧保育園での一時保育	1	2	1	2	1	2
⑨教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑩子ども発達センターすみれ教室の発達相談等	1	2	1	2	1	2
⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば	1	2	1	2	1	2
⑫幼稚園の園庭開放等	1	2	1	2	1	2
⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等	1	2	1	2	1	2
⑭ひなた村の施設開放や子育て支援事業等	1	2	1	2	1	2
⑮大地沢青少年センターの施設開放や宿泊事業等	1	2	1	2	1	2

問 20　市からの子ども・子育てに関する情報を何から得ていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1．市のホームページ　　2．広報
3．メール配信　　4．情報誌（のびっこ・各種案内パンフレット、冊子等）
5．その他（　　）

問 20 で「1．市のホームページ」、「3．メール配信」に○をつけた方に伺います。

問 20―1　主にどの媒体を利用していますか。

1．スマートフォン　　2．従来型携帯電話（ガラケー）
3．パソコン　　4．その他（　　）

問 21　安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2．子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3．子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4．ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5．子どもと親が一緒にできる活動を増やす
6．地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7．学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8．その他（　　）
9．特に必要ない

問 22　市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号５つまでに○をつけてください。

1．子育てに関する相談、情報提供の充実
2．親子・親同士の交流の場の充実
3．家庭の教育力向上のための学習機会の充実
4．母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問の充実
5．子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣などの充実
6．正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実
7．性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実
8．安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実
9．次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
10．子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実
11．地域における子どもの居場所の充実
12．児童虐待やいじめ等に対する対策の充実
13．障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
14．子どもを取り巻く有害環境対策の充実
15．ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
16．保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
17．仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実
18．仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発
19．親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実
20．犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実
21．その他（　　）

問 23　あなたが日頃感じている町田市への要望などあれば自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

【小学生の保護者用】

子ども・子育て支援に関するアンケート調査
～ご記入にあたって～

２０１３年１１月に発足しました「町田市子ども・子育て会議」では、現在、町田市長からの諮問を受けて、新たな「町田市子どもマスタープラン」の策定に向け、審議が行われております。

この度、計画を策定するにあたり、お子様のふだんの状況や保護者の子育てに関する考え方等を把握するため、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

お答えは、すべて無記名で、個人が特定されたり、他の目的に使用することはございません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

２０１５年9月

町田市子ども・子育て会議　会長　金子和正

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、宛名のお子さんの保護者が、ご記入ください。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
  9月１５日（火）までにご返送ください。（切手は不要です。）
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合せ】町田市　子ども生活部　子ども総務課
電話：０４２-７２４-２８７６
FAX：０５０-３１０１-８３７７

【小学生保護者調査票】

あなたとご家族の状況についておうかがいします。

問１　あて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成　　年　　月

問２　あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。

人

問３　アンケートを記入している方はだれですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1．父親　2．母親　3．祖父母　4．その他（　　）

問４　第一子を出産されたときの年齢を選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

1．20 歳未満　2．20～24 歳
3．25～29 歳　4．30～34 歳
5．35～39 歳　6．40～49 歳
7．50 歳以上

問５　あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1．父母同居　2．父同居(ひとり親家庭)　3．母同居(ひとり親家庭)
4．祖父同居　5．祖母同居　6．祖父近居
7．祖母近居　8．その他（　　）

問６　お住まいの郵便番号をお伺いします。

〒　　－

家庭や地域生活についておうかがいします。

問７　あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えに１つだけ○をつけてください。

1．主に父親　2．主に母親　3．父母共に
4．主に祖父母　5．その他（　　）

問８　家事や子育てを、主に行っている人やそれを補助する人は誰ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	子の母・女性保護者	子の父・男性保護者	父母共に	子のきょうだい	おじ・おば	その他（　　）
①食事を作る	1	2	3	4	5	6
②食事の後かたづけ	1	2	3	4	5	6
③掃除をする	1	2	3	4	5	6
④洗濯をする	1	2	3	4	5	6
⑤買い物をする（日用品や食材など）	1	2	3	4	5	6
⑥子どもの身の回りの世話	1	2	3	4	5	6
⑦子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6
⑧子どもをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
⑨保育園・幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
⑩保育園・幼稚園・学校の保護者会等の参加	1	2	3	4	5	6

問９　自治会や町内会に加入していますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．加入している　　2．加入していない

問 10　あなたの近所とのおつきあいはどうですか。（○は主なもの１つ）

1．あいさつをする程度
2．ときどき道で話をする
3．相手の家に行って話をする
4．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
5．困っているときに、相談したり助けあったりしている
6．ほとんどつきあいはない

問 11　あなたは、この１年間で次のような地域活動をしたことがありますか。（○はいくつでも）

1．近所の祭やイベントなどに参加する　　2．町内会などの活動
3．子ども会の活動　　4．地域での子どもたちの指導や世話
5．近所の子どもの遊び相手　　6．地域の清掃や防災などの活動
7．体の不自由な人やお年寄りの手助け　　8．近所の子どもの相談にのる
9．その他（　　）
10．したいと思うけどできない　　11．特にしたことがない、したいとは思わない

お子さんの遊び場等についておうかがいします。

問 12　あて名のお子さんは、学校のある日の放課後、どこで遊んでいますか。次の中からもっとも多いと思われる番号に１つだけ○をつけてください。

1．自宅、自宅周辺　　2．友だちの家、友だちの家周辺
3．学童保育クラブ　　4．公園
5．学校の校庭（「まちとも」など）　　6．子どもセンター、子どもクラブ（児童館）
7．地域子ども教室　　8．冒険あそび場
9．放課後等デイサービス　　10．ひなた村、大地沢青少年センター
11．市立体育館（総合体育館、サン町田旭体育館）
12．その他（　　）

問 13　あて名のお子さんは、学校のある日の放課後、習い事、学習塾、スポーツクラブなどに継続的に通っていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1．スイミング　　2．野球・サッカーなどの球技
3．剣道・柔道などの武道　　4．バレエ・体操など
5．絵画・造形　　6．習字・書道
7．ピアノ・声楽などの音楽　　8．そろばん
9．英語などの語学　　10．学習塾
11．その他（　　）
12．通わせたいができない
13．特に通っていない（通わせるつもりはない）

子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問 14　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子育てによる身体の疲れが大きい
2．保育サービスの費用や学費など子育てに出費がかさむこと
3．子どもの病気や発育・発達に関すること
4．食事や栄養に関すること
5．育児の方法がよくわからないこと
6．子どもとの接し方に自信が持てないこと
7．子どもとの時間が十分にとれないこと
8．話し相手や相談相手がいないこと
9．仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
10．子どものしつけに関すること
11．子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
12．登園・登校拒否などの問題について
13．子どもの就園・就学・進学などについて
14．子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
15．配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
16．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などのまわりの目が気になること
17．配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
18．子どもを叱りすぎているような気がすること
19．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
20．住居や周辺の環境が良くないこと
21．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
22．その他（　　）
23．特にない

問 15　子育ての不安や悩みを感じたときに、それを解決するためにどのようにしていますか。もっとも多いと思われる番号１つに○をつけてください。

1．配偶者、祖父母などの家族に相談する
2．友だちに相談する
3．保育園や幼稚園、学校、学童保育クラブなどに相談する
4．教育センターに相談する
5．保健所・保健センターに相談する
6．子ども家庭支援センターに相談する
7．地域子育て相談センターに相談する
8．すみれ教室に相談する
9．病院・診療所に相談する
10．その他（　　）
11．相談していない・できない

子育て全般についておうかがいします。

問 16　現在の子育てにおいて、それぞれの項目について、あなたの考えに合う番号に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
①子どもを育てることに充実感を味わっている	1	2	3	4	5
②子育てに自信が持てるようになった	1	2	3	4	5
③子育てが楽しいと心から思う	1	2	3	4	5
④親としてそれなりにうまくやれていると思う	1	2	3	4	5

子育て全般についておうかがいします。

問 17　子育てを振り返ってみて、子どもが家庭・地域・学校（園）などのまわりの世界から受け取る好ましい経験（20 項目）の「重要度」と「不足度」について、あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

		重要度			不足度		
		とても重要だと思う	重要だと思う	重要だと思わない	不足している	やや不足している	十分足りている
① 家族の支援	家族が、子どもに深い愛情を注ぎ、支援する。また、家族と子どもは、互いの気持ちを伝えあう。	1	2	3	1	2	3
② 他の大人の援助	周囲の人たちが、子どもや保護者が困ったときに助けたり、相談に乗ったりして、あたたかく見守っている。	1	2	3	1	2	3
③ 子どものことを気にかけてくれる地域社会	地域が、子どもたちを気にかけてくれる環境である。	1	2	3	1	2	3
④ 親身に気遣う学校（園）	学校（園）は、子どもを親身に気遣い、学校（園）や地域などの活動がうまくいくよう励まし勇気づける。	1	2	3	1	2	3
⑤ 保護者の地域活動への協力	保護者が、子どもが地域活動の中でうまくいくように積極的に協力する。	1	2	3	1	2	3
⑥ 地域社会の承認	家庭や地域が、子どもたちを大事な存在として扱う。	1	2	3	1	2	3
⑦ 子どもの社会的役割	家庭や地域が、子どもたちに有用な役割を与える。	1	2	3	1	2	3
⑧ 奉仕活動	家族が子どもとともに、奉仕活動（ボランティア活動）を行う。	1	2	3	1	2	3
⑨ 安全・安心な環境	家庭・地域・学校（園）が、子どもが家庭・地域・社会で安全かつ安心して暮らせるように環境を整える。	1	2	3	1	2	3
⑩ 家庭の規範	家庭が、はっきりした規範、特に善悪に関する規範を持ち、子どもの行動を見守る。	1	2	3	1	2	3
⑪ 家庭外の規範（学校・園が規範を示し、見守る）	学校（園）や地域が、明確な規範を示し、近所の人は子どもの行動を見守る。	1	2	3	1	2	3
⑫ 大人の規範としての役割	保護者や他の大人たちが、好ましい、責任ある行動の見本となる。	1	2	3	1	2	3
⑬ 仲間との交流	子どもが、他の子どもと交流し、遊び、行動を共にする機会を家庭や地域が提供する。	1	2	3	1	2	3
⑭ 年齢にふさわしい発達への期待	保護者や他の大人たちが、子どもが年齢にふさわしい発達や個性を伸ばせるように励ます。	1	2	3	1	2	3
⑮ 創造活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに音楽、美術、演劇などの活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑯ 家庭外活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに課外活動や地域のスポーツ活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑰ 自然や生命とのふれあい	家庭・地域・学校（園）が、子どもに動植物や自然とふれあう体験活動の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑱ 職業との出会い	家庭・地域・学校（園）が、子どもに、地域の産業に直接ふれるなどの体験の機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑲ 消費活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに金銭や物を大切に扱うことの意識をもつための取り組みの機会を提供する。	1	2	3	1	2	3
⑳ 健康活動	家庭・地域・学校（園）が、子どもに食生活と健康に関する意識を高める取り組みの機会を提供する。	1	2	3	1	2	3

問 18　子育てを振り返ってみて、子どもの好ましい心理的（内面的）成長・発達を反映する特性や行動（20 項目）の「重要度」と「不足度」について、あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

		重要度			不足度		
		とても重要だと思う	重要だと思う	重要だと思わない	不足している	やや不足している	十分足りている
① 思いやり	子どもが、他の人々への思いやる気持ちを持っている。	1	2	3	1	2	3
② 社会的正義感	子どもが、社会的に望まれる正しい行いを尊ぶ気持ちを持っている。	1	2	3	1	2	3
③ 誠実さ	子どもが、家庭で決めた約束事を守るなどの誠実さを持っている。	1	2	3	1	2	3
④ 責任感	子どもが、家の手伝いや約束事をやり遂げている。	1	2	3	1	2	3
⑤ 健全な日常生活	子どもが、食事や睡眠の重要性や異性に対してふさわしい姿勢や考え方を持っている。	1	2	3	1	2	3
⑥ 所属感	子どもが、家庭や地域に愛着を感じている。	1	2	3	1	2	3
⑦ 自己統制力	子どもが、我慢することの大切さを知っている。	1	2	3	1	2	3
⑧ 自己肯定	子どもが、自分のよいところを認識している。	1	2	3	1	2	3
⑨ 人生の目的	子どもが、自分の成長を実感し、毎日を楽しく過ごしている。	1	2	3	1	2	3
⑩ 将来への希望	子どもが、将来の希望をもち、前向きである。	1	2	3	1	2	3
⑪ 計画性と決断力	子どもが、計画性をもった行動をしている。	1	2	3	1	2	3
⑫ コミュニケーション能力	子どもが、相手の意見を聞き入れ、自分の意見を表現できる。	1	2	3	1	2	3
⑬ 抵抗力	子どもが、様々なストレスに対する力を身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑭ 争いの平和的解決	子どもが、平和的に争いを解決するための力を身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑮ 人権の理解	子どもが、他者の人権を尊重し、差別や偏見のない社会の実現を願っている。	1	2	3	1	2	3
⑯ 自己情報を管理する力	子どもが、自分に関する情報をきちんと身につけている。	1	2	3	1	2	3
⑰ 達成への動機づけ	子どもが、いろいろな活動において最後まで取り組もうとしている。	1	2	3	1	2	3
⑱ 学びへの意欲	子どもが、いろいろなことに関心を持って、積極的に学んでいる。	1	2	3	1	2	3
⑲ 宿題や課題への挑戦	子どもが、自分に与えられたテーマに自ら積極的に挑戦している。	1	2	3	1	2	3
⑳ 読書の喜び	子どもが、1 日少なくとも 30 分、読書をしている。	1	2	3	1	2	3

子育て施策についておうかがいします。

問 19　下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。あなたの考えに合う番号にそれぞれ○をつけてください。

	認知状況		利用状況		利用意向	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことはない	利用したい	利用したくない
①保健予防課の母親学級	1	2	1	2	1	2
②保健予防課の両親学級	1	2	1	2	1	2
③保健予防課の乳幼児母性相談、講習会等を知っているか	1	2	1	2	1	2
④準夜急患子どもクリニック	1	2	1	2	1	2
⑤子ども家庭支援センターの子育ての総合相談	1	2	1	2	1	2
⑥子ども家庭支援センターの育児支援ヘルパー	1	2	1	2	1	2
⑦子ども家庭支援センターのひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	1	2	1	2
⑧保育園での一時保育	1	2	1	2	1	2
⑨教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑩子ども発達センターすみれ教室の発達相談等	1	2	1	2	1	2
⑪保育所等の園庭開放や子育てひろば	1	2	1	2	1	2
⑫幼稚園の園庭開放等	1	2	1	2	1	2
⑬子どもセンター、子どもクラブの施設開放や子育て支援事業等	1	2	1	2	1	2
⑭ひなた村の施設開放や子育て支援事業等	1	2	1	2	1	2
⑮大地沢青少年センターの施設開放や宿泊事業等	1	2	1	2	1	2

問 20　市からの子ども・子育てに関する情報を何から得ていますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1．市のホームページ　　2．広報
3．メール配信　　4．情報誌（のびっこ・各種案内パンフレット、冊子等）
5．その他（　　）

問 20 で「1．市のホームページ」、「3．メール配信」に○をつけた方に伺います。

問 20―1　主にどの媒体を利用していますか。

1．スマートフォン　　2．従来型携帯電話（ガラケー）
3．パソコン　　4．その他（　　）

問 21　安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2．子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3．子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4．ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5．子どもと親が一緒にできる活動を増やす
6．地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7．学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8．その他（　　）
9．特に必要ない

問 22　市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号５つまでに○をつけてください。

1．子育てに関する相談、情報提供の充実
2．親子・親同士の交流の場の充実
3．家庭の教育力向上のための学習機会の充実
4．母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問の充実
5．子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣などの充実
6．正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実
7．性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実
8．安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実
9．次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
10．子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実
11．地域における子どもの居場所の充実
12．児童虐待やいじめ等に対する対策の充実
13．障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
14．子どもを取り巻く有害環境対策の充実
15．ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
16．保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
17．仕事と子育てが両立できるよう保育所、幼稚園の箇所数や内容の充実
18．仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発
19．親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実
20．犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実
21．その他（　　）

問 23　あなたが日頃感じている町田市への要望などあれば自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

【中学生・高校生調査】

子ども・子育て支援に関するアンケート調査
～ご記入にあたって～

２０１３年１１月から始まった「町田市子ども・子育て会議」では、現在、町田市長からの依頼を受け、新たな「町田市子どもマスタープラン」をつくるための話し合いをしています。

今回、計画をつくるため、みなさんのふだんの状況や考え方などについて調査を行います。

この調査をお願いする方は、市内にお住まいの 12 歳～18 歳の方の中から無作為に選びました。

調査用紙には、あなたの名前を書く必要はありません。あなたの答えは、誰にも分からないようになっていますので、自分の考えていることを正直に答えてください。

ご協力お願いします。

２０１５年9月

町田市子ども・子育て会議　会長　金子和正

ご記入にあたってのお願い

- この調査票では、調査対象者を「あなた」としています。友だちと相談したりせず、あなたの考えで答えてください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、（　）内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのないかぎり、全ての質問にお答えください。一部の人だけが答える質問もありますが、その場合は、質問の説明にしたがってお答えください。
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
  9月１５日（火）までにご返送ください。（切手は不要です。）
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合せ】町田市　子ども生活部　子ども総務課
電話：０４２-７２４-２８７６
FAX：０５０-３１０１-８３７７

あなたについておうかがいします。

問１　お住まいの郵便番号をお伺いします。

〒　　－

問２　性別を教えてください。（１つに○）

1．男　　2．女

問３　学年（年齢）を教えてください。（１つに○）

1．中学１年生　2．中学２年生　3．中学３年生
4．高校１年生(15～16 歳)　5．高校２年生(16～17 歳)　6．高校３年生(17～18 歳)

問４　あなたには兄弟姉妹がいますか。また、兄弟姉妹がいる場合、あなたは上から何番目ですか。（１つに○、２では数字を二カ所にいれてください）

1．兄弟姉妹はいない（一人っ子）
2．兄弟姉妹がいる　→　　人きょうだいの　　番目

問５　あなたは、誰といっしょに住んでいますか（あてはまるものすべてに○）。また、あなたを含めて、何人で住んでいますか。（数字を記入）

1．父　2．母　3．兄弟姉妹　4．祖父
5．祖母　6．その他（　　）

家族全員で　　人

町田市についておうかがいします。

問６　あなたは、町田市が好きですか。（１つに○）

1．とても好き　2．どちらかというと好き　3．どちらでもない
4．どちらかというと嫌い　5．嫌い

問７　あなたは、これからも町田市に住みたいですか。（１つに○）

1．住みたい　2．住みたくない　3．わからない

問８　町田市は、子どもの意見や考えを聞いてまちづくりをすすめていると思いますか。（どちらかに○）

1．思う　2．思わない

地域との交流についておうかがいします。

問９　あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。（○は１つ）

１．日常的にボランティアをしている	２．ボランティアを以前していた
３．何回かしたことがある	４．したことはない

問 10　あなたの近所とのおつきあいはどうですか。（○は主なもの１つ）

１．あいさつをする程度
２．ときどき道で話をする
３．相手の家に行って話をする
４．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
５．困っているときに、相談したり助けあったりしている
６．ほとんどつきあいはない

問 11　あなたは、祭りや盆踊り、スポーツ活動のような地域で行っている行事に、参加したことがありますか。

１．参加したことがある	２．参加したことはない

問 12　あなたは、弟や妹以外の赤ちゃん・幼児と遊んだことがありますか。（１つに○）

１．たくさんある	２．ときどきある
３．あまりない	４．全くない

悩み事や相談先についておうかがいします。

問 13　あなたが悩んでいることは、どんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

１．健康	２．顔や体型
３．性格やクセ	４．運動
５．勉強	６．将来や進路
７．アルバイトや仕事	８．おこづかい
９．ほしいものを買ってもらえない	10．いじめ
11．友だち	12．恋愛
13．兄弟姉妹	14．親
15．学校の先生	16．インターネット
17．虐待（ぎゃくたい）	
18．その他（　　）	
19．特にない	

問 14　あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。（あてはまるものすべてに○）

１．父親	２．母親
３．祖父母	４．兄弟姉妹
５．親せきの人	６．学校の友だち・先輩
７．学校以外の友だち・先輩	８．担任の先生
９．保健室の先生	10．その他の学校の先生
11．スクールカウンセラー	12．子どもセンターの先生
13．塾・習い事の先生	14．地域の知り合いの人
15．相談機関（教育相談所、児童相談所など）の人	
16．インターネットの相談サイト	
17．その他（　　）	
18．誰もいない	

問 15　あなたは、相談できるところをどこか知っていますか。（１つに○）

１．知っている	２．知らない

「１．知っている」と回答した方にうかがいます。

問 15－１　知っているところはどこですか。（あてはまるものすべてに○）

１．子ども家庭支援センター	２．児童相談所
３．子ども電話相談室	４．町田市教育センター
５．いじめ 110 番（町田市教育委員会指導課）	６．話してみなよ－東京子どもネット
７．その他（　　）	

学校生活についておうかがいします。

問 16　あなたは、学校が楽しいと思いますか。（１つに○）
※現在通っていない方も通っていた時の状況でお答えください。

１．そう思う	２．どちらかというとそう思う	
３．どちらでもない	４．どちらかというとそう思わない	５．そう思わない

「１．そう思う」または「２．どちらかというとそう思う」と回答した方にうかがいます。

問 16－１　どのようなところが楽しいですか。（あてはまるものすべてに○）

１．授業	２．休み時間
３．課外活動	４．友だちがいること
５．先生	６．行事
７．図書室	８．クラブ活動
９．昼食	
10．その他（　　）	

「3．どちらでもない」、「4．どちらかというとそう思わない」、「5．そう思わない」と回答した方にうかがいます。

問 16－2　その理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1．授業がわからない	2．苦手な教科の授業がある
3．テストがある	4．宿題や課題などがある
5．学校の規則が厳しい	6．友だちとうまくいかない
7．先生とうまくいかない	8．いじめを受けた
9．暴力を受けた	10．虐待（ぎゃくたい）を受けた
11．なんとなく	12．その他（　　）

問 16－3　また、その時にあなたはどうしましたか（あてはまるものすべてに○）

1．父親に相談した	2．母親に相談した
3．祖父・祖母に相談した	4．兄弟姉妹に相談した
5．友だち・先輩に相談した	6．学校の先生に相談した
7．スクールカウンセラーに相談した	8．相談しなかった・相談したくなかった
9．我慢して学校に行った	10．学校を休んだ
11．その他（　　）	

中学卒業後、進学しなかった、または、進学後に退学された方にお伺いします。

問 17　その理由はなぜですか。（主なもの１つに○）

1．経済的な理由	2．学校に興味がない
3．早く働きたい	4．その他（　　）

放課後や休日の過ごし方についておうかがいします。

問 18　あなたは、放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（5つまで○）

1．自分の家	2．祖父・祖母の家
3．親せきの家	4．友だちの家
5．近所の公園	6．広場や空き地
7．学校	8．部活動
9．スポーツをするところ	10．市の施設（子どもセンター、図書館、冒険遊び場など）
11．塾や習い事	12．アルバイト・仕事先
13．コンビニ	14．ゲームセンター
15．ファミレスやファーストフードの店	16．放課後等デイサービス
17．その他（　　）	

問 19　あなたは、放課後（夕方）や休日はどこで過ごしたいですか。（5つまで○）

1．自分の家	2．祖父・祖母の家
3．親せきの家	4．友だちの家
5．近所の公園	6．広場や空き地
7．学校	8．部活動
9．スポーツをするところ	10．図書館
11．子どもセンター、子どもクラブ	12．冒険遊び場
13．中高生が専用で使えるところ	14．塾や習い事
15．アルバイト・仕事先	16．コンビニ
17．ゲームセンター	18．ファミレスやファーストフードの店
19．放課後等デイサービス	20 その他（　　）

問 20　あなたは、放課後（夕方）や休日に友だちと過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。（3つまで○）

1．勉強ができる場所
2．本が読める場所
3．運動ができる場所
4．のんびりできる場所
5．音楽の練習ができる場所
6．テレビが見られる場所
7．ゲームができる場所
8．インターネットができる場所
9．自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
10．自分と違う年齢の人と交流できる場所
11．友だちと集まっておしゃべりできる場所
12．その他（　　）

インターネット等についておうかがいします。

問 21　あなたは、学校以外でインターネット（パソコン、スマートフォン等）を１日に何時間くらい使用していますか。（１つに○）

１．３時間以上	２．２時間くらい
３．１時間くらい	４．30 分くらい
５．ほとんど使用しない	６．全く使用しない

「１．」から「４．」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 21－１　インターネットを使用する理由は何ですか。（最もあてはまるもの１つに○）

１．すぐに情報を入手できるから
２．お気に入りのサイトを見たいから
３．常に誰かとつながっていたいから
４．まわりの人がやっているから
５．他にやることがないから
６．その他（　　）

問 22　インターネットを使用するにあたり、親と何か取り決めをしていますか（１つに○）

１．ある	２．ない

あなた自身の考えや将来像についておうかがいします。

問 23　あなたは自分のことが好きだと思いますか。（１つに○）

１．そう思う	２．やや思う
３．あまり思わない	４．思わない

問 24　あなたは、将来どのような大人になりたいですか。（３つまで○）

１．たくさんの友だちや仲間がいる人	２．自分らしさをもっている人
３．人を思いやる心を持っている人	４．困難を乗り越えられる人
５．常に努力を惜しまない人	６．健康で体力に自信がある人
７．社会のルールやマナーを守る人	
８．専門的なことをくわしく知っていたり、上手にできる人	
９．正しいことや決められたことを最後までやりとげる人	
10．社会の役に立てる人	11．海外で活躍できる人
12．いつも新しいことに取り組んでいる人	13．リーダーシップのとれる人
14．わからない	
15．その他（　　）	

問 25　あなたが日頃感じている町田市への要望などあれば自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。